



八戸工業大学要覧

令和 8 年度

大 学 要 覧

令和8年5月1日現在

八 戸 工 業 大 学

学校法人八戸工業大学 建学の精神

本法人は、その経営指針と基本的な教育方針として、人格、徳性の涵養並びに知性の練磨を象徴的に表す『正己以格物』(己を正し以て物に格る)を不易の綱領と定め、建学の精神としています。

この言葉は、儒教の根本精神を表した四書五経の一つ「大学」に拠るもので、物の道理をよく見極め、広く知識を求め、社会における自己の役割が如何なるものかを、深く認識し、高い倫理性をもって行動することの重要性を説いているものです。

本法人は、この建学の精神に基づき、社会の負託と時代の要請に応えることを要諦とし、創造的、個性的な自己思考能力を有する有為の人材を養成しています。

教育理念

「良き技術は、良き人格から生まれる」

本学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念をもっています。この理念は、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。

八戸工業大学大学院

使命・目的

学術の理論および応用を教授研究し、その深奥を究めると共に、学術研究を通して深い教養と豊かな人間性を涵養し、広く文化の進展と社会の発展に寄与する。

人材育成目標

(a) 専門基礎力の充実した人材の育成

エンジニアリング・サイエンスに準拠したカリキュラムの構成、すなわちエネルギー、新素材、半導体、生物化学材料、建設材料などの基礎物性に関する教育、数学的解析能力、数値シミュレーション、数値・画像情報解析に関する開発能力の養成、および外国文献の読解力と表現力の養成により専門基礎力の充実した人材を育成する。

(b) 先端技術分野への応用展開能力を持つ人材の育成

先端技術に関する科目および先端的な研究テーマを設けると共に、応用数学、応用物理、ならびに応用化学の工業基礎に関する専門基盤科目を設けるなどのカリキュラムの編成により、自然科学に関する深い理解力を養成し、工学基礎力を基盤とする工業技術さらには先端技術への応用展開能力を持つ人材の育成を図る。

(c) 総合的な視野を持つ人材の育成

今後の高度技術者は特定技術分野にのみ限定された視点ではなく、人間を中心に捉えた総合的な視野を持つ必要がある。すなわち、従来の要素技術や解析指向から総合化ならびにシステム重視への転換である。このため、各専門分野における教育は無論のこと、これまで異質と見られていた異分野間の幅広い協力と新しい発想に基づく複数あるいは境界領域を総合するシステム思考を可能とするカリキュラム編成により、総合的な視野を持つ人材の育成を図る。

ディプロマ・ポリシー

■博士課程前期課程

八戸工業大学は、本学大学院の所定の修了要件（大学院学則第32条）を満たし、かつ次の資質・能力を身につけたと判定された者に、修士（工学）の学位を授与します。

- 1 豊かな人間性
知的創造活動（学術研究）で培った、深い教養を携えた豊かな人間性。
- 2 知識・技能
専門基礎力、並びに高度の専門性を有する職業等に必要とされる高度な応用展開力。
- 3 思考力・判断力等の能力
グローバルな視野で物事を考える姿勢をもった、社会の変化に対応できる柔軟な思考力、総合的な判断力。

■博士課程後期課程

八戸工業大学は、本学大学院の所定の修了要件（大学院学則第33条）を満たし、かつ次の資質・能力を身につけたと判定された者に、博士（工学）の学位を授与します。

- 1 豊かな人間性
知的創造活動（学術研究）で培った、深い教養を携えた豊かな人間性。
- 2 知識・技能
専門基礎力、並びに研究者もしくは高度の専門性を有する職業等に必要とされる卓越した高度応用展開能力。
- 3 思考力・判断力等の能力
グローバルな視野で物事を考える姿勢をもった、社会の変化に対応できる柔軟な思考力、総合的な判断力。

カリキュラム・ポリシー

■博士課程前期課程

八戸工業大学は、学位授与の方針に掲げる資質・能力を育成するために、次のような教育課程編成・実施の方針を定めています。

1 教育内容

- (1) 自然科学の理解および専門基礎力の育成を図るために「応用数学特論」、「応用物理学特論」、「応用化学特論」等の基盤科目を配置し、教育を実施します。
- (2) 工学の様々な分野で必要になる情報リテラシー能力、および科学技術計算能力の養成・強化を様々な講義、演習科目等で実施します。
- (3) 幅広い分野で必要となる専門分野の語学力を育成するために、外国語論文講読等による「特別演習」を配置し、教育を実施します。
- (4) 高度応用展開能力の育成、境界領域を総合するシステム思考の育成、並びに社会の変化に対応できる柔軟な思考力、総合的な判断力、豊かな人間性を育むために、学生一人ひとりが指導教員から入念な指導を受けられる「特別研究」を配置し、教育を実施します。

2 学習成果の評価

- (1) 知識・技能の修得、並びに思考力・判断力、豊かな人間性等の能力に関しては、学位論文の審査、最終試験の結果で、「八戸工業大学大学院工学研究科修士学位論文審査基準」に基づいて総合的に把握し評価します。

■博士課程後期課程

八戸工業大学は、学位授与の方針に掲げる資質・能力を育成するために、次のような教育課程編成・実施の方針を定めています。

1 教育内容

- (1) 各指導教員の指導の下、先端的な研究の遂行により、卓越した知識・技能を習得させる教育を実施します。
- (2) 各指導教員の下でゼミナールを開講することにより、各専門領域における最先端の知識と技術を習得できるように教育を実施します。
- (3) 学術論文や学会発表など、研究成果の公表に関する指導を行います。

2 学習成果の評価

- (1) 知識・技能の修得、並びに思考力・判断力、豊かな人間性等の能力に関しては、学位論文の審査、最終試験の結果で、「八戸工業大学大学院工学研究科博士学位論文審査基準」に基づいて総合的に把握し評価します。

アドミッション・ポリシー

■博士課程前期課程

八戸工業大学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」を理解し、「研究能力又は高度の専門性を有する職業等に必要な能力及びその基礎となる学識を養う」という教育研究上の目的に強い関心を払い、本大学院において自らを向上させようとする意欲あふれる学生の入学を歓迎します。

なお、入学試験には、推薦、一般選抜および特別選抜（社会人、外国人）があり、内容については入試要項や学生要覧等で明示・公表しています。

■博士課程後期課程

八戸工業大学の教育理念「良き技術は、良き人格から生まれる」を理解し、「研究者として自立して研究活動を行い又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養う」という教育研究上の目的に強い関心を払い、本大学院において自らを向上させようとする意欲あふれる学生の入学を歓迎します。

なお、入学試験には、一般選抜および特別選抜（社会人、外国人）があり、内容については入試要項や学生要覧等で明示・公表しています。

八戸工業大学

使命・目的

学術の拠点として、広く知識を授けると共に、深く専門の学術を教授研究し、知的、道德的および応用的能力を展開させ、あわせて人類の幸福を希求する科学技術の振興と文化の創造ならびに地域社会の発展に寄与する。

■八戸工業大学ディプロマ・ポリシー

八戸工業大学は、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念を掲げています。これは、「良き職業人となるためには、高度な専門知識とともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ」ことが必要であることを意味しています。本学は、この理念を踏まえた教育目標に基づく所定の教育課程を修め、以下の資質・能力が身についた学生に学士の学位を授与します。

- 1 豊かな人間性と総合的な判断力
- 2 社会の変化に対応できる柔軟な思考力
- 3 専門分野の基礎原理の理解と高度応用展開力
- 4 地域社会への関心を持ちグローバルな視野で物事を考える姿勢

■八戸工業大学カリキュラム・ポリシー

八戸工業大学は、ディプロマ・ポリシーに掲げる資質・能力を備えた人材を育成するために、次のような教育課程編成・実施の方針を定めています。

1 教育課程の骨格

カリキュラムを、高校教育から大学教育に円滑に移行させ、キャリアデザインを支援するための「キャリア教育科目」、人間環境や社会に対して多面的な視野から物事を捉え総合的な判断ができる力を養う「総合教養科目」、AI技術やデータサイエンス能力を養う「AI・データサイエンス科目」、地域社会と科学技術についての包括的な理解、ならびに工学とデザインの分野を融合した学びを誘導する「共創教育科目」、工学の学問に必要な自然科学分野の基礎を幅広く養う「工学基礎科目」（工学部のみ）、各分野における専門基礎原理、実践的な応用能力を養う「専門科目」、地域産業の特色を反映した発展的な知識・技術を養う「工学発展科目（工学部のみ）」、高度な応用・展開能力を養う「特別専攻科目」で編成します。

2 総合的な人間力を養成する教育の実施

「キャリア教育科目」においては、高大接続・社会接続を担う教育を実施します。また「総合教養科目」においては、その分野を人間科学分野、国際コミュニケーション分野、体育科学分野および総合学際分野で構成し、学部・学科を問わないリベラルアーツを展開します。これにより、豊かな人間性を涵養し、柔軟な思考力や幅広い視野に立った理解力を養成します。「共創教育科目」および「専門科目」においても、課題解決型学習（PBL）、アクティブ・ラーニングなどの授業を展開し、豊かな人間性と総合的な判断力、主体性ならびに社会の変化に対応できる柔軟な思考力を養成します。

3 高度な情報活用能力を育成する教育の実施

超スマート社会に対応するための情報リテラシーと AI 技術・データサイエンスの基礎

を学ぶ科目を全学共通として配置します。工学およびデザインの専門分野においては情報技術を高度に利活用するための力を養成します。

4 地域社会との繋がりを重視した共創教育の実施

社会が抱える課題の解決のために、地域への理解を深めるとともに、学部・学科の専門分野の地域的・社会的な役割およびデザインの基礎について学ぶための科目を配置します。また「共創教育科目」における工学とデザインを融合した学修、さらに専門科目においても地域と連携したPBL、アクティブ・ラーニング教育を展開します。これにより、接続可能な地域社会づくりへの関心と責任をもって物事を考えることができる能力を養成します。

5 専門分野の基礎原理を理解・修得するための教育の実施

学部・学科の専門基礎原理を学ぶ科目を学期ごとに体系的に学べるように編成します。専門基礎と演習を組み合わせた授業、専門基礎原理の繰り返し学習を取り入れた授業などを展開し、これにより専門分野の基礎原理を理解・修得させる教育を実施します。

6 専門分野の基礎原理を実践的に応用展開できる力を養成する教育の実施

実践的な力を養うために、少人数ゼミナール、実験・演習・実習科目を重点的に配置します。自ら考えて纏めたことを発表・表現する授業や、体験・気づき・省察サイクルを取り入れた授業を展開します。また身につけた専門知識やスキルを統合し、論理的な課題解決を通じて新たな価値の創造に繋げていく能力や姿勢を育成するために、「卒業研究」を全学必修とします。また、これらの科目群によりチームワーク力やリーダーシップ力も養成します。

7 グローバルな視野で物事を考えることができる力を養成する教育の実施

学部・科を問わない「総合教養科目」を中心に、「専門科目」においてもそれぞれの分野においてグローバルな視点での授業を展開します。これにより、異文化と多様性を理解しつつ、グローバルな視野で物事を考えることができる力を養成します。

学修成果の達成度は、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力に基づいて具現化した複数の修得因子によって評価し、学生が自ら確認できるよう配慮します。

■八戸工業大学アドミッション・ポリシー

八戸工業大学は、建学の精神である「正己以格物」（己を正し以て物に格る）に基づいた自己思考能力を育むカリキュラムにより、基礎知識や専門知識だけにとどまらず、将来的に地域を牽引していくことができる総合力を備えた次世代のリーダーにふさわしい人材を養成しています。また、「良き技術は、良き人格から生まれる」という教育理念を掲げており、高度な専門知識を備え高度な応用展開力をもつとともに豊かな人間性と総合的な判断力をもつ社会の担い手の育成を目指しています。

これらを実現するため、高等学校で履修する教科・科目について基礎的な知識・技術を有しており、本学が進める教育研究活動に強い関心があり、さらに自らを向上させようとする意欲を持つ人を、多様な選抜制度により受け入れます。

本学の入学者選抜では、志願者の学力の三要素（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」）を把握し、各学科の教育・人材育成の目的にかなう能力・資質・意欲・適性などを判断するため、入試形態ごとに個別学力検査、大学入学共通テスト、調査書、小論文、面接などを組み合わせて志願者の能力や資質を多面的・総合的に評価します。



八戸工業大学校歌

作詩 佐藤 信三
下斗米 謹一
法師 桜白
作曲 渡辺 岳夫

Allegro risoluto alla marcia (♩ = 120)

1. そう
きゅうの ひかり さんさんと みち
の くここ に か がーやけり
わこうわれら きぼうにつどい くおんのちせい みがきゆく あ
1.2
あ はちこう だい みらい を ひらー く
3.

一、蒼穹の光りさんさんと

みちのくここに輝やけり

若人われら希望に集い

久遠の知性みがきゆく

ああ八工大 未来を拓く

二、白堊の塔はそびえたち

遠く潮はとどろけり

若人われら希望に集い

久遠の理想かざしゆく

ああ八工大 未来を創る

三、青雲はるかにいだきつつ

いのち豊けく秀でたり

若人われら希望に集い

久遠の真理きわめゆく

ああ八工大 未来を築く

八戸工業大学要覧

目 次

第1 学 年 暦	1
第2 位 置	2
第3 設 置 者	2
第4 沿 革	3
第5 組 織	
1 学校法人八戸工業大学 組織図	13
2 大学組織図	14
第6 名誉学長・名誉教授	15
第7 役 職 員	17
第8 教 職 員	
1 教 職 員	18
2 教 職 員 数	34
3 教員に関するデータ	34
第9 学 生	
1 在籍学生数	35
2 出身都道府県別学生数	36
3 学位授与者数	37
4 卒 業 者 数	38
5 令和7年度就職状況	39
6 令和7年度奨学生数	41

第10 学位授与	42
第11 委員会委員等一覧	
1 学内委員会	45
2 担 任	45
3 学友会担当	45
4 学生支援センター	45
5 国際交流・留学生支援センター	45
6 サテライトキャンパス	45
7 STEAM 女子推進・支援室	45
8 学外委員会等	47
第12 研究業績	
1 科学研究費交付一覧	54
2 文部科学省私立大学等改革総合支援事業	55
3 文部科学省大学・高専機能強化支援事業	55
4 外部資金	56
5 学内助成	58
6 海外出張・海外研修	63
第13 活動実績	
1 学会・研究会等	64
2 公開講座	66
第14 研究刊行物	69
第15 図書館	70
第16 旧職員	
1 歴代役付職員	71
2 退任・転任教員	85
第17 校地・校舎	
1 校地・校舎面積	92
2 研究室・講義室等配置	93
3 校地・校舎配置図	109

第1 学 年 暦 (令和8年度)

令和8年

4月1日(水) 学年開始 前期開始

4月3日(金) 入 学 式

8月5日(水) }
9月15日(火) } 夏 季 休 業

9月15日(火) 前 期 終 了

9月16日(水) 後 期 開 始

12月25日(金) }
令和9年 1月5日(火) } 冬 季 休 業

1月29日(金) 開 学 記 念 日

3月19日(金) 学 位 記 授 与 式

3月31日(水) 後期終了 学年終了

第 2 位 置

青森県八戸市大字妙字大開88番地 1 号
北緯40度28分36秒 東経141度34分00秒

第 3 設 置 者

設 置 者 名 学校法人 八戸工業大学
法人設立年月日 昭和31年 8 月 2 日
法 人 所 在 地 青森県八戸市大字妙字大開88番地 1 号
電 話 (0178) 25-3111 (代)

役 員 名	理 事 長	武 輪 俊 彦
副 理 事 長		大 庭 文 武
理事長補佐	川 村 暢 朗	
	業務執行理事	白 石 司
	理 事	船 崎 健 一
	理 事	遠 藤 剛
	理 事	黒 坂 孝
	理 事	上 澤 司
	理 事	阿 波 稔
	理 事	吉 田 忠 一
	監 事	田 島 幹 二
	監 事	島 守 雅 之
	監 事	田 村 礼 吉

第4 沿革

昭和31年（1956年）

- 2月28日 八戸市大字白銀町字右岩淵通7番地10号に八戸高等電波学校の設置を申請する。
代表 瀧澤 三郎
- 4月10日 八戸高等電波学校を開校する。
- 4月27日 八戸市大字白銀町字右岩淵通7番地10号に八戸高等電波学校の設置を認可される。
代表 瀧澤 三郎
- 7月27日 学校法人八戸高等電波学校の寄附行為が認可される。
理事長 瀧澤 三郎 就任する。
- 8月2日 法務局への登記により、学校法人八戸高等電波学校が成立する。

昭和34年（1959年）

- 2月12日 学校設置者名を学校法人八戸電波高等学校に改称する。

昭和35年（1960年）

- 4月5日 任期満了による理事・監事の改選を行い、理事長 柳谷 第吉 就任する。
- 5月31日 理事長 柳谷 第吉 退任（死亡）する。
- 7月22日 理事長 柳谷 第吉（柳谷 利一 が襲名）就任する。

昭和36年（1961年）

- 11月1日 学校設置者名を学校法人八戸電波工業高等学校に改称する。

昭和44年（1969年）

- 12月10日 八戸市大字妙字大開に学校用地として11万平方メートルの敷地を買収する。

昭和45年（1970年）

- 10月20日 八戸工業大学設立準備委員会が発足し、学校法人八戸電波工業高等学校内に事務局を置く。

昭和46年（1971年）

- 1月20日 八戸工業大学設立期成会（会長 熊谷 義雄）を結成する。

昭和47年（1972年）

- 1月29日 学校設置者名を学校法人八戸工業大学に改称する。
八戸工業大学の設置を認可される。
- 2月9日 寄附行為の変更による役員の一部変更を行い、理事長 熊谷 義雄 就任する。
- 2月28日 八戸市大字妙字大開88番地1号に校舎第一期工事「本館」が完成する。
- 4月1日 八戸工業大学（工学部 機械工学科・産業機械工学科・電気工学科）を開学する。
学長 小和田 武紀 就任する。
- 6月23日 開学式を挙げる。

昭和48年（1973年）

- 5月31日 校舎第二期工事「機械工学専門棟・電気工学専門棟・工作工場」が完成する。

昭和49年（1974年）

- 1月21日 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 2月23日 学長 小和田 武紀 退任（死亡）する。
- 2月24日 学長事務取扱 門脇 又男 就任する。
- 2月28日 校舎第三期工事「体育館」が完成する。
- 3月27日 工学部機械工学科・産業機械工学科・電気工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 4月12日 八戸工業大学父兄後援会が発足する。
- 6月1日 学長 斎藤 恒三 就任する。
- 10月19日 校舎落成式を挙げる。

昭和50年（1975年）

- 4月1日 学校法人八戸工業大学事務局の機構を改め、大学事務部を分離し設置する。
- 12月10日 工学部の土木工学科・建築工学科増設届出書を受理される。

昭和51年（1976年）

- 3月15日 第一回卒業証書授与式及び校歌、校章、校旗の制定樹立式を挙げる。
- 4月1日 工学部に土木工学科及び建築工学科を設置する。
- 4月15日 第一種、第二種及び第三種電気主任技術者認定校となる。
- 4月30日 学長 斎 藤 恒 三 退任する。
- 5月1日 学長事務取扱 門 脇 又 男 就任する。
- 8月30日 校舎第四期工事「教養棟（旧館）・土木工学専門棟・建築工学専門棟」に着工する。
- 12月11日 学長 門 脇 又 男 就任する。

昭和52年（1977年）

- 8月10日 校舎第四期工事「教養棟（旧館）・土木工学専門棟・建築工学専門棟」が完成する。
- 11月3日 学長 門 脇 又 男 が勲三等旭日中綬章を受章する。

昭和53年（1978年）

- 1月5日 工学部土木工学科・建築工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 3月6日 工学部土木工学科・建築工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。

昭和55年（1980年）

- 4月29日 理事長 熊 谷 義 雄 が勲二等瑞宝章を受章する。
- 7月6日 学校法人八戸工業大学「運動公園」を開園する。

昭和56年（1981年）

- 3月31日 学長 門 脇 又 男 退任する。
- 4月1日 学長 淵 澤 定 敏 就任する。

昭和57年（1982年）

- 1月16日 工学部にエネルギー工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。
工学部にエネルギー工学科の設置を認可される。
- 4月1日 工学部にエネルギー工学科を設置する。
工学部産業機械工学科の学生募集を停止する。
- 10月2日 創立10周年記念式典を挙げる。

昭和58年（1983年）

- 5月31日 学友会部室が完成する。
- 8月20日 校舎第五期工事「電気工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟」に着工する。

昭和59年（1984年）

- 2月8日 工学部エネルギー工学科正規課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 4月5日 工学部エネルギー工学科聴講生課程に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 5月2日 校舎第五期工事「電気工学専門棟増築」が完成する。
- 6月6日 校舎第五期工事「エネルギー工学専門棟」が完成する。
- 9月1日 任期満了による理事・監事の改選を行い、理事長 柳 谷 弟 吉 就任する。
- 11月3日 学長 淵 澤 定 敏 が勲二等瑞宝章を受章する。

昭和60年（1985年）

- 3月31日 学長 淵 澤 定 敏 退任する。
- 4月1日 学長 河 上 房 義 就任する。

昭和61年（1986年）

- 3月17日 工学部産業機械工学科を廃止する寄附行為の変更を認可される。
- 3月18日 工学部産業機械工学科の廃止が認可され、同日同学科を廃止する。
- 4月1日 事務組織を変更し、学務部を教務部及び学生部に改める。
- 6月18日 構内に「合宿所」二棟が完成する。
- 10月8日 学校法人八戸工業大学創立30周年記念式典を挙げる。

昭和62年（1987年）

- 2月28日 「工作工場」増築工事が完成する。

昭和63年（1988年）

- 4月1日 工学部に食品工学研究所及び情報システム工学研究所を設置する。
- 6月25日 校舎第六期工事「機械工学専門棟増築・情報システム工学研究所棟・教養棟・食品工学研究所棟」に着工する。
- 7月18日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定を締結する。
- 11月3日 理事長 柳 谷 弟 吉 が藍綬褒章を受章する。

平成元年（1989年）

- 1月20日 校舎第六期工事「機械工学専門棟増築」が完成する。
- 3月31日 校舎第六期工事「情報システム工学研究所棟」が完成する。
- 9月9日 校舎第六期工事「教養棟」が完成する。

平成2年（1990年）

- 3月15日 電気通信主任技術者試験の一部を免除する学校（電気工学科）として認定される。
- 3月26日 教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の再課程（正規の課程及び聴講生の課程）を認定される。
- 7月19日 校舎第六期工事「食品工学研究所棟」が完成する。
- 11月2日 理事長 柳 谷 弟 吉 が八戸市功労者を受賞する。

平成3年（1991年）

- 4月25日 「土木工学専門棟増築・建築工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟増築・食品工学研究所棟渡り廊下」に着工する。
- 10月21日 「ボイラー取替工事」が完成する。
- 11月20日 「土木工学専門棟増築・建築工学専門棟増築・エネルギー工学専門棟増築・食品工学研究所棟渡り廊下」が完成する。
- 12月20日 工学部機械工学科・電気工学科・土木工学科・建築工学科・エネルギー工学科の期間（平成4年度から平成11年度）を付した入学定員の増加（各学科入学定員80名を120名に）に係る学則の変更を認可される。

平成4年（1992年）

- 5月21日 ロシア連邦共和国ハバロフスク州立工科大学と学術交流に関する議定書を交換する。
- 5月25日 「構造工学研究所棟」に着工する。
- 10月16日 創立20周年記念式典を挙げる。
- 10月20日 専務理事 東 明 が八戸市功労者を受賞する。
- 10月30日 「構造工学研究所棟」が完成する。

平成5年（1993年）

- 1月16日 八戸工業大学を大学入試センター試験の試験場とし、併せて入学試験の一部に大学入試センター試験を採用する。
- 3月31日 学長 河 上 房 義 退任する。
- 4月1日 学長 村 上 孝 一 就任する。
前学長 河 上 房 義 に名誉学長の称号を贈る。
工学部に構造工学研究所を設置する。
- 8月31日 「測量実習地（軽井沢地区）」が完成する。

平成6年（1994年）

- 3月31日 「一般教育部」を廃止する。
- 4月1日 「総合教育センター」を設置する。
「工作工場」を「工作技術センター」に改称する。
- 7月27日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定を延長する。
- 10月15日 「図書館増床工事」が完成する。
- 12月28日 三陸はるか沖地震（余震 平成7年1月7日）により校舎等が多大な被害を受ける。

平成7年（1995年）

- 3月16日 大学院を設置する寄附行為の変更を認可される。
大学院工学研究科修士課程の設置を認可される。
- 4月1日 大学院工学研究科修士課程を設置する。（機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、土木工学専攻（入学定員各5名、収容定員各10名））

平成8年（1996年）

- 4月8日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流の実施に関する協議書を交換する。
- 9月12日 学校法人八戸工業大学創立40周年記念式典を挙げる。
- 9月30日 学内LAN（キャンパス情報ネットワーク装置）を導入する。
- 12月19日 大学院工学研究科博士後期課程の設置を承認される。

平成9年（1997年）

- 2月26日 大学院工学研究科修士課程機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、土木工学専攻に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程」を認定さ

- れる。
- 4月1日 大学院工学研究科博士後期課程を設置する。（機械システム工学専攻，電気電子工学専攻，土木工学専攻（入学定員各2名，収容定員各6名））
- 9月5日 「尚志館（武道館）」に着工する。
- 平成10年（1998年）
- 1月31日 「尚志館（武道館）」が完成する。
- 12月22日 大学院工学研究科に修士課程建築工学専攻の設置が承認される。
工学部にシステム情報工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。
工学部にシステム情報工学科の設置を認可される。
工学部電気工学科及びエネルギー工学科の収容定員の減少に係る学則の変更を認可される。
- | | |
|----------|---------------------------|
| 電気工学科 | 入学定員80名を40名，収容定員320名を160名 |
| エネルギー工学科 | 入学定員80名を60名，収容定員320名を240名 |
- 平成11年（1999年）
- 1月18日 理事長 柳 谷 弟 吉 退任する。
- 1月19日 理事長 柳 谷 透 就任する。
- 3月19日 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学院の課程」を認定される。
工学部システム情報工学科に「教員の免許状授与の所要資格を得させるための大学の課程」を認定される。
- 3月23日 工学部電気工学科を電気電子工学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
- 4月1日 大学院工学研究科修士課程建築工学専攻を設置する。
（入学定員5名，収容定員10名）
工学部システム情報工学科を設置する。
（入学定員60名，収容定員240名）
工学部電気工学科を電気電子工学科へ名称変更する。
- 8月12日 「学友会館1号館，同2号館」に着工する。
- 10月22日 工学部の期間を付した入学定員の廃止に伴う収容定員の増加に係る学則の変更を認可される。
- | | |
|-----------|---------------------------|
| 機械工学科 | 入学定員80名を90名，収容定員320名を360名 |
| 電気電子工学科 | 入学定員40名を80名，収容定員160名を320名 |
| 土木工学科 | 入学定員80名を95名，収容定員320名を380名 |
| 建築工学科 | 入学定員80名を95名，収容定員320名を380名 |
| システム情報工学科 | 入学定員60名を80名，収容定員240名を320名 |
- 10月27日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 11月30日 「学友会館1号館，同2号館」が完成する。
- 平成12年（2000年）
- 3月31日 学長 村 上 孝 一 退任する。
- 4月1日 学長 高 橋 燦 吉 就任する。
前学長 村 上 孝 一 に名誉学長の称号を贈る。
- 12月21日 大学院工学研究科建築工学専攻に博士後期課程の設置が承認される。
工学部機械工学科を機械情報技術学科、土木工学科を環境建設工学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
工学部システム情報工学科に教員免許状授与資格課程（情報）を認定される。
- 平成13年（2001年）
- 4月1日 大学院工学研究科博士後期課程建築工学専攻を設置する。
（入学定員1名，収容定員3名）
工学部機械工学科を機械情報技術学科、土木工学科を環境建設工学科へ名称変更する。
- 8月1日 工学部に生物環境化学工学科を設置する寄附行為の変更を認可される。
工学部に生物環境化学工学科の設置を認可される。
- 10月19日 八戸大学との単位互換に関する協定を締結する。

平成14年（2002年）

- 3月11日 工学部生物環境化学工学科に教員免許状授与資格課程を認定される。
- 3月25日 アメリカ合衆国ウェスレー大学と学術交流に関する協定を締結する。
- 3月31日 工学部食品工学研究所、情報システム工学研究所、構造工学研究所を廃止する。
- 4月1日 学校週5日制を導入する。
工学部に生物環境化学工学科を設置する。
（入学定員60名，収容定員240名）
工学部に異分野融合科学研究所を設置する。
工学部エネルギー工学科の学生募集を停止する。
- 5月18日 第1回「工大グループフェア2002」を実施する。（～19日）
- 7月5日 創立30周年記念式典を挙げる。
中華人民共和国瀋陽工業大学 王 爾智 前学長、王 成 元学長に名誉博士の称号を贈る。
- 10月3日 八戸工業大学工学部電気電子工学科を電子知能システム学科へ名称変更する寄附行為の変更を認可される。
- 10月9日 「八戸工業大学教育研究後援会」を設立する。
- 10月25日 排水設備改良工事に着手する。

平成15年（2003年）

- 4月1日 工学部電気電子工学科を電子知能システム学科へ名称変更する。
- 4月15日 工学部環境建設工学科（土木および土木関連分野）の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構より J A B E E 認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2002年度）
- 9月22日 排水設備改良工事が完成する。
- 10月22日 「ビールの試験製造免許」が交付される。
- 12月10日 中華人民共和国新疆大学と学術交流協議書を交換する。

平成16年（2004年）

- 5月10日 工学部機械情報技術学科創生工学コース（機械および機械関連分野）の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構より J A B E E 認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2003年度）
工学部電子知能システム学科（電気・電子・情報通信およびその関連分野）の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構より J A B E E 認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2003年度）
- 6月21日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 9月11日 中華人民共和国新疆大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を締結する。
- 10月5日 工学部各学科の定員を振り替え、感性デザイン学部感性デザイン学科を設置する届出書が受理される。

学部	学 科	入学 定員	収容 定員
工学部	機械情報技術学科	90	360
	電子知能システム学科	80	320
	環境建設工学科	95	380
	建築工学科	95	380
	システム情報工学科	80	320
	生物環境化学工学科	60	240
計		500	2,000

⇒

学部	学 科	入学 定員	収容 定員
工学部	機械情報技術学科	75	300
	電子知能システム学科	75	300
	環境建設工学科	70	280
	建築工学科	70	280
	システム情報工学科	80	320
	生物環境化学工学科	60	240
感性デザイン学部	感性デザイン学科	70	280
計		500	2,000

- 10月23日 第2回「工大グループフェア2004」を実施する。（～24日）

平成17年（2005年）

- 3月31日 工学部エネルギー工学科を廃止する。
「総合教育センター」を廃止する。

- 4月1日 感性デザイン学部感性デザイン学科（入学定員70名，収容定員280名）を設置する。
「教育研究戦略室」を設置する。
- 4月8日 中華人民共和国瀋陽工業大学へ学部学生の留学に関する協議書を締結する。
- 平成18年（2006年）
- 3月24日 ボイラー棟天井改修工事が完成する。
- 3月31日 学長 高 橋 燦 吉 退任する。
- 4月1日 学長 庄 谷 征 美 就任する。
事務組織を変更し、教務部及び学生部を学務部及び入試部に改める。
- 5月1日 学校法人八戸工業大学創立50周年記念「追悼会」並びに「記念の会」を挙げる。
- 10月31日 「日本高等教育評価機構」による「機関別認証評価」に係る実地調査を受審する。
（～11月2日，平成19年3月29日認定）
- 11月28日 商工組合中央金庫八戸支店と産学連携の協力推進に係る協定を締結する。
- 平成19年（2007年）
- 4月1日 大学院工学研究科機械システム工学専攻を機械・生物化学工学専攻に同電気電子工学専攻を電子電気・情報工学専攻へ名称変更する。
- 4月30日 「大学改革室」「教育研究戦略室」を廃止する。
- 5月1日 「社会連携学術推進室」「基礎教育研究センター」を設置する。
- 5月7日 株式会社みちのく銀行と産学連携協力協定を締結する。
- 5月14日 工学部システム情報工学科システム情報コース（情報および情報関連分野）の技術者教育プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E 認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2006年度）
- 6月22日 アメリカ合衆国ウェスレー大学と学術交流に関する協定を延長する。
- 7月7日 第3回「工大グループフェア2007」を実施する。（～8日）
- 9月3日 本館、教養棟旧館、体育館天井改修工事が完成する。
- 9月12日 感性デザイン専門棟3階多目的ホールKDプラザが完成する。
- 10月26日 八戸大学、八戸工業高等専門学校と学術交流の協定を締結する。
- 10月29日 体育館外壁改修工事が完成する。
- 12月6日 株式会社青森銀行と産学連携協力協定を締結する。
- 平成20年（2008年）
- 3月27日 機械情報技術学科自動車工学コース実習棟が完成する。
- 6月25日 工学部機械情報技術学科自動車工学センターが自動車分解整備事業を認証される。
- 6月27日 工学部並びに感性デザイン学部各学科の収容定員変更および工学部土木建築工学科を設置する届出書を提出する。

学部	学 科	入学定員	収容定員		学部	学 科	入学定員	収容定員
工学部	機械情報技術学科	75	300	⇒	工学部	機械情報技術学科	80	320
	電子知能システム学科	75	300			電子知能システム学科	60	240
	環境建設工学科	70	280			システム情報工学科	70	280
	建築工学科	70	280			バイオ環境工学科	60	240
	システム情報工学科	80	320			土木建築工学科	70	280
	生物環境化学工学科	60	240					
感性デザイン学部	感性デザイン学科	70	280		感性デザイン学部	感性デザイン学科	60	240
計		500	2,000		計		400	1,600

- 7月24日 午前零時26分頃発生 of 岩手県沿岸北部を震源とする地震（八戸の震度6弱）により、校舎に壁面亀裂、天井の一部落下や水道管の漏水などの被害。
- 8月8日 国民生活金融公庫青森支店・八戸支店・弘前支店、農林漁業金融公庫青森支店、中小企業金融公庫青森支店と産学連携協力協定を締結する。
- 9月30日 工学部機械情報技術学科自動車工学コースが自動車に関する学科を有する大学として認定される。
- 10月1日 工学部に土木建築工学科の設置並びに工学部生物環境化学工学科をバイオ環境工学科へ名称変更する寄附行為の変更届を提出する。
- 12月24日 工学部バイオ環境工学科に教員免許状授与資格課程（理科）、土木建築工学科に同（工業・技術）、感性デザイン学部感性デザイン学科に同（美術・工芸）を認

定される。

平成21年（2009年）

- 2月17日 工学部バイオ環境工学科に食品衛生管理者及び食品衛生監視員養成施設の登録が認可される。
- 3月31日 入試部アドミッションズ・オフィスを廃止する。
- 4月1日 事務組織を変更し、大学事務部会計課を法人事務局財務課に統合し、事務部庶務課を学事課に改める。
工学部土木建築工学科を設置する。
（入学定員70名，収容定員280名）
工学部生物環境化学工学科をバイオ環境工学科へ名称変更する。
工学部環境建設工学科および建築工学科の学生募集を停止する。
- 4月6日 「八戸工業大学メディアセンター」建設に着工する。
工学部電子知能システム学科を電気電子システム学科へ名称変更する寄附行為・学則変更届を提出する。
- 9月30日 「八戸工業大学メディアセンター」が完成する。
- 10月9日 「八戸工業大学メディアセンター」竣工式典を挙げる。

平成22年（2010年）

- 3月31日 学長 庄 谷 征 美 退任する。
- 4月1日 学長 藤 田 成 隆 就任する。
工学部電子知能システム学科を電気電子システム学科へ名称変更する。
- 4月22日 異分野融合科学研究所をエネルギー環境システム研究所へ名称変更する。
- 4月29日 会長 柳 谷 弟 吉 が旭日中綬章を受章する。
- 5月21日 中華人民共和国瀋陽工業大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 5月25日 七戸町と連携に関する協定を締結する。
- 9月2日 理事長 柳 谷 透 退任する。
- 9月3日 理事長 柳 谷 利 通 就任する。
- 9月21日 中華人民共和国新疆大学と友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 11月4日 青森県と連携に関する協定を締結する。
- 12月13日 青森県産業技術センターと連携に関する協定を締結する。

平成23年（2011年）

- 1月5日 青森県立図書館と連携・協力に関する協定を締結する。
- 3月11日 午後2時46分頃発生東北地方太平洋沖地震（M9.0 八戸の震度5強）により、校舎に壁面亀裂、天井の一部落下や配管設備等に被害。
- 6月10日 青森県教育委員会と連携に関する協定を締結する。

平成24年（2012年）

- 2月13日 名誉会長 柳 谷 弟 吉 退任（死亡）する。
- 10月17日 一般社団法人青森県情報サービス産業協会と連携に関する協定を締結する。

平成25年（2013年）

- 3月31日 工学部環境建設工学科を廃止する。
- 4月24日 特定非営利活動法人テイクオフみさわと連携に関する協定を締結する。
- 4月26日 工学部バイオ環境工学科、バイオ環境工学コース、工学（融合複合・新領域）関連分野の学士課程プログラムが、日本技術者教育認定機構よりJ A B E E認定基準に適合していることを認定される。（認定開始年度：2012年度）
- 10月30日 平成25年度私立学校施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学機械情報技術専門棟（渡廊下付）の耐震補強工事が完了する。

平成26年（2014年）

- 3月11日 八戸工業大学が、公益財団法人日本高等教育評価機構（JIHEE）から同機構が定める大学評価基準に適合していると認定される。（10月2日～10月4日（JIHEE）の現地調査）
- 6月23日 太平洋国立大学（ロシア）と八戸工業大学の教育、学術交流に関する協力合意書

- を締結する。
- 8月27日 八戸市と連携に関する協定を締結する。
- 平成27年（2015年）
- 1月7日 八戸工業大学工学部建築工学科を廃止する。
- 4月1日 八戸工業大学大学院工学研究科土木工学専攻を八戸工業大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻へ名称変更する。
- 4月28日 八戸工業大学エネルギー環境システム研究所を八戸工業大学地域産業総合研究所へ名称変更する。
- 8月10日 八戸工業大学入試部にアドミッション・オフィスを設置する。
- 9月24日 八戸工業大学と国立研究開発法人海洋研究開発機構との連携・協力に関する協定を締結する。
- 11月26日 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に係る連携・協力に関する協定を締結する。
- 11月30日 平成26年度私立大学施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学電気電子システム専門棟（渡廊下付）の耐震補強工事が完了する。
- 平成28年（2016年）
- 2月2日 国立大学法人室蘭工業大学環境・エネルギーシステム材料研究機構と八戸工業大学地域産業総合研究所との学術・研究交流協定を締結する。
- 3月17日 岩手県立種市高等学校と海洋に関する連携協定を締結する。
- 3月31日 学長 藤 田 成 隆 任期満了により退任する。
- 3月31日 八戸工業大学大学院工学研究科建築工学専攻を廃止する。
- 4月1日 学長 長谷川 明 就任する。
- 4月28日 櫛引八幡宮と事業推進・課題解決についての覚書を取り交わす。
- 9月21日 八戸工業大学と中華人民共和国瀋陽工業大学間の友好的な学術交流に関する協定ならびに実施に関する協議書を延長する。
- 9月26日 公益社団法人日本技術士会東北本部青森県支部と連携・協力に関する協定を締結する。
- 10月21日 株式会社まちづくり八戸と八戸市中心市街地のまちづくりに関する覚書を取り交わす。
- 11月28日 八戸工業大学と青森県立八戸工業高等学校との教育および研究に関する連携協定を締結する。
- 平成29年（2017年）
- 4月1日 八戸工業大学学務部に学生支援センターを設置する。
- 4月1日 八戸工業大学社会連携学術推進室にIR分室を設置する。
- 6月21日 八戸工業大学と国立ユーラシアン大学（E N U）間の協力合意書を締結する。
- 7月25日 八戸工業大学と青い森信用金庫との相互の連携協力を円滑に行う協定を締結する。
- 平成30年（2018年）
- 1月23日 八戸工業大学と青森県行政書士会との連携・協力に関する協定を締結する。
- 2月26日 八戸工業大学と青森県県土整備部との建設系人財支援に関するパートナーシップ協定を締結する。
- 3月12日 八戸工業大学と八戸学院大学短期大学部における単位互換に関する協定を締結する。
- 4月1日 八戸工業大学工学部機械情報技術学科を機械工学科へ名称変更する。
工学部電気電子システム学科を電気電子工学科へ名称変更する。
工学部バイオ環境工学科を生命環境科学科へ名称変更する。
感性デザイン学部感性デザイン学科を創生デザイン学科へ名称変更する。
- 6月18日 カザフスタン共和国カザフスタン建築土木先端大学と八戸工業大学との協力合意書を締結する。
- 7月24日 八戸市、八戸商工会議所及び八戸市高等教育連携機関との包括的連携に関する協定を締結する。
- 7月24日 八戸市高等教育連携機関 設置要綱、運営に係る連絡協議会運営規定を定める。
また、参画同意書を取り交わす。
- 7月31日 八戸工業大学インフラ・防災技術社会システム研究センターと国立大学法人東北

- 大学災害科学国際研究所との学術・研究交流協定を締結する。
- 8月23日 八戸工業大学と青森県立八戸工業高等学校との教育および研究に関する連携協定書に関しての覚書を取り交わす。
- 9月5日 八戸工業大学と階上町との連携に関する協定を締結する。
- 平成31年（2019年）
- 1月30日 八戸工業大学と中華人民共和国新疆大学の代表者変更に伴う友好的な学術交流に関する協定並びに実施に関する協議書を延長する。
- 4月1日 国際交流センターを設置する。
- 5月27日 工学部並びに感性デザイン学部各学科の収容定員の変更の届出書を提出する。

学部	学 科	入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	80	320
	電気電子工学科	60	240
	システム情報工学科	70	280
	生命環境科学科	60	240
	土木建築工学科	70	280
感性デザイン学部	創生デザイン学科	60	240
計		400	1,600

⇒

学部	学 科	入学定員	収容定員
工学部	機械工学科	50	200
	電気電子工学科	40	160
	システム情報工学科	60	240
	生命環境科学科	40	160
	土木建築工学科	60	240
感性デザイン学部	創生デザイン学科	50	200
計		300	1,200

令和2年（2020年）

- 3月3日 令和元年度私立学校施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（学校施設耐震改修事業））による八戸工業大学体育館の耐震改修工事が完了する。
- 3月27日 令和元年度私立学校施設整備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（バリアフリー推進事業））による八戸工業大学本館のバリアフリー化工事が完了する。
- 3月31日 学長 長谷川 明 任期満了により退任する。
- 4月1日 学長 坂本 禎智 就任する。
- 6月30日 八戸工業大学入試部アドミッション・オフィスを廃止する。

令和3年（2021年）

- 2月12日 八戸工業大学と八戸市、株式会社まちづくり八戸と「八戸市中心市街地のまちづくりに関する覚書」に関し、一部変更合意書を締結する。
- 3月16日 八戸工業大学が、公益財団法人日本高等教育評価機構（JIHEE）から同機構が定める大学評価基準に適合していると認定される。（10月21日 JIHEE 受審）
- 4月1日 事務組織を変更し、課制を廃止し、部制とする。
- 4月20日 2022年創立50周年記念事業の一環としてシンボルマークを制定する。
- 12月22日 株式会社田名部組と共同で実施する『はちのへ「まち」プロジェクト』に関し、2者間にて産学連携に関する基本協定書を締結する。

令和4年（2022年）

- 3月25日 令和3年度私立学校施設設備費補助金（防災機能等強化緊急特別推進事業（バリアフリー推進事業））により八戸工業大学本館トイレのバリアフリー化工事が完了する。
- 4月1日 工学部工学科を設置する。（入学定員250名、収容定員1,000名）
感性デザイン学部創生デザイン学科を感性デザイン学科へ名称変更する。
工学部機械工学科、電気電子工学科、システム情報工学科、生命環境科学科、土木建築工学科の学生募集を停止する。
- 4月1日 八戸市番町に教育研究活動と広報の拠点として、株式会社田名部組の協力を得て八戸工業大学と株式会社田名部組との共同で運営する「番町サテライトキャンパス」（通称名：ばんらぼ）を開設する。
- 10月22日 創立50周年記念式典を挙げる。
- 12月6日 八戸工業大学と社会医療法人松平病院との連携協力協定書を締結する。
- 12月13日 八戸工業大学と台湾国立高雄科技大学、台湾財団法人金属工業研究発展中心との学術協定および交流に関する合意覚書を締結する。

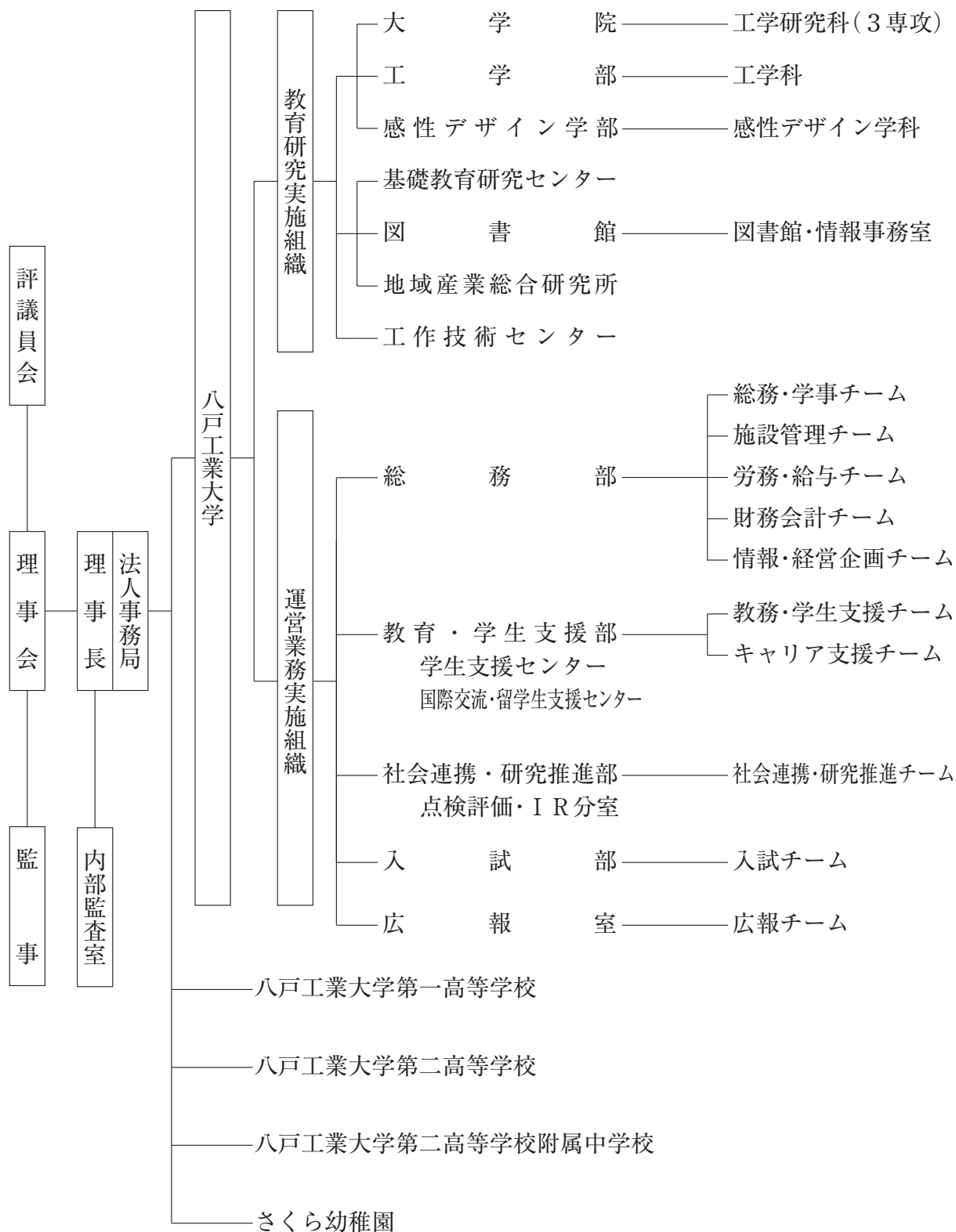
令和5年（2023年）

- 3月7日 本学を中心に行政機関（青森県、八戸市、量子科学技術研究開発機構六ヶ所研究所他）と産業界（青森県工業会、青森県建設業協会、六ヶ所村産業協議会、東北

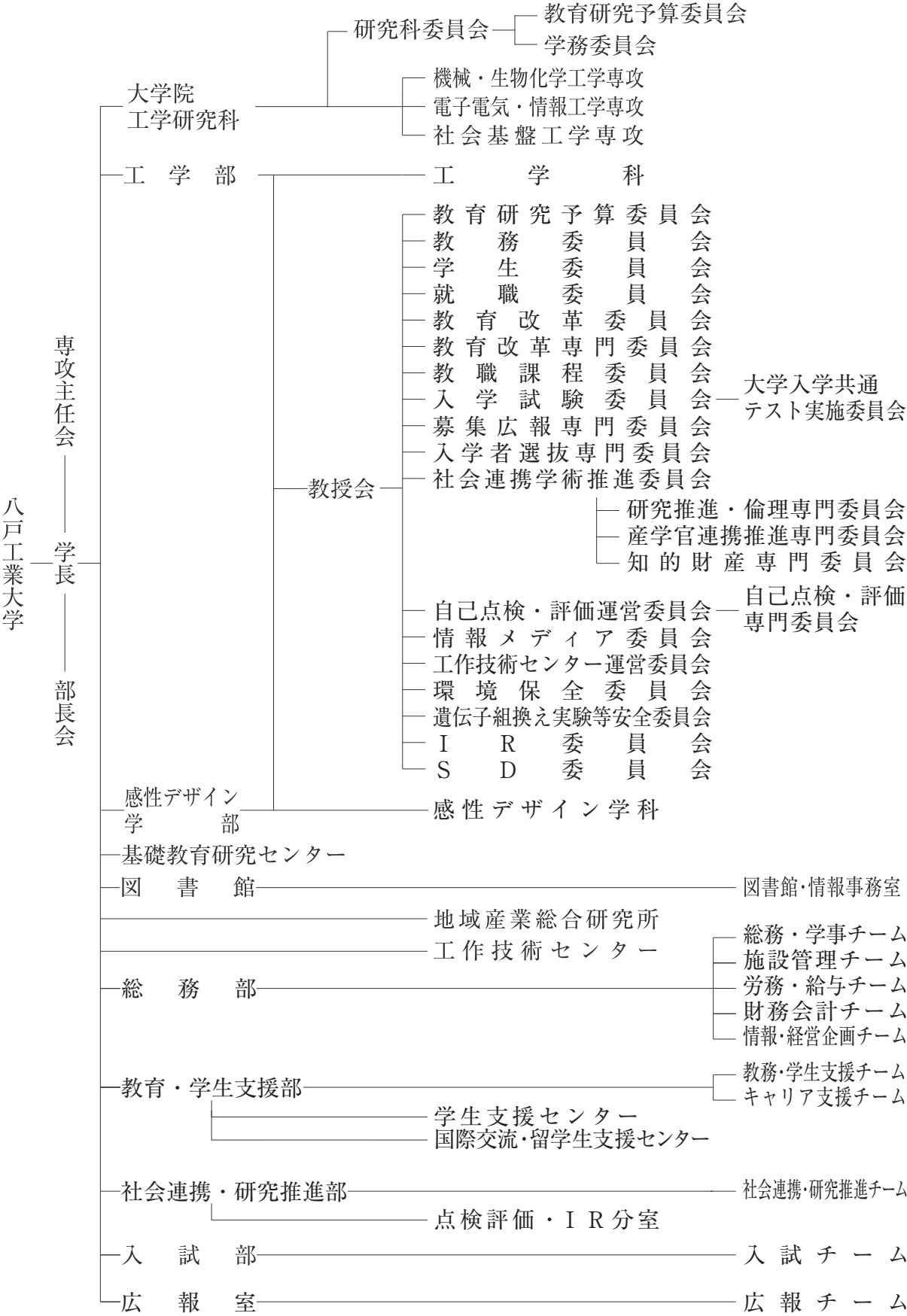
- 電力、日本原燃等）で構成するHITカーボンニュートラル人材育成協議会を設立する。
- 3月8日 機械系同窓会より創立50周年記念寄付としてシンボルマークのモニュメントが贈られる。（受付付近に設置）
- 7月1日 本学地域産業総合研究所は、岩手県盛岡市に所在する「ヘルステック・イノベーション・ハブ（HIH）」（2020年4月に開所）へ入居する。
- 7月28日 八戸工業大学と公益財団法人21あおもり産業総合支援センターと連携協定に関する協定を締結する。
- 11月27日 八戸工業大学と東北大学災害科学国際研究所との学術研究交流協定を更新する。
- 12月11日 大学構内に橋梁メンテナンス体験施設が完成する。
- 令和6年（2024年）**
- 1月1日 岩手県北上市に地域の教育研究拠点として北上サテライトオフィスを開設する。
- 3月28日 八戸工業大学と三本木農業恵拓高等学校と高大連携・接続に関する協定を締結する。
- 3月31日 学長 坂本 禎智 退任する。
- 4月1日 学長 船崎 健一 就任する。
- 4月1日 学校法人八戸工業大学組織等に関する規程改正により大学の組織が改編となる。
- 8月26日 八戸工業大学と八戸市、嶋脇漁業株式会社、青い森信用金庫及び青森県栽培漁業振興協会と陸上養殖ビジネスモデル構築に関する連携協定書を締結する。
- 令和7年（2025年）**
- 2月14日 八戸工業大学と公益財団法人環境科学技術研究所との連携協力に関する包括協定書を締結する。
- 5月29日 代表業務執行理事 武輪 俊彦 就任する。
- 6月21日 理事長 柳谷 利通 退任（死亡）する。
- 7月30日 理事長 武輪 俊彦 就任する。
- 8月1日 本学地域産業総合研究所「ヘルステック・イノベーション・ハブ（HIH）」を閉所する。
- 8月26日 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定される。
- 9月1日 全国ダイバーシティネットワークに参画する。
- 令和8年（2026年）**
- 2月25日 本学と青森県立三沢高等学校との教育および研究に関する連携協定書を締結する。
- 4月1日 「広報室」を設置する。
- 4月1日 橋梁メンテナンス体験施設を拡充し、HITインフラミュージアムへ名称変更する。

第5 組 織

1 学校法人八戸工業大学 組織図



2 大 学 組 織 図



第6 名誉学長・名誉教授

1 名 誉 学 長

称号授与	学 位	氏 名	専攻分野
平5. 4. 1	工 学 博 士	河 上 房 義	基礎・土質工学
12. 4. 1	工 学 博 士	村 上 孝 一	電力工学・電気機器工学 計測・制御工学

2 名 誉 教 授

称号授与	学 位	氏 名	専攻分野
平3. 1. 1		内 川 健 吾	英語学
3. 1. 1	工 学 博 士	門 脇 又 男	電力工学
3. 1. 1		淵 澤 定 敏	液体機械学
3. 1. 1		佐 藤 健 吉	土質工学
3. 1. 1	工 学 博 士	佐 々 木 嘉 彦	建築計画・都市計画
3. 4. 1	工 学 博 士	三 戸 暁	機械材料学
3. 4. 1	工 学 博 士	萱 場 孝 雄	機械要素
4. 4. 1	工 学 博 士	田 原 浩 一	化学工学
4. 4. 1		高 橋 久 太 郎	教育学
5. 4. 1	工 学 博 士	河 上 房 義	基礎・土質工学
6. 4. 1	工 学 博 士	槌 川 武 男	機械工作
6. 4. 1	工 学 博 士	能 登 文 敏	電力工学 電気機器工学
6. 4. 1	工 学 博 士	内 山 和 夫	建築構造・材料
8. 4. 1	工 学 博 士	鈴 木 幸 三	工業力学 材料力学 環境安全工学
8. 4. 1	工 学 博 士	志 満 嘉 夫	電力工学・電気機器工学 流体工学
9. 4. 1	理 学 博 士	伊 達 蕙	物理化学
12. 4. 1	工 学 博 士	村 上 孝 一	電力工学・電気機器工学 計測・制御工学
12. 4. 1	工 学 博 士	佐 藤 敦 久	土木環境システム 環境保全
12. 4. 1	博士(工学)	佐 藤 米 司	土木環境システム
12. 4. 1	工 学 博 士	杉 田 慶 一 郎	電力工学・電気機器工学 プラズマ理工学
16. 4. 1	博士(工学)	加 賀 拓 也	流体工学 船舶工学
17. 4. 1	博士(工学)	杉 田 修 一	土木材料・力学一般
18. 4. 1	農 学 博 士	奥 田 慎 一	応用微生物学・応用生物化学
18. 4. 1		勝 村 靖 夫	体育学
18. 4. 1	博士(工学)	塩 井 幸 武	橋梁工学基礎工学耐震工学
18. 4. 1	工 学 博 士	須 田 熙	交通工学・国土計画 社会システム工学
18. 4. 1	工 学 博 士	高 橋 燦 吉	化学工学一般 反応・分離工学 熱工学
18. 4. 1	経済学修士	福 田 直	経済理論 経済統計学
18. 4. 1	理 学 修 士	本 間 健 祐	電子・電気材料工学 固体物性 I
19. 4. 1	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎	電子・電気材料工学 薄膜表面界面物性
19. 4. 1	工 学 博 士	豊 田 淳 一	電力工学・電気機器工学 システム工学 エネルギー学

平20.	4.	1	理学博士	田中	昇	物理化学一般 環境科学
20.	4.	1	工学博士	渡邊	正朋	建築構造・材料
20.	4.	1	工学博士	松坂	知行	システム工学 制御工学
20.	4.	1	理学修士	尾崎	康弘	教育工学 科学教育
20.	4.	1	文学修士	竹園	洋子	日本文学
20.	4.	1		澤田	紘次	建築環境・設備
21.	4.	1	理学博士	坂尻	直巳	固体地球惑星物理学 地震工学
21.	4.	1	理学博士	清野	大樹	物性Ⅱ メディア情報
21.	4.	1	博士(工学)	小山	大信	材料科学・材料力学
						複合材料・物性
22.	4.	1	工学博士	小松	年雄	制御工学 知能ロボティクス
22.	4.	1	工学博士	苦米	地宣	コンピュータシステム
22.	4.	1	博士(工学)	岡村	隆成	エネルギー学 熱工学
23.	4.	1	工学博士	佐藤	正毅	電力工学・電気機器工学
						エネルギー学
23.	4.	1	理学修士	目修	三	物理学 科学教育
24.	4.	1	工学博士	伊藤	幸雄	流体工学 リサイクル工学
24.	4.	1	工学博士	毛呂	眞	建築構造・材料
						自然災害科学
25.	4.	1	工学博士	大内	清行	塑性加工学
						材料加工・処理
26.	4.	1	工学博士	村中	健	応用物理学
						環境動態解析
26.	4.	1	博士(工学)	梅津	光男	住居デザイン
						都市計画・建築計画
27.	4.	1	工学博士	阿部	勝憲	原子力学・核融合学
28.	4.	1	工学博士	藤田	成隆	マイクロ・ナノデバイス
						計測工学 環境動態解析
29.	4.	1	工学博士	齋藤	正博	機械材料・材料力学
						構造・機能材料
29.	4.	1	工学博士	栗原	伸夫	計測制御工学
						組込ソフトウェア
29.	4.	1	博士(工学)	橋本	典久	建築環境・設備
29.	4.	1	博士(工学)	小嶋	高良	リハビリテーション科学・福祉工学
						社会システム工学・安全システム
30.	4.	1	博士(工学)	熊谷	浩二	地盤環境工学 職業倫理
30.	4.	1	博士(工学)	根城	安伯	プラズマ理工学 宇宙工学
31.	4.	1	農学博士	若生	豊	応用生物化学 食品科学
31.	4.	1	博士(理学)	佐野	公朗	解析学基礎
令2.	4.	1	工学博士	長谷川	明	構造力学 橋梁工学 計算工学
2.	4.	1	工学博士	佐々木	幹夫	水工水理学 自然災害科学
2.	4.	1	工学博士	四木	樹男	原子力学・核融合学
3.	4.	1	工学博士	福士	憲一	土木環境システム 環境技術
3.	4.	1		橋本	都	教育学
4.	4.	1	工学博士	滝田	貢	建築構造・材料
5.	4.	1	工学博士	関	秀廣	電子デバイス・電子機器
						電子・電気材料工学
5.	4.	1	博士(工学)	月永	洋一	建築構造・材料
5.	4.	1	博士(工学)	小坂谷	壽一	ヒューマン・インターフェイス
						音楽情報科学
6.	4.	1	博士(工学)	野田	英彦	熱工学 移動現象
6.	4.	1	博士(工学)	武山	泰	社会システム工学 ソフトウェア
7.	4.	1	工学博士	坂本	禎智	ユニバーサルデザイン・電気機器工学
						計測・制御工学

第7 役 職 員

[illegible]

第8 教 職 員

1 教 職 員

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
学 長	工学博士	船 崎 健 一	理事 大学院工学研究科長 教授 流体力学 伝熱工学 航空宇宙推進工学
学長補佐	博士(工学)	金 子 賢 治	教育・学生支援部長 広報室長 教授 地盤工学・応用力学・計算力学
学長補佐	博士(工学)	阿 波 稔	理事 感性デザイン学部長 基礎教育研究センター長 教授 土木材料 維持管理工学
職 名		氏 名	兼任・その他
〔総 務 部〕			
(兼)部長		吉 田 忠 一	法人事務局事務局長
(兼)次長		山之内 栄美子	法人事務局事務局次長 (兼)教育・学生支援部次長
(兼)課長		清 川 義 則	法人事務局事務局課長 内部監査室課長
(兼)課長		竹 本 成 喜	法人事務局事務局課長 財団事務局長
総務・学事チーム			
主査/チームリーダー		奥 村 貴和子	
参事		川 村 真貴子	
主任		中 嶋 沙香絵	
主任		木 村 孝 太	
主任		蛸 村 名 節 子	
主任		澤 口 亜 紀	
アソシエイトスタッフ		根 本 香 織	施設管理チーム
施設管理チーム			
主任/チームリーダー		遠 藤 永 之	
工 師		佐々木 雅 春	
工 師		菅 原 政 幸	
工 師		柳 谷 俊 一	
工 師		笹 森 富 士 人	
工 師		笹 部 尚 孝	
(兼)主 事		澤 口 亜 紀	総務・学事チーム
労務・給与チーム			
主任/チームリーダー		風 張 洋 佑	
書 記		梅 津 有 輝 子	
書 記		大 山 和 弘	
財務会計チーム			
主任/チームリーダー		大 沼 泰 子	
主 任		山 田 直 子	
主 任		久 保 博 幸	
アソシエイトスタッフ		佐々木 彩 江 子	
アソシエイトスタッフ		豊 川 瑠 菜	
情報・経営企画チーム			
主任/チームリーダー		長 根 大 恵	広報室広報チーム
(兼)主 査		西 村	社会連携・研究推進部 社会連携・研究推進チーム 広報室広報チーム
〔教育・学生支援部〕			
部 長		金 子 賢 治	学長補佐 広報室長 工学科教授

教育・学生支援推進監 教育・学生支援推進監 教育・学生支援推進監 (兼)次長 課長	小 玉 成 人 安 部 信 行 本 田 洋 之 山之内 栄美子 蛸 名 恵利子	学生支援センター長 工学科教授 感性デザイン学科教授 工学科准教授
教務・学生支援チーム 主任/チームリーダー 主 査 副 参 事 主 事 主 事 主 事 主 事 アソシエイトスタッフ アソシエイトスタッフ	三 上 実 穂 桂 山 清 美 夏 坂 光 男 佐 京 紗 也 赤 坂 友 貴 茨 島 涼 五 十 嵐 果 久 保 七 佳 玉 館 千 子 祐 祐 美	社会連携・研究推進部 点検評価・IR分室
キャリア支援チーム 主任/チームリーダー 主 任 主 事 書 記	濱 田 信 吾 城 前 さ ゆ り 室 谷 ゆ か り 山 田 真 耶	
学生支援センター センター長	小 玉 成 人	教育・学生支援推進監 工学科教授
国際交流・留学生支援センター センター長	浅 川 拓 克	入試専門監 広報専門監 工学科教授
〔社会連携・研究推進部〕 部 長 社会連携・研究推進監 社会連携・研究推進監	高 瀬 慎 介 折 田 久 幸 川 本 清	地域産業総合研究所長 工学科教授 工学科教授 基礎教育研究センター教授
社会連携・研究推進チーム 課長/チームリーダー 主 査 参 事 アソシエイトスタッフ	古 川 純 也 西 村 和 恵 大 野 黎 弘 上 野 香	総務部情報・経営企画チーム 広報室広報チーム
点検評価・IR分室 主 査 (兼)主 事	齊 藤 克 治 五 十 嵐 七 果	図書館・情報事務室 教育・学生支援部 教務・学生支援チーム
〔入 試 部〕 部 長 入 試 専 門 監 入 試 専 門 監 入 試 専 門 監	高 橋 晋 鈴 木 寛 浅 川 拓 克 皆 川 俊 平	基礎教育研究センター長補佐 工学科教授 工学科教授 広報専門監 国際交流・留学生支援センター長 工学科教授 広報専門監 感性デザイン学科准教授
入試チーム 主査/チームリーダー 参 事 主 事 主 事	本 間 貴 士 奥 井 正 克 寺 村 美 樹 中 村 優 孝	
〔広 報 室〕 部 長 広 報 専 門 監	金 子 賢 治 浅 川 拓 克	学長補佐 教育・学生支援部長 工学科教授 入試専門監 国際交流・留学生支援センター長

広報専門監 (併)特任准教授	皆川俊平 本多進司	工学科教授 入試専門監 感性デザイン学科准教授 地域産業総合研究所特任准教授
広報チーム 主任/チームリーダー 主事 アソシエイトスタッフ (兼)事務長 (兼)主査 (兼)主任事 (兼)主事手 (兼)技参 参 参 参	佐々木綾子 黒滝泰世 志田彩夏 谷津村恵 西根大子 長井美樹 寺斗米真 下真一夫 真東一大樹 中森直 小森樹	図書館・情報事務室 社会連携・研究推進部 社会連携・研究推進チーム 総務部 情報・経営企画チーム 入試部 入試チーム 図書館・情報事務室
〔図書館〕 館長	竹内貴弘	工学部長 工学科教授
図書館・情報事務室 事務長 (兼)主査 主事 技手	谷津昌樹 齊藤克治 大久保るり 下斗米一真	広報室広報チーム 社会連携・研究推進部 点検評価・IR分室 広報室広報チーム
〔地域産業総合研究所〕 所長 アソシエイトスタッフ	高瀬慎介 菅野優子	社会連携・研究推進部長 工学科教授
〔学修支援室非常勤相談員〕	和田喜美夫 山本忠	
〔学生支援センターコーディネーター〕	藤田明子	
〔学生支援センターカウンセラー〕	渡邊一弥 嵯峨怜	
〔客員教員〕 客員教授 客員教授	唐澤英年 佐藤利雄	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構原子力基礎工学研究センター非常勤嘱託 東経連ビジネスセンター コーディネーター (非常勤) 独立行政法人中小企業基盤整備機構 アドバイザー (非常勤) SBIM代表
客員教授 客員教授 客員教授 客員教授 客員教授 客員教授	森田友岳 藤田弘昭 山本悟 村上学 村福長 大原寿 海妻正 敏子	国立研究開発法人産業技術総合研究所 企画本部 総括企画主幹 株式会社キタコン 執行役員 企画管理部長 東北大学情報科学研究科教授 弘前大学医学研究科医科学専攻病態薬理学講座教授 静岡大学大学院工学領域教授 前八戸工業大学工学部工学科機械工学コース教授 岩手大学人文社会学部教授
〔学校医〕 内科	於本 章	
〔任期付研究員〕	赤松笙太	

工 学 部

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
工学部長 教 授	博士(工学)	竹 内 貴 弘	図書館長 海洋工学 水工水理学
〔工学科 機電・環境工学系〕			
工学科長(MEL) 教 授	博士(工学)	石 山 武	電子・電気材料工学 結晶工学
学科長補佐(M) 教 授	博士(工学)	工 藤 祐 嗣	社会システム工学・安全システム 熱工学
学科長補佐(E) 教 授	博士(工学)	佐々木 崇 徳	基礎教育研究センター長補佐 通信・ネットワーク工学 数理物理 物性基礎 ソフトウェア 衛生リモートセンシング
学科長補佐(L) 教 授	博士(農学)	星 野 保	応用微生物学 微生物生態学 生理・生態
教 授	博士(工学)	鶴 田 猛 彦	応用微生物学 生物機能・バイオプロセス
教 授	博士(工学)	鈴 木 寛	入試専門監 機械材料・材料力学
教 授	博士(工学)	石 山 俊 彦	電子・電気材料工学 電子デバイス・電子機器
教 授	博士(工学)	折 田 久 幸	社会連携・研究推進監 化学工学
教 授	博士(工学)	佐 藤 学	原子力学 核融合学
教 授		浅 川 拓 克	入試専門監 広報専門監 自動車工学
教 授	博士(工学)	小 林 正 樹	反応工学・移動操作・単位操作
教 授	博士(理学)	田 中 義 幸	海洋生態学 安定同位体比解析 生態系機能
教 授	博士(水産学)	藤 田 敏 明	水産学一般
教 授	博士(工学)	柴 田 幸 司	電子回路・計測工学 通信ネットワーク工学
教 授	博士(工学)	高 橋 晋	入試部長 基礎教育研究センター長補佐 化学工学 物理化学
教 授	博士(工学)	太 田 勝	工作技術センター長 電力工学・電気機器工学
教 授	博士(工学)	信 山 克 義	電子・電気材料工学 環境技術・環境材料
教 授	博士(理学)	鮎 川 恵 理	生態・環境 生物多様性・分類
教 授	博士(工学)	越 田 俊 介	通信・ネットワーク工学 デジタル信号処理

第8 教職員

教 授	博士(工学)	杉 本 振一郎	計算力学・大規模並列解析
(併)教 授	理 学 修 士	竹 浪 二三正	基礎教育研究センター教授
(併)教 授	博士(水産学)	桐 原 慎 二	地域産業総合研究所教授
(併)教 授	博士(工学)	川 本 清	社会連携・研究推進監 基礎教育研究センター教授
准 教 授	博士(工学)	神 原 利 彦	知覚情報処理・知能ロボティクス 知能機械学・機械システム
准 教 授	博士(工学)	花 田 一 磨	電力工学・電力変換・電気機器 エネルギー学
准 教 授	博士(農学)	本 田 洋 之	教育・学生支援推進監 生化学 応用微生物学 発酵食品学
(併)准教授	博士(スポーツ科学)	大 室 康 平	基礎教育研究センター長補佐 基礎教育研究センター准教授
技 師		中 谷 勝 美	
技 師		上 野 浩 志	
技 手		浜 端 智 裕	
技 手		左 舘 壘	
〔工学科 情報工学系〕			
工学科長(I) 学科長補佐(I) 教 授	博士(工学)	伊 藤 智 也	メディア情報学・データベース
教 授	博士(工学)	嶋 脇 秀 隆	電子デバイス・電子機器
教 授	博士(情報工学)	藤 岡 与 周	計算機システム
教 授	博士(理学)	小久保 温	Web 技術 コンピュータ・グラフィックス
教 授	博士(工学)	小 玉 成 人	教育・学生支援推進監 学生支援センター長 計算機システム・ネットワーク 制御工学
教 授	博士(情報科学) 博士(農学)	田 村 正 文	経営情報論 地域産業論 地域経済論
(併)教 授	博士(理学)	笹 原 徹	基礎教育研究センター教授
准 教 授	博士(理学)	山 口 広 行	計算機システム・ネットワーク
講 師		本 波 洋	アイコン応用システム IoT メカトロニクス
講 師	博士(音楽学)	桶 本 まどか	音楽情報処理 音楽知覚認知
講 師	博士(情報科学)	熊 谷 駿	複素解析学 応用数学
助 教	博士(工学)	堀 合 紳 弥	交通工学 地域計画 避難計画
助 教	博士(音楽)	鈴 木 真 琴	音響学(楽器) 演奏科学

技 師		本 田 和 也	
技 師		山 日 康 之	
〔工学科 建設工学系〕			
工学科長(D) 学科長補佐(D) 教 授	博士(デザイン学)	黒 坂 貴 裕	建築史 建築構法
教 授	博士(工学)	竹 内 貴 弘	工学部長 海洋工学 水工水理学
教 授	博士(工学)	加 藤 雅 也	沿岸海洋工学
教 授	修士(工学)	小 藤 一 樹	建築意匠 建築計画
教 授	博士(工学)	阿 波 稔	学長補佐 感性デザイン学部長 基礎教育研究センター長 土木材料 維持管理工学
教 授	博士(工学)	高 瀬 慎 介	社会連携・研究推進部長 地域産業総合研究所長 計算工学 構造工学
教 授	博士(工学)	鈴 木 拓 也	土木環境システム 環境技術・環境システム
教 授	博士(工学)	迫 井 裕 樹	土木材料
(併)教 授	博士(工学)	金 子 賢 治	学長補佐 教育・学生支援部長 広報室長 地域産業総合研究所教授
(併)教 授	博士(工学)	安 部 信 行	教育・学生支援推進監 感性デザイン学科教授
准 教 授	修士(工学)	福 士 美奈子	建築設計 建築計画 クロスアポイントメント教員
准 教 授	修士(工学)	福 士 譲	建築設計 建築計画
講 師	博士(工学)	西 尾 洸 毅	建築計画 都市計画
講 師	博士(工学)	吉 浦 温 雅	建築環境工学 建築設備
講 師	博士(工学)	外 里 健 太	防災工学
技 師		高 島 幸 典	
技 師		高 橋 英 樹	

感性デザイン学部

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
感性デザイン 学 部 長	博士(工学)	阿 波 稔	理事 学長補佐 基礎教育研究センター長 工学科教授
〔感性デザイン学科〕			
学 科 長 教 授		石 毛 清 八	美術教育 工芸
教 授	博士(教育学)	岩 見 一 郎	教育学 外国語教育 第二言語習得
教 授	博士(芸術)	高 屋 喜久子	ビジュアルデザイン プロダクトデザイン
教 授	文学修士	佐 藤 手 織	認知心理学 実験系心理学
教 授	博士(文学)	高 橋 史 朗	英語・英米文学 芸術批評
教 授		川守田 礼 子	日本文学 日本文化
教 授	博士(工学)	宮 腰 直 幸	建築計画 認知科学 図学
教 授	博士(工学)	安 部 信 行	教育・学生支援推進監 福祉環境工学 ユニバーサルデザイン
(併)教 授	修士(教育学)	野々口 浩 幸	基礎教育研究センター教授
(併)教 授	修士(工学)	小 藤 一 樹	工学科教授
准 教 授	博士(美術)	皆 川 俊 平	入試専門監 広報専門監 美術 絵画 現代美術
講 師	修士(美術)	森 健太郎	造形
講 師	博士(美術)	宇 野 あずさ	美術 現代美術 インスタレーション
講 師	博士(学術)	塩 入 彬 允	スポーツ科学 コーチング学
助 教	修士(映像)	戴 周 杰	映画製作 映像アーカイブ アートマネジメント
技 師		磯 島 康 雄	

基礎教育研究センター

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
センター長	博士(工学)	阿 波 稔	理事 学長補佐 感性デザイン学部長 工学科教授
センター長補佐 (併)教 授	博士(工学)	高 橋 晋	入試部長 工学科教授
センター長補佐 (併)教 授	博士(工学)	佐々木 崇 徳	学科長補佐 (E) 工学科教授
センター長補佐 准 教 授	博士(スポーツ科学)	大 室 康 平	スポーツ科学
教 授	理 学 修 士	竹 浪 二三正	数学教育 統計学
教 授	修士(教育学)	野々口 浩 幸	学校心理学
教 授	博士(工学)	川 本 清	社会連携・研究推進監 薄膜・表面界面物性
教 授	博士(理学)	笹 原 徹	幾何学
(併)教 授		石 毛 清 八	感性デザイン学科教授
(併)教 授	博士(教育学)	岩 見 一 郎	感性デザイン学科教授
(併)教 授	博士(工学)	鶴 田 猛 彦	工学科教授
(併)教 授	文 学 修 士	佐 藤 手 織	感性デザイン学科教授
(併)教 授	博士(工学)	佐 藤 学	工学科教授
(併)教 授		川守田 礼 子	感性デザイン学科教授
(併)教 授	博士(文学)	高 橋 史 朗	感性デザイン学科教授
(併)教 授	博士(理学)	田 中 義 幸	工学科教授
(併)教 授	博士(水産学)	藤 田 敏 明	工学科教授
(併)教 授	博士(理学)	鮎 川 恵 理	工学科教授
(併)講 師	博士(学術)	塩 入 彬 允	感性デザイン学科講師

地域産業総合研究所

職 名	学 位	氏 名	兼任・専攻分野・その他
所 長 (併)教授	博士(工学)	高 瀬 慎 介	社会連携・研究推進部長 工学科教授
教 授	博士(工学)	金 子 賢 治	学長補佐 教育・学生支援部長 広報室長 地盤工学 応用力学 計算力学
教 授	博士(水産学)	桐 原 慎 二	水産科学 応用藻類学
(併)教 授	博士(工学)	嶋 脇 秀 隆	工学科教授
(併)教 授	博士(農学)	星 野 保	学科長補佐 (L) 工学科教授
(併)教 授	博士(工学)	折 田 久 幸	社会連携・研究推進監 工学科教授
(併)教 授	博士(理学)	田 中 義 幸	工学科教授
(併)教 授	博士(工学)	太 田 勝	工作技術センター長 工学科教授
(併)教 授	博士(工学)	迫 井 裕 樹	工学科教授
(併)准教授	博士(工学)	花 田 一 磨	工学科准教授
(併)准教授	博士(美術)	皆 川 俊 平	入試専門監 広報専門監 感性デザイン学科准教授
特任准教授		本 多 進 司	
アソシエイトスタッフ		菅 野 優 子	

工作技術センター

職 名	学 位	氏 名	その他
所 長	博士(工学)	太 田 勝	工学科教授
工 師		黒 滝 稔	
工 師		日 影 学	

大 学 院 工 学 研 究 科

職 名	学 位	氏 名	研究部門・その他
工 学 研究科長	工 学 博 士	船 崎 健 一	理 事 学 長
〔機械・生物化学工学専攻〕			
専攻主任 教 授	博 士 (農 学)	星 野 保	物質変換工学(工学科教授)
教 授	工 学 博 士	船 崎 健 一	移動現象工学
教 授	博 士 (工 学)	鶴 田 猛 彦	物質変換工学 基盤科目(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	鈴 木 寛	材料加工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	折 田 久 幸	化学機械工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	佐 藤 学	計測システム工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	小 林 正 樹	物質変換工学(工学科教授)
教 授	博 士 (理 学)	田 中 義 幸	物質変換工学 基盤科目(工学科教授)
教 授	博 士 (水 産 学)	藤 田 敏 明	物質変換工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	高 橋 晋	物質変換工学(工学科教授)
教 授	博 士 (理 学)	鮎 川 恵 理	物質変換工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	工 藤 祐 嗣	移動現象工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	太 田 勝	計測システム工学(工学科教授)
教 授	博 士 (工 学)	杉 本 振一郎	計測システム工学(工学科教授)
准 教 授	博 士 (農 学)	本 田 洋 之	物質変換工学(工学科准教授)

〔電子電気・情報工学専攻〕

専攻主任 教授	博士(工学)	石 山 武	電子デバイス工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	石 山 俊 彦	エネルギーシステム工学 情報システム工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	嶋 脇 秀 隆	通信メディア工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	川 本 清	電子デバイス工学 基盤科目(基礎教育研究センター教授)
教 授	博士(情報科学)	藤 岡 与 周	通信メディア工学 情報システム工学(工学科教授)
教 授	博士(理学)	小久保 温	情報システム工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	柴 田 幸 司	通信メディア工学(工学科教授)
教 授	博士(理学)	笹 原 徹	基盤科目(基礎教育研究センター教授)
教 授	博士(工学)	信 山 克 義	電子デバイス工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	小 玉 成 人	エネルギーシステム工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	伊 藤 智 也	情報システム工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	佐々木 崇 徳	電子デバイス工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	越 田 俊 介	通信メディア工学(工学科教授)
准 教 授	博士(工学)	神 原 利 彦	通信メディア工学(工学科准教授)
准 教 授	博士(理学)	山 口 広 行	通信メディア工学(工学科准教授)
准 教 授	博士(工学)	花 田 一 磨	エネルギーシステム工学(工学科准教授)

〔社会基盤工学専攻〕

専攻主任 教 授	博士(デザイン学)	黒 坂 貴 裕	構造材料学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	竹 内 貴 弘	水工・寒地工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	加 藤 雅 也	沿岸海洋工学(工学科教授)
教 授	修士(工学)	小 藤 一 樹	環境工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	阿 波 稔	構造材料工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	宮 腰 直 幸	環境工学(感性デザイン学科教授)
教 授	博士(工学)	金 子 賢 治	地盤防災工学(地域産業総合研究所教授)
教 授	博士(工学)	鈴 木 拓 也	環境工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	迫 井 裕 樹	構造材料工学(工学科教授)
教 授	博士(工学)	安 部 信 行	環境工学(感性デザイン学科教授)
教 授	博士(工学)	高 瀬 慎 介	構造材料工学(工学科教授)
准 教 授	修士(工学)	福 士 讓	構造材料工学(工学科准教授)
講 師	博士(工学)	西 尾 洸 毅	建築・都市計画工学(工学科講師)
講 師	博士(工学)	外 里 健 太	地盤防災工学(工学科講師)

非常勤講師

学 位	氏 名	所属・職名	担当科目
商 学 士	小 又 誠 一		電気電子工学概論 潤滑工学 自動車検査 電子回路工学 自動車測定検査概論 自動車法規 自動車整備実習
博士(工学)	赤 垣 友 治		機械加工学
博士(工学)	川 島 純 一	石巻専修大学 理工学部 機 械 工 学 科 教 授	自動車工学
博士(工学)	高 木 浩 一	岩手大学 理工学部 システム創成工学科 教授	高電界工学
修士(工学)	渋谷 和 生	東北電力ネットワーク(株) 設 備 計 画 部 長	電気法規と電気施設管理
博士(工学)	湧 井 真 一	日立グローバルライフソリューションズ(株) 生活家電本部 電子制御設計部 主管技師	電気電子設計製図
博士(工学)	奥 村 幸 彦	ドコモ・テクノロジー(株) 携帯事業部 通信制御技術部 部長	情報通信法規
博士(工学)	大 志 田 憲	岩手県立大学 宮古短期大学部 経 営 情 報 学 科 教 授	マルチメディア工学
工 学 修 士	佐々木 聖 明		環境化学量論 無機化学
博士(工学)	李 善 太	八戸工業高等専門学校 環境都市・建築デザインコース 准教授	環境汚染物質分析学
工 学 士	中 里 適		品質管理 キャリアデザインⅡ 職業倫理
修士(工学)	豊 川 悠	(株)八洲建築設計事務所 主 任	C A D基礎演習 インテリアデザイン
工 学 士	梶 澤 卓 馬	有限会社 檜屋木材店 代 表 取 締 役	建築設計Ⅰ
工 学 士	古 戸 睦 子	ふるとちかこ建築設計室 代 表	建築設計Ⅰ
工 学 士	松 橋 義 明	有限会社 柳計画設計 代 表 取 締 役	建築設計Ⅱ
修士(工学)	亀 田 進之助	(株)カメケンアーキテクト 代 表 取 締 役	建築設計Ⅱ
工 学 士	堀 内 将 人	(株)ホリウチアーキテクツ 代 表 取 締 役	建築設計Ⅲ

修士(工学)	川 口 實	川 口 實 建 築 研 究 所 代 表 所 長	建築設計Ⅲ
学 士	大 嶋 浩 司	(株)カトー建築設計事務所 設 計 課 所 長	建築構造設計
博士(工学)	月 永 洋 一		建築材料学 建築施工
工 学 士	石 藤 千 春	太 平 ビ ル サ ー ビ ス (株)	施工技術
修士(工学)	市 川 裕 一 朗	(有) 市 川 測 量 専 務 取 締 役	地盤工学設計・演習
博士(工学)	藤 田 弘 昭	(株)キタコン 企画管理部 執行役員 企画管理部長	橋工学設計・演習
修士(工学)	大 沢 和 雅	(株) 日 本 設 計 構造設計群 第2グループ長	鋼構造
博士(工学)	山 本 雅 昭	日 本 火 薬 工 業 会 長 技 術 部 部 長	火薬学
文教育学士	大 寫 雅 子	フ リ ー ラ ン ス 画 家	絵画Ⅰ 絵画Ⅱ
学士(感性デザイン)	米 田 佳 介	(株) ビ ー コ ー ズ W E B デ ザ イ ナ ー	W e b デザイン
芸 術 学 士	安 斉 将	フ リ ー ラ ン ス イ ラ ス ト レ ー タ ー	イラストレーションⅠ インターメディア造形演習Ⅱ
学士(文学)	星 聡 昭	クリエイティブエージェンシー・ラモン 代 表	広告デザイン
学士(教育学)	滝 尻 善 英	御 前 神 社 権 禰 宜	地域文化論 歴史
学士(芸術学)	泉 彩 菜	泉紫峰日本舞踊研究所 師 範	地域文化論
学士(経営学)	小 倉 学	八戸クリニック街かどミュージアム 館 長 、 学 芸 員	地域コミュニティ論
学士(工学)	佐々木 遊	Design と Creative アソビス アートディレクター、デザイナー	ビジュアルデザイン演習
農 学 士	富 沢 知 成	富 沢 特 許 事 務 所 弁 理 士	知的財産論
理 学 士	井 上 貫 之	自 営 業 理科教育コンサルタント	基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ 化学実験
学 士	松 野 洋 祐		基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ 化学実験 化学実験
博士(生命科学)	山 本 歩	八戸工業高等専門学校 産業システム工学科 マテリアル・バイオ工学コース 教授	生命科学

第8 教職員

理 学 士	角 弘 幸		数学基礎
工 学 士	高 橋 和 雄		工業科指導法
修士(人間科学)	國 崎 大 恩	福 井 県 立 大 学 学術教養センター 教授	教育基礎論
教 育 学 士	寺 下 之 雄		総合的な学習の時間の指導法
博士(教育学)	小 柳 亜 季	国立大学法人 岩手大学 教 育 学 部 准 教 授	教育課程論
博士(教育学)	中 村 恵 佑	横 浜 市 立 大 学 国 際 教 養 学 部 講 師	教育の制度
修士(法学)	埴 原 啓 正	八 戸 学 院 大 学 地 域 経 営 学 部 助 教	教育工学
学 士	上 澤 司	さ く ら 幼 稚 園 長	特別支援教育総論
学士(文学)	榎 内 有 希 子	ワーズアンドキャリア 代 表	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ
学士(工学)	十 文 字 孝 太	(株)デーリー東北新聞社 システム局システム開発部 次長	主題別ゼミナールⅠ 主題別ゼミナールⅡ
	掛 端 亨	かけ行政書士事務所 代 表	主題別ゼミナールⅡ
法 学 修 士	高 須 則 行	八戸学院大学 地域共創学部 地 域 共 創 学 科 教 授	日本国憲法
博士(国際コミュニケーション)	戸 田 山 み どり		文学
文 学 士	山 本 忠		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅱ
修士(文学)	横 澤 真 理 子		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ
	林 雁 青		中国語Ⅰ
文 学 士	萩 原 修 一	八戸工業大学第二高等学校 教 諭	教養英語
人 文 学 士	中 村 佐		English Reading
英語学士・歴史学士	Michael J.Morris	Michael's English School 自 営	英語会話 Global English
経 営 学 士	Matthew S.Thomas		実践英語 English Communication
応用言語学修士	Gregory Anthony	八戸学院大学 地域共創学部 地 域 共 創 学 科 教 授	英語会話

博士(工学)	許	正	憲	国立研究開発法人海洋研究開発機構 研究プラットフォーム運用部門 船舶工務部 特任上席研究員	海洋土木Ⅱ
工 学 士	澤	田	郁	郎	海洋土木Ⅱ
博士(工学)	遊	佐	訓	孝	東北大学大学院 工学研究科 量子エネルギー工学専攻 教授

第8 教職員

2. 教職員数

専任教員数		学長		副学長		教授		准教授		講師		助教		助手		計					
学部・学科名		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計			
学長・副学長		1														1		1			
工学部	工学科					33	1	5		5	1	1	1			44	3	47			
	地域産業総合研究所					2		1							3		3				
工学部 計						35	1	6		5	1	1	1			47	3	50			
感性デザイン学部	感性デザイン学科					6	2	1		2	1	1					10	3	13		
基礎教育研究センター						4		1								5		5			
合計		1				45	3	8		7	2	2	1			63	6	69			

職員数	男	女	計
事務職員	19	31	50
技術・技能職員	19		19
その他職員 ※	9	4	13
計	47	35	82

※研究員・学校医・カウンセラー等

教職員数	男	女	計
専任教員	63	6	69
クロスアポイントメント教員		1	1
非常勤教員	51	10	61
客員教員	8	1	9
職員	47	35	82
計	169	53	222

3. 教員に関するデータ

専任教員の年齢別教員数		60歳以上	50～59歳	40～49歳	30～39歳	29歳以下	計	備考
工学部	工学科	11	23	8	3	3	48	※学長含む
	地域産業総合研究所	1	1	1			3	
工学部 計		12	24	9	3	3	51	
感性デザイン学部	感性デザイン学科	4	3	2	4		13	
基礎教育研究センター		2	2	1			5	
合計		18	29	12	7	3	69	

(専任教員と非常勤教員の比率)

専任教員数	非常勤教員数	比率
69 人	62 人	52.7%

(専任教員一人あたりの学部学生数)

専任教員数	学部学生数	比率
69 人	774 人	11.2 人

第9 学 生

1 在 籍 学 生 数 (令和8年5月1日現在)

(大学院工学研究科)

() 女子内数

専攻名称	年次	博士前期課程			博士後期課程					合計
		収容 定員	1	2	小計	収容 定員	1	2	3	小計
機 械 ・ 生 物 化 学 工 学		10	2	2(1)	4(1)	6				4(1)
電 子 電 気 ・ 情 報 工 学		10	4	4(1)	8(1)	6		1		1
社 会 基 盤 工 学		10	6(4)	1	7(4)	6		1		1
計		30	12(4)	7(2)	19(6)	18		2		2

(工学部・感性デザイン学部)

() 女子内数

学部・学科		学年	収容 定員	1	2	3	4	合計
工 学 部	工 学 科 (R 4 年 度 新 設)		1,000	172 (25)	188 (23)	140 (15)	134 (10)	634 (73)
	機 械 工 学 科 (R 4 年 度 募 集 停 止)		—				1	1
	電 気 電 子 工 学 科 (R 4 年 度 募 集 停 止)		—				1	1
	シ ス テ ム 情 報 工 学 科 (R 4 年 度 募 集 停 止)		—			2	1	3
	生 命 環 境 科 学 科 (R 4 年 度 募 集 停 止)		—					
	土 木 建 築 工 学 科 (R 4 年 度 募 集 停 止)		—				2	2
	小 計		1,000	172 (25)	188 (23)	142 (15)	139 (10)	641 (73)
イ ン 感 性 デ ザ イ ン 学 部	感 性 デ ザ イ ン 学 科		200	37 (24)	35 (23)	35 (19)	26 (16)	133 (82)
	小 計		200	37 (24)	35 (23)	35 (19)	26 (16)	133 (82)
合 計			1,200	209 (49)	223 (46)	177 (34)	165 (26)	774 (155)

2 出身都道府県別学生数（令和8年5月1日現在）

（大学院工学研究科）

（ ）女子内数

年次 県別	博士前期課程			博士後期課程				合 計
	1	2	計	1	2	3	計	
青 森 県	6(2)	4(2)	10(4)		2		2	12(4)
岩 手 県	2(1)		2(1)					2(1)
秋 田 県	1	2	3					3
宮 城 県		1	1					1
山 形 県								
島 根 県	1		1					1
ミャンマー	2(1)		2(1)					2(1)
総 計	12(4)	7(2)	19(6)		2		2	21(6)

（工学部・感性デザイン学部）

（ ）女子内数

学年 県別		1	2	3	4	合計
1	北 海 道	2	4			6
2	青 森	157(43)	175(37)	134(28)	132(23)	598(131)
3	岩 手	29(4)	30(4)	23(4)	17(1)	99(13)
4	宮 城	7(1)	3(1)	3(1)	4(2)	17(5)
5	秋 田	7	6(1)	9	7	29(1)
6	山 形		2(1)	1	1	4(1)
7	福 島	1		3		4
8	茨 城	2		1	1	4
11	埼 玉		1			1
12	千 葉	1				1
13	東 京	1(1)	1(1)		1	3(2)
14	神 奈 川					
25	滋 賀			1		1
32	島 根				1	1
47	沖 縄			1(1)		1(1)
52	中 国	2	1(1)	1	1	5(1)
総 計		209(49)	223(46)	177(34)	165(26)	774(155)

3 学位授与者数

種類	専攻 年度	授 与 者 数						
		課 程 修 了				論文 審査	計	
		機械システム工学 機械・生物化学工学	電気電子工学 電子電気・情報工学	土 木 工 学 社会基盤工学	建 築 工 学		課程 修了	論文 審査
博士 (工学)	平成 11		2	1	—		3	0
	平成 12	2	2	1	—	1	5	1
	平成 13	2	1	4	—	1	7	1
	平成 14		1	1	—		2	0
	平成 15	4		2	—	2	6	2
	平成 16	2	1	1	1		5	0
	平成 17	2	1	2	2	1	7	1
	平成 18	1		1		1	2	1
	平成 19	2	2	1		1	5	1
	平成 20		2		2		4	0
	平成 21						0	0
	平成 22	2	1		1		4	0
	平成 23					1	0	1
	平成 24			1			1	0
	平成 25						0	0
	平成 26						0	0
	平成 27	1		1			2	0
	平成 28						0	0
	平成 29	1		1	—	1	2	1
	平成 30			1	—		1	0
	令和元				—		0	0
	令和2			1	—		1	0
	令和3			1			1	0
	令和4			1		1	1	1
	令和5			1			1	0
	令和6	1					1	0
	令和7		1				1	0
計		20	14	22	6	10	62	10

種類	専攻 年度	授 与 者 数				
		機械システム工学 機械・生物化学工学	電気電子工学 電子電気・情報工学	土 木 工 学 社会基盤工学	建 築 工 学	計
修士 (工学)	平成 8	5	6	4	—	15
	平成 9	5	5	6	—	16
	平成 10	9	4	5	—	18
	平成 11	12	5	9	—	26
	平成 12	9	6	10	4	29
	平成 13	16	6	7	8	37
	平成 14	12	7	10	4	33
	平成 15	14	5	7	3	29
	平成 16	16	9	11	11	47
	平成 17	7	12	5	6	30
	平成 18	7	4	9	8	28
	平成 19	11	7	8	10	36
	平成 20	3	3	1	7	14
	平成 21	17	8	1	1	27
	平成 22	5	6	6	3	20
	平成 23	7	12	5	4	28
	平成 24	7	3	1	2	13
	平成 25	2	5	3	0	10
	平成 26	7	2	0	3	12
	平成 27	3	0	3	2	8
	平成 28	0	3	0	—	3
	平成 29	0	2	0	—	2
	平成 30	2	4	2	—	8
	令和元	0	1	1	—	2
	令和2	1	—	2	—	3
	令和3	3	3	6	—	12
	令和4	—	3	1	—	4
	令和5	—	1	3	—	4
	令和6	2	3	3	—	8
	令和7	3	2	1	—	6
計		185	137	130	76	528

4 卒 業 者 数

(工学部・感性デザイン学部)

年度	学科 機械工学科・ 機械情報 技術学科	電気工学科・ 電気電子 工学科・ 電子知能 システム学科	土木工学科・ 環境建設 工 学 科	建 築 工 学 科	エネギー 工 学 科	システム 情 報 工 学 科	生 物 環 境 化学工学科・ バイオ環境・ 工学環境科 生命科学科	土木建築 工 学 科	感性デザ イン学科・ 創生デザ イン学科	工 学 科	計
昭和50	51	72									123
51	80	73									153
52	93	76									169
53	91	95									186
54	85	101	71	89							346
55	72	80	100	91							343
56	64	89	75	121							349
57	61	90	78	115							344
58	75	113	86	101							375
59	54	103	76	91							324
60	63	112	78	80	32						365
61	64	110	82	64	34						354
62	99	128	60	32	62						381
63	95	112	67	51	66						391
平成元	127	143	79	75	98						522
2	137	124	120	100	111						592
3	142	144	141	110	118						655
4	125	133	139	134	138						669
5	132	140	142	136	147						697
6	104	100	108	96	104						512
7	131	129	148	117	128						653
8	142	145	143	135	132						697
9	136	128	141	139	136						680
10	131	139	138	144	131						683
11	136	128	133	129	130						656
12	118	115	132	120	123						608
13	138	132	138	130	123						661
14	102	76	104	114	70	56					522
15	60	65	60	79	45	89					398
16	87	70	64	69	35	99					424
17	88	74	83	77		91	69				482
18	78	66	68	67		72	56				407
19	78	62	59	67		95	53				414
20	73	66	44	90		77	49		31		430
21	68	50	42	49		54	43		47		353
22	70	43	22	42		60	31		49		317
23	87	56	29	24		56	39		30		321
24	62	28	1			54	40	45	31		261
25	71	31				67	47	43	45		304
26	43	62				69	33	27	41		275
27	36	34				49	46	33	17		215
28	47	37				65	30	38	31		248
29	43	35				60	39	49	27		253
30	43	26				51	26	63	30		239
令和元	48	28				47	33	64	34		254
2	37	24				76	24	62	45		268
3	47	33				67	22	59	47		275
4	56	26				74	22	62	26		266
5	34	22				69	29	72	30		256
6	44	25				79	16	44	40		248
7	1	2				4	1	2	40	191	241
計	4,149	4,095	3,051	3,078	1,963	1,580	748	663	641	191	20,159

但し、機械工学科・機械情報技術学科欄の昭和50年度から昭和59年度までの卒業生には産業機械工学科卒業生を含む

5 令和7年度 就職状況
地 域 別（本社所在地）
（大学院工学研究科）

専 攻 \ 地 域		北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東京	その他	計
博士後期課程	機械・生物化学工学										
	電子電気・情報工学		1								1
	社会基盤工学										
	計		1								1
博士前期課程	機械・生物化学工学		1						1	1	3
	電子電気・情報工学		1						1		2
	社会基盤工学								1		1
	計		2						3	1	6

進学者等を除く

（工学部・感性デザイン学部）

学 科 \ 地 域		北海道	東北	東北地区内訳						東京	関東	その他	計
				青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島				
電気電子工学科										2			2
システム情報工学科										2			2
生命環境科学科										1			1
土木建築工学科			2	1			1						2
工 学 科	機械工学コース		15	13	2					7	4	5	31
	電気電子通信工学コース		12	5	1	4	1		1	8	3	3	26
	システム情報工学コース	1	27	16	2	8		1		20	4	8	60
	生命環境科学コース	1	3	3						1	3		8
	建築・土木工学コース		25	17	4	3			1	17	1	6	49
感性デザイン学科		1	12	9	1	1			1	16	1	7	37
計		3	96	64	10	16	2	1	3	74	16	29	218

進学者等を除く

業 種 別

(大学院工学研究科)

産業分類 専 攻		農 業 ・ 林 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 業	不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸	学 術 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	娯 楽 ・ 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉	そ の 他 サ ー ビ ス 業	国 家 公 務	地 方 公 務	そ の 他	計
博士後期課程	機械・生物化学工学																			
	電子電気・情報工学										1									1
	社 会 基 盤 工 学																			
	計										1									1
博士前期課程	機械・生物化学工学		1	2																3
	電子電気・情報工学					1								1						2
	社 会 基 盤 工 学		1																	1
	計		2	2		1								1						6

進学者等を除く

(工学部・感性デザイン学部)

産業分類 学 科		農 業 ・ 林 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 業	不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸	学 術 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	娯 楽 ・ 生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉	そ の 他 サ ー ビ ス 業	国 家 公 務	地 方 公 務	そ の 他	計
電 気 電 子 工 学 科																2				2
シ ス テ ム 情 報 工 学 科						1			1											2
生 命 環 境 科 学 科				1																1
土 木 建 築 工 学 科			2																	2
工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス		1	14	3		3	1			2			2		5				31
	電 気 電 子 通 信 工 学 コ ー ス		7	6	5	1	2				3					2				26
	シ ス テ ム 情 報 工 学 コ ー ス		3	8	3	27	1	2			11				1	2		2		60
	生 命 環 境 科 学 コ ー ス		1	2				1			3			1						8
	建 築 ・ 土 木 工 学 コ ー ス		37					2		1	3							6		49
感 性 デ ザ イ ン 学 科			5	10	1	2		8	1		3	1	2	1		2			1	37
計			56	41	12	31	6	14	2	1	25	1	2	4	1	13		8	1	218

進学者等を除く

6 令和7年度 奨学生数

日本学生支援機構

大学院・学部	給付奨学生数	貸与奨学生数		計
		第 一 種	第 二 種	
工学研究科	－	8	2	10
学 部	258	322	285	865
計	258	330	287	875

(延べ人数)

市町村・諸団体

大学院・学部	市 町 村	諸 団 体	計
工 学 研 究 科	0	0	0
学 部	3	2	5
計	3	2	5

(延べ人数)

令和7年度 八戸工業大学特待生・奨学生

(大学院工学研究科)

	S	A	B	C	計
特 待 生	－	6	5	－	11
奨 学 生	－	－	－	－	0
計	－	6	5	－	11

(工学部・感性デザイン学部)

	S	A	B	C	D	E	計
特 待 生	19	84	29	8	12	9	161
奨 学 生	－	－	17	－	－	－	17
特待内進生	10	11	22	－	－	－	43
計	29	95	68	8	12	9	221

第10 学 位 授 与

工学研究科〔博士（工学）〕

(1) 課程修了によるもの

氏 名	授与年月日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
太 田 勝	平12. 3.18	博第1号	平面磁路形パラメトリック変圧器に関する研究	電気電子工学
信 山 克 義	平12. 3.18	博第2号	高分子絶縁材料の電気的特性に及ぼす電子線照射効果に関する研究	電気電子工学
王 海 軍	平12. 3.18	博第3号	超長大橋のための鉄筋コンクリート充填鋼管構造に関する研究	土木工学
名 久 井 保	平12. 9.15	博第4号	凍結作用を受けた火山灰質粘性土の工学的特性に関する研究	土木工学
内 山 恒 久	平12.12.21	博第5号	ウォータージェットによる壊食発生機構とその応用技術に関する基礎的研究	機械システム工学
高 橋 晋	平13. 3.19	博第6号	^1H -, ^{17}O -NMRによる水の液体構造解析に関する研究	機械システム工学
上 野 毅 稔	平13. 3.19	博第7号	液晶表示素子における色彩設計と光学的評価に関する研究	電気電子工学
小 玉 成 人	平13. 3.19	博第8号	風力発電機の出力変動抑制に関する研究	電気電子工学
橋 詰 豊	平13. 9.15	博第9号	地盤の振動性状と地震応答	土木工学
家 口 心	平14. 3.20	博第10号	TiAl 金属間化合物の恒温鍛造に関する研究	機械システム工学
工 藤 雅 成	平14. 3.20	博第11号	LiBr-H ₂ O-1,4-dioxane 系吸収式熱機関用高溶解性混合媒体の開発と基本性能評価に関する研究	機械システム工学
中 野 茂	平14. 3.20	博第12号	電気流体力学ポンプのポンピング力と安定動作条件に関する研究	電気電子工学
佐々木 文夫	平14. 3.20	博第13号	港湾工事用波浪予想法の開発と工事の安全管理	土木工学
王 磊	平14. 3.20	博第14号	浄水処理におけるナノろ過特性に関する研究	土木工学
徳 橋 一 樹	平14. 3.20	博第15号	粉体系高流動コンクリートの配合設計法とその性能に関する実験的研究	土木工学
山 村 暁 宏	平15. 3.20	博第16号	色素レーザーの高出力化に関する研究	電気電子工学
川 崎 栄 久	平15. 3.20	博第17号	地盤の極限状態における平衡に関する研究	土木工学
小 嶋 高 良	平16. 3.20	博第18号	1,4-dioxane 水溶液の諸物性値への水の液体構造の影響と推算法に関する研究	機械システム工学
千 葉 克 己	平16. 3.20	博第19号	食品加工プラント用シャープンプの基本性能とキャビテーション特性に関する研究	機械システム工学
付 景 順	平16. 3.20	博第20号	自動車エンジンにおける燃焼制御の応答性改善に関する研究	機械システム工学
古 舘 仁	平16. 3.20	博第21号	液体微粒化の促進および噴霧特性制御に関する基礎的研究	機械システム工学
鈴 木 拓 也	平16. 3.20	博第22号	浄化処理におけるナノろ過の微量化学物質の除去特性	土木工学
山 道 浩 仁	平16. 3.20	博第23号	もみがら灰混合コンクリートの性質に関する基礎的研究	土木工学

氏 名	授与年月日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
馮 慶 革	平16. 9.15	博第24号	STUDY ON THE FUNDAMENTAL PROPERTIES OF RICE HUSK ASH AND ITS APPLICATION (もみがら灰の基本的性質と有効利用に関する研究)	土木工学
小 林 和 徳	平17. 3.19	博第25号	キャビテーション・ジェットの挙動・壊食特性ならびにキャビテーション効果に関する研究	機械システム工学
中 村 勇 夫	平17. 3.19	博第26号	アルミ薄膜表面の微細加工に関する研究	機械システム工学
岡 山 透	平17. 3.19	博第27号	近接場光検出システムの構築と微細構造評価技術に関する研究	電気電子工学
矢 澤 一 樹	平17. 3.19	博第28号	表層地盤特性と地震被害記録に基づく木造住宅の地震被害に関する基礎的研究	建築工学
中 村 隼 人	平17.12.15	博第29号	掘立柱建物跡から復元した中世港湾都市十三湊の都市構造に関する研究	建築工学
佐 藤 久 佳	平18. 3.18	博第30号	八戸地域における降水の安定同位体比の動態に関する研究	機械システム工学
吉 田 朋 央	平18. 3.18	博第31号	ホタテ貝殻の機能性に関する研究	機械システム工学
佐 藤 裕 哉	平18. 3.18	博第32号	液晶デバイスを用いた光学処理技術に関する研究	電気電子工学専攻
工 藤 浩	平18. 3.18	博第33号	斜張併用吊橋の構造特性および鉄筋コンクリート充填鋼管構造の適用に関する研究	土木工学
深 田 久	平18. 3.18	博第34号	軟弱地盤上の構造物に対する地盤と基礎の強化に関する研究	土木工学
安 部 信 行	平18. 3.18	博第35号	視覚障害者の歩行環境整備手法に関する研究	建築工学
島 長 義	平19. 3.20	博第36号	環境水中トリチウム濃度測定のための電解濃縮前処理に関する研究	機械システム工学
佐 藤 正 視	平19. 3.20	博第37号	岩木川河口地形変動特性に関する研究	土木工学
大 倉 広 宙	平20. 3.20	博第38号	無電解めっきで創製した銅系構造体(プレート型) 触媒に関する研究	機械システム工学
鎌 田 佳 之	平20. 3.20	博第39号	マイクロ構造化触媒反応器による水素製造に関する研究	機械システム工学
趙 文 輝	平20. 3.20	博第40号	リモートセンシングによる産廃不法投棄現場の環境解析に関する研究	電気電子工学
李 錦	平20. 3.20	博第41号	多層光学薄膜の開発と太陽電池への応用に関する研究	電気電子工学
鈴 木 拓 也	平20. 3.20	博第42号	複合構造を活用した新橋梁に関する研究	土木工学
佐々木崇徳	平21. 3.19	博第43号	衛星リモートセンシングによる未発見産業廃棄物不法投棄現場の早期発見法の開発に関する研究	電気電子工学
山 村 有 希	平21. 3.19	博第44号	ホール推進機のシース構造と性能評価に関する研究	電気電子工学
権 代 由 範	平21. 3.19	博第45号	塩化物環境下におけるコンクリートのスケーリング抵抗性とその評価手法に関する実験的研究	建築工学
村 山 明	平21. 3.19	博第46号	木造建物の耐震性能の力学的評価に関する研究	建築工学
小 笠 原 慎	平23. 3.19	博第47号	超高速回転体の微粒化特性に関する研究	機械システム工学
張 揚	平23. 3.19	博第48号	自動車エンジンのロバスト制御に関する研究	機械システム工学
吉 田 雅 昭	平23. 3.19	博第49号	Mathieu方程式に基づく平面磁路形パラメトリック変圧器の動作特性と発振安定性に関する研究	電気電子工学

氏 名	授与年月日	番 号	学 位 論 文 名	専 攻 名
鳥 山 香 織	平23. 3.19	博第50号	積雪地域における公営住宅の共用空間に関する研究 －生活拠点としての集会施設を中心として－	建 築 工 学
阿 里 甫 江	平25. 3.19	博第51号	鉄筋コンクリート充填鋼管構造の力学的特性に関する解析的および実験的研究	土 木 工 学
畑 野 智 信	平28. 3.18	博第52号	渋柿ゲルおよび微生物による水溶液からのクロム除去と回収システムに関する研究	機 械 ・ 生 物 化 学 工 学 専 攻
虻 川 高 宏	平28. 3.18	博第53号	橋梁の津波対策に関する研究	社 会 基 盤 工 学 専 攻
馬 東 建	平30. 3.20	博第54号	菊花成分の中枢神経細胞保護作用に関する食用菊栽培品種の比較による研究	機 械 ・ 生 物 化 学 工 学 専 攻
刘 耘	平30. 3.20	博第55号	On Modal Choice and Transportation Facilities Development in Cities	社 会 基 盤 工 学 専 攻
切 刀 智	平31. 3.20	博第56号	感潮水域における塩水遡上に関する研究	社 会 基 盤 工 学 専 攻
張 萌	令 3. 3.19	博第57号	Improvement of Durability for Concrete Bridges in Cold Climate	社 会 基 盤 工 学 専 攻
邴 艳 华	令 4. 3.18	博第58号	Service Life Prediction and Economic Evaluation of Concrete Treated by a Compound Penetrate in Marine and Severe Cold Environment	社 会 基 盤 工 学 専 攻
祐 川 真 也	令 5. 3.20	博第59号	寒冷地小規模橋梁における代替工法としての大型プレキャストボックスカルバートに関する研究	社 会 基 盤 工 学 専 攻
堀 合 紳 弥	令 6. 3.19	博第60号	積雪寒冷地における人口変動と車両避難を考慮した津波犠牲率の低減に関する研究	社 会 基 盤 工 学 専 攻
川 口 恵 未	令 7. 3.19	博第61号	糖尿病及びその合併症における Connarus rubber の機能性評価	機 械 ・ 生 物 化 学 工 学 専 攻
赤 松 笙 太	令 8. 3.19	博第62号	大気 PIXE に基づいた変位センサと 5 軸ステージによる試料表面の自在位置での元素分析法の開発	電 子 電 気 ・ 情 報 工 学 専 攻

(2) 論文提出によるもの

氏 名	授与年月日	番 号	学 位 論 文 名
神 藤 健 一	平12.12.21	第 1 号	山岳工事における地盤評価方法とその施工への適用
新 井 齊	平14. 3.20	第 2 号	廃棄物最終処分場におけるジオメンブレン遮水構造の品質管理手法に関する研究
萱 場 智 雄	平15. 6.30	第 3 号	ダイヤモンド薄膜形成過程における核発生の分子動力学解析
田 中 正 美	平15.12.22	第 4 号	住宅地環境関連制度による新規開発戸建住宅地の接道部緑化効果に関する研究
北 沢 淳 史	平17. 6.23	第 5 号	長大山地トンネルの施工技術の高度化に関する研究
木 内 勝 司	平19. 3.20	第 6 号	自然再生に配慮した河道形成技術の研究
服 部 修 一	平20. 3.20	第 7 号	鉱山地域を通過するトンネルにおける鉱化ずりの特性と分別判定方法に関する研究
庭 瀬 一 仁	平23.12.16	第 8 号	低レベル放射性廃棄物処分施設におけるセメント系材料の設計と施工に関する基礎的研究
細 川 吉 晴	平29. 7. 3	第 9 号	生火山灰を活用した保水性インターロッキングブロックの開発とその温度上昇抑制機能に関する研究
藤 居 達 郎	令 4.12.12	第 10 号	水－臭化リチウム系を作動媒体とした低温駆動・低温発生型吸収冷凍機の研究

第11 委員会委員等一覧

1 学内委員会（＊印は併任教員）

令和8年5月7日現在

委 員 会 名	委 員 長	学長補佐	工学科					感性デザイン	基礎教育研究C	法人事務局、総務部、教育・学生支援部、入試部、図書館、社会連携・研究推進部、地域産業総合研究所、工作技術センター、広報室					
	副委員長		M	E	I	L	D	K	G						
教 育 研 究 予 算 委 員 会	船崎 健一	金子 賢治 阿波 稔	竹内 貴弘	石山 武	伊藤 智也	黒坂 貴裕		石毛 清八		高瀬 慎介 高橋 晋 太田 勝					
教 務 委 員 会	金子 賢治		杉本振一郎	佐々木崇徳	小玉 成人	中谷 勝美	鈴木 拓也	安部 信行	笹原 徹	吉田 忠一 山之内栄美子 大沼 泰子 久保 博幸					
学 生 委 員 会	金子 賢治		太田 勝	花田 一磨	山口 広行	星野 保	西尾 洸毅	高橋 史朗	大室 康平	本田 洋之 蛭名恵利子 茨島 涼					
就 職 委 員 会	金子 賢治		浅川 拓克	佐々木崇徳	藤岡 与周	鮎川 恵理	小藤 一樹	戴 周杰	岩見 一郎	小玉 成人 安部 信行 蛭名恵利子 夏坂 光男 三上 実穂					
教 育 改 革 委 員 会	船崎 健一	金子 賢治 阿波 稔	折田 久幸	石山 俊彦	嶋脇 秀隆	小林 正樹	吉浦 温雅	宮腰 直幸	佐々木崇徳	小玉 成人	蛭名恵利子	濱田 信吾	城前さゆり		
教 育 改 革 専 門 委 員 会	金子 賢治		竹内 貴弘	石山 武	伊藤 智也	黒坂 貴裕		石毛 清八		高瀬 慎介	高橋 晋	太田 勝	吉田 忠一		
			太田 勝	花田 一磨	山口 広行	星野 保	西尾 洸毅	高橋 史朗	佐々木崇徳 大室 康平	小玉 成人	本田 洋之	蛭名恵利子	茨島 涼		
教 職 課 程 委 員 会	阿波 稔	金子 賢治	太田 勝	花田 一磨	山口 広行	星野 保	西尾 洸毅	高橋 史朗	竹浪二三正	本田 洋之	蛭名恵利子	五十嵐七果			
入 学 試 験 委 員 会	船崎 健一	金子 賢治	竹内 貴弘 石山 武 伊藤 智也 黒坂 貴裕					石毛 清八		吉田 忠一	本間 貴士				
大学入学共通テスト実施委員会	高橋 晋	金子 阿波 稔													
募 集 広 報 専 門 委 員 会	金子 賢治		高橋 晋	浅川 拓克	皆川 俊平	伊藤 智也	桶本まどか	田村 正文	石山 武	杉本振一郎	田中 義幸	黒坂 貴裕	森 健太郎	佐々木綾子	黒滝 泰世
入 学 者 選 抜 専 門 委 員 会	高橋 晋		小玉 成人	山之内栄美子	長根 大	鈴木 寛	浅川 拓克	皆川 俊平							
社 会 連 携 学 術 推 進 委 員 会	船崎 健一	金子 賢治 阿波 稔	竹内 貴弘	石山 武	伊藤 智也	黒坂 貴裕		石毛 清八		高瀬 慎介	高橋 晋	太田 勝	吉田 忠一		
自 己 点 検 ・ 評 価 運 営 委 員 会	船崎 健一	金子 賢治 阿波 稔	竹内 貴弘	石山 武	伊藤 智也	黒坂 貴裕	星野 保	石毛 清八		高瀬 慎介	高橋 晋	太田 勝	吉田 忠一		
自 己 点 検 ・ 評 価 専 門 委 員 会	高瀬 慎介		鈴木 寛	柴田 幸司	小久保 温	小林 正樹	鈴木 拓也	安部 信行	佐藤 手織	古川純也	西村恵	山之内栄美子	竹本成喜	齊藤克治	木村孝太
研究推進・倫理専門委員会	高瀬 慎介		川本 清	嶋脇 秀隆	安部 信行	西尾 洸毅	古川 純也	西村 恵							
産学官連携推進専門委員会	高瀬 慎介		折田 久幸	田中 義幸	福士 譲	本多 進司	古川 純也	菅野 優子							
知的財産専門委員会	高瀬 慎介		折田 久幸	迫井 裕樹	熊谷 駿	越田 俊介	古川 純也								
情 報 メ デ ィ ア 委 員 会	竹内 貴弘		鈴木 寛	神原 利彦	熊谷 駿	藤田 敏明	加藤 雅也	塩入 彬允	※塩入 彬允	谷津 昌樹					
工作技術センター運営委員会	太田 勝		工藤 祐嗣	川本 清	本波 洋	高橋 晋	黒坂 貴裕	高屋喜久子							
環 境 保 全 委 員 会	竹内 貴弘	金子 賢治 阿波 稔	星野 保	岩見 一郎	吉田 忠一	竹本 成喜									
遺伝子組換え実験等安全委員会	竹内 貴弘		星野 保	藤田 敏明	本田 洋之	吉田 忠一	竹本 成喜								
I R 委 員 会	高瀬 慎介		鈴木 寛	川本 清	本間 貴士	奥 正克	茨島 涼	長根 大		齊藤 克治	五十嵐七果				
S D 委 員 会	船崎 健一		吉田 忠一	川守田礼子	越田 俊介	齊藤 克治	佐々木綾子	城前さゆり	清川 義則	風張 洋佑	梅津有輝子	大山 和弘			

大 学 院 学 務 委 員 会	金子 賢治	M専攻: 杉本振一郎, E専攻: 信山 克義, D専攻: 高瀬 慎介									小玉 成人	本田 洋之	蛭名恵利子	赤坂友貴奈
大学院教育研究予算委員会	船崎 健一	金子 賢治 (専攻主任)	阿波 稔	星野 保	石山 武	黒坂 貴裕	(学務委員)	杉本振一郎	信山 克義	高瀬 慎介	吉田 忠一	山之内栄美子	大沼 泰子	久保 博幸

2 修学支援担任（※は併任教員）

		工学科					感性デザイン学科
第1学年	担 任	佐藤 学	花田 一磨	伊藤 智也	田中 義幸	福士 譲	宮腰 直幸
	副担任			堀合 紳弥		迫井 裕樹	森 健太郎
第2学年	担 任	杉本振一郎	神原 利彦	小玉 成人	本田 洋之	外里 健太	皆川 俊平
	副担任			熊谷 駿		小藤 一樹	戴 周杰
第3学年	担 任	工藤 祐嗣	※川本 清	越田 俊介	鮎川 恵理	西尾 洸毅	安部 信行
	副担任			田村 正文		加藤 雅也	塩入 彬允
第4学年	担 任	折田 久幸	石山 俊彦	桶本まどか	小林 正樹	鈴木 拓也	宇野あずさ
	副担任		石山 武	嶋脇 秀隆		吉浦 温雅	高橋 史朗

3 学友会担当

浅川 拓克	越田 俊介	鈴木 真琴	星野 保	小藤 一樹	森 健太郎	桂山清美	大沼泰子	豊川瑠菜
-------	-------	-------	------	-------	-------	------	------	------

4 学生支援センター

小玉 成人	藤田 明子	嵯峨 怜	渡邊 一弥	宮腰 直幸	塩入 彬允	川守田礼子	三上 実穂
	五十嵐七果	室谷ゆかり					

5 国際交流・留学生支援センター

浅川 拓克	金子 賢治	岩見 一郎	高橋 史朗	迫井 裕樹	戴 周杰	桂山 清美	佐京紗也加
安部 信行	城前さゆり	茨島 涼	黒滝 泰世	蛭名恵利子	木村 孝太	古川 純也	

6 サテライトキャンパス

番町サテライトキャンパス	高瀬 慎介	川本 清	宇野あずさ	大室 康平	古川 純也	関 秀廣
北上サテライトオフィス	高瀬 慎介	金子 賢治	高橋 晋	古川 純也	佐藤 利雄	本多 進司

7 STEAM 女子推進・支援室

STEAM 女子推進・支援室	(室長)	船崎 健一	(顧問)	竹内 貴弘	星野 保
女子学生支援担当	(L: リーダー)	L: 佐々木崇徳	佐々木綾子	山田 真耶	佐京紗也香
初等・中等教育支援担当	(L: リーダー)	L: 鮎川 恵理	高屋喜久子	桶本まどか	赤坂友貴奈

8 学外委員会等
令和7年度

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
学 長	船 崎 健 一	青森県原子力政策懇話会委員	青 森 県
		青森県 ITER 計画推進会議 理事	青 森 県 I T E R 計 画 推 進 会 議
		青の煌めきあおもり国スポ・障スポ実行委員会委員	青 森 県
		青の煌めきあおもり国スポ・障スポ八戸市実行委員会委員	八 戸 市
		青の煌めきあおもり国スポ階上実行委員会委員	階 上 町
		青森県留学生交流推進協議会構成員・副会長	青 森 県 留 学 生 交 流 推 進 協 議 会
		八戸商工会議所 参与	八 戸 商 工 会 議 所
		八戸国際交流協会 理事	八 戸 国 際 交 流 協 会
		八戸市企業誘致促進協議会委員	八 戸 市 企 業 誘 致 促 進 協 議 会
		『マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ（シニア）』 顧問	八 戸 市 水 産 科 学 館 マ リ エ ン ト
		一般財団法人青森県工業技術教育振興会理事長	（ 一 財 ） 青 森 県 工 業 技 術 教 育 振 興 会
		一般社団法人青森県情報サービス産業協会理事	（ 一 財 ） 青 森 県 サ ー ビ ス 産 業 協 会
		公益財団法人 21 あおもり産業総合支援センター 評議員	（公財）21あおもり産 業 総 合 支 援 セ ン タ ー
		公益財団法人八戸市総合健診センター評議員 選定委員会委員	（ 公 財 ） 八 戸 市 総 合 健 診 セ ン タ ー
		公益財団法人八戸地域高度技術振興センター 評議員	（公財）八戸地域高 度 技 術 振 興 セ ン タ ー
		公益財団法人みちのく・ふるさと貢献基金 理事	（公財）みちのく・ ふ る さ と 貢 献 基 金
		公益財団法人吉原育英会 理事	（公財）吉原育英会
		公益財団法人吉原育英会 奨学生候補者助成 校候補選考委員	（公財）吉原育英会
		地方独立行政法人青森県産業技術センター八 戸工業研究所 顧問	（ 地 独 ） 青 森 県 産 業 技 術 セ ン タ ー 八 戸 工 業 研 究 所
		独立行政法人労働者健康福祉機構青森労災病 院 倫理審査委員会及び治験審査委員	（独）労働者健康福 祉 機 構 青 森 労 災 病 院
学長補佐	金 子 賢 治	第 14 回日本ジオパーク全国大会実行委員	第14回日本ジオパーク 全 国 大 会 下 北 大 会 実 行 委 員 会
		スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	宮 城 県
		東北地方整備局道路ドクター	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		水産土木工事総合評価審査員	青 森 県
		八戸市防災会議委員	八 戸 市
		八戸圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会	八 戸 市
		八戸市国民保護協議会委員	八 戸 市
		八戸市都市検討会 第 15 弾プロジェクトに係る プロジェクトメンバー	八 戸 市 都 市 検 討 会 事 務 局 八 戸 学 院 地 域 連 携 研 究 セ ン タ ー
		青森県建設技術センター顧問	（ 公 財 ） 青 森 県 建 設 技 術 セ ン タ ー
		青森地域技術懇談会委員	東 日 本 高 速 道 路 (株)

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
学長補佐	阿 波 稔	東北地方整備局道路ドクター	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議委員	青 森 県
		青森県原子力政策懇話会委員	青 森 県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		公益社団法人日本コンクリート工学会 理事	(公 社) 日 本 コ ン ク リ ー ト 工 学 会
		公益社団法人日本コンクリート工学会 東北支部長	(公 社) 日 本 コ ン ク リ ー ト 工 学 会
		青森地域技術懇談会委員	東 日 本 高 速 道 路 (株)
		資格認定委員 (橋梁技術集会)	(公 財) 青 森 県 建 設 技 術 セ ン タ ー
		技能検定員適任者	青 森 県 職 業 能 力 会 開 発 協 会
		青森県生コンクリート品質管理監査会議委員	青 森 県 生 コ ン ク リ ー ト 工 業 組 合
		構造物補修検討会委員	(株) ネ ク ス コ ・ エ ン ジ ニ ア リ ン グ 東 北
教 授	太 田 勝	学校評議員	青 森 県 立 校 八 戸 工 業 高 等 学 校
教 授	大 黒 正 敏	AX 企業成長推進補助事業審査委員会委員	(公財) 21あおもり 産 業 総 合 支 援 セ ン タ ー
		GX 革新的技術等創出補助事業審査委員会委員	(公財) 21あおもり 産 業 総 合 支 援 セ ン タ ー
		令和7年度青森県戦略的ものづくり先進技術事業化支援事業補助金審査委員会委員	(公財) 21あおもり 産 業 総 合 支 援 セ ン タ ー
		学校運営委員会委員	青 森 県 立 十 和 田 校 工 業 高 等 学 校
		いじめ防止委員会委員	青 森 県 立 十 和 田 校 工 業 高 等 学 校
教 授	鈴 木 寛	八戸市卓越技能者選考委員会委員 令和7年度あおもりマイスター認定審査会委員	八 戸 市 青 森 県
教 授	折 田 久 幸	青森県地球温暖化対策推進協議会委員	青 森 県
教 授	佐 藤 学	理事	東北放射線科学センター
		「PA モニタリング委員会」委員	(公 財) 日 本 分 析 セ ン タ ー
		一般社団法人日本溶接協会東北地区溶接技術検定員会 幹事・評価員	一 般 社 団 法 人 会 日 本 溶 接 協 会
		青森県地方独立行政法人評価委員会専門委員 (試験研究関係)	青 森 県
		青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議委員	青 森 県
教 授	工 藤 祐 嗣	「特殊消防用設備等性能評価委員会」委員	日 本 消 防 検 定 協 会
		「特定初期拡大抑制機器評価委員会」委員	日 本 消 防 検 定 協 会
		消防用機械器具等規格研究委員会委員	日 本 消 防 検 定 協 会
		青森市廃棄物処理施設に係る専門家	青 森 市
		「放水器具規格研究専門部門」部会員	日 本 消 防 検 定 協 会
		「動力消防ポンプ等規格研究専門会」部会員	日 本 消 防 検 定 協 会
		「消火設備規格研究専門部会」部会員	日 本 消 防 検 定 協 会
		日本消防検定協会理事 (非常勤)	日 本 消 防 検 定 協 会

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
教 授	石 山 武	技術開発審査委員会委員	(公財) 八戸地域高度技術振興センター
		自己制御形ヒーティングケーブル JIS 原案作成委員会委員長 / 準備委員会委員長	(一財) 日本規格協会
		高度技術利用研究会員正委員	(公財) 八戸地域高度技術振興センター
教 授	石 山 俊彦	電子情報通信学会電子通信エネルギー技術研究専門委員会委員	(一社) 電子情報通信学会 電子通信エネルギー技術研究専門員会
		IEICE Electronics Express(ELEX) 編集委員会委員	(一社) 電子情報通信学会
		IEICE Communications Express (ComEX) 編集委員会委員	(一社) 電子情報通信学会
		2024 ELEX Best Paper Award 選定委員	(一社) 電子情報通信学会
教 授	信 山 克義	青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議委員	青 森 県
		農山漁村再生可能エネルギー法に基づく協議会委員	む つ 市
		高度技術利用研究会員副委員	(公財) 八戸地域高度技術振興センター
		技術者教育プログラム認定審査副審査員	(一社) 日本技術者教育認定機構
教 授	佐々木崇徳	地方独立行政法人青森県産業技術センター研究諮問委員会委員	(地独) 青森県産業技術センター
		日本教育新聞社 エネルギー Ciub 編集委員	(株) 日本教育新聞社
		応用物理学会東北支部企画運営委員	応用物理学会東北支部
准教授	花 田 一 磨	青森・岩手県境不法投棄に係る風評被害認定委員会委員	青 森 県
教 授	嶋 脇 秀 隆	光量子工学研究センター 客員研究員	国立研究開発法人 理 化 学 研 究 所
教 授	小久保 温	青森県警察サイバーセキュリティ対策テクニカルアドバイザー	青 森 県 警 察 本 部
		全国選抜小学生プログラミング大会青森大会審査員	東 奥 日 報 社
教 授	小 玉 成 人	青森県環境影響評価審査会委員	青 森 県
		野辺地町再生可能エネルギー推進協議会委員	野 辺 地 町
		青森市環境審議会委員	青 森 市
		八戸工業大学第二高等学校学校関係者評価委員	八 戸 工 業 大 学 第 二 高 等 学 校
講 師	本 波 洋	科学教育振興助成活動指導委員	山 脇 学 園 校 中 学 校・高 等 学 校
		スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員	山 脇 学 園 校 中 学 校・高 等 学 校
		山脇学園 SSH 運営指導委員会委員	山 脇 学 園 校 中 学 校・高 等 学 校
		社外学術委員	(一財) ジャパンエ デュメーカーズラボ
教 授	星 野 保	バイオセーフティ委員会委員	(国研) 産業技術 総 合 研 究 所
		情報・システム研究機構 国立極地研究所客員教員	情報・システム研究 機 構 国 立 極 地 研 究 所

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
教 授	星 野 保	情報・システム研究機構 国立極地研究所特別共同研究委員	情報・システム研究機構 国立極地研究所
		情報・システム研究機構 国立極地研究所運営会議共同利用審議委員会特別共同分科委員会委員	情報・システム研究機構 国立極地研究所
		昇格人事審査委員	慶 応 義 塾 大 学 経 済 学 部
		理事	日 本 菌 学 会
		静岡フォーレ実行委員	日 本 菌 学 会
教 授	小 林 正 樹	青森県リサイクル製品認定審査会委員	青 森 県
		化学工学会東北支部青森化学工学懇話会会長	(公 社) 化 学 工 学 会 東 北 支 部
		化学工学会東北支部代議員	(公 社) 化 学 工 学 会
教 授	田 中 義 幸	環境省「令和7年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業（アマモ場・藻場調査）調査委員	特 定 非 営 利 活 動 法 人 日 本 国 際 湿 地 保 全 連 合
		青森県海岸漂着物対策推進協議会 会長	青 森 県
		再生可能エネルギー検討会議委員	八 戸 市
		変動海洋エコシステム高等研究所 連携研究員	東 北 大 学 ・ 海 洋 研 究 開 発 機 構 変 動 海 洋 エ コ シ ス テ ム 高 等 研 究 所
		科学技術専門家ネットワーク 専門調査員	文 部 科 学 省 科 学 技 術 ・ 学 術 政 策 研 究 所
教 授	鮎 川 恵 理	青森県土地利用審査会委員	青 森 県
		八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議委員	八 戸 市
		八戸緑の審議会委員	八 戸 市
		天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地保存活用計画検討会議委員	八 戸 教 育 委 員 会
		日本蘚苔類学会会長	日 本 蘚 苔 類 学 会
		日本蘚苔類学会庶務幹事	日 本 蘚 苔 類 学 会
		環境省「有識者マッチング制度」の委員（有識者）	環 境 省
		令和7年度理系女子のためのコンソーシアム委員	青森県立青森高等学校
		令和7年度県立青森高等学校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員	青 森 県 教 育 委 員 会
教 授	竹 内 貴 弘	宮城県環境影響評価審査会委員	宮 城 県
		希少野生動植物保護推進員	環 境 省
		河川水辺の国勢調査アドバイザー	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		八戸圏域水道企業団入札監視委員会委員	八 戸 圏 域 水 道 企 業 団
		馬淵川河川整備委員会	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		青森県建設技術センター顧問	(公 財) 青 森 県 建 設 技 術 セ ン タ ー
		「東北ブロックにおける社会資本整備重点計画に関する有識者懇談会」委員	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		「青森ブロック総合評価委員会」委員	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		土木研究所外部評価委員会委員	国 立 研 究 法 人 土 木 研 究 所
		岩手県政策評価委員会	岩 手 県

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
教 授	竹 内 貴 弘	土木学会東北支部技術開発研究奨励賞選考委員会	土 木 学 会 東 北 支 部
教 授	黒 坂 貴 裕	岩手県公会堂保存活用に関する協議会に係る構成員	岩 手 県
		重要文化財櫛引八幡宮本殿ほか4棟保存修理専門委員会委員	宗教法人櫛引八幡宮
		若狭町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員	若 狭 町
		重要文化財千葉家住宅保存活用委員会委員	遠 野 市
		横手市伝統的建造物群保存審議会委員	横 手 市
教 授	加 藤 雅 也	東北地方整備局事業評価監視委員会委員	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		青森県沿岸高潮浸水想定検討会委員	青 森 県
		八戸港港湾脱炭素化推進協議会委員	青 森 県
		公益社団法人土木学会東北支部 商議員	(公 社) 土 木 学 会 東 北 支 部
		気候変動を踏まえた青森県沿岸海岸保全施設技術検討会委員	青 森 県
教 授	小 藤 一 樹	青森県地方港湾審議会委員	青 森 県
		「あおりリビングスタイル推進委員会」構成員	(一財) 住 宅 ・ 建 築 SDG s 推 進 セ ン タ ー
		青森県環境審議会委員	青 森 県
		青森県建設工事入札監視委員会委員	青 森 県
		青森県土地収用事業認定審議会委員	青 森 県
		八戸市建築審査会委員	八 戸 市
		七戸町役場新庁舎建設基本設計・実施設計業務委託ほか1件に係る公募型プロポーザル審査委員	七 戸 町
		統合新病院新築基本設計プロポーザル審査委員	青 森 県 病 院 事 業 管 理 者
		八戸市総合計画策定委員会委員	八 戸 市
		八戸市都市計画審議会委員	八 戸 市
		青森県建築士会顧問	(一社) 青森県建築士会
		青森県建築審査会委員	青 森 県
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		八戸市開発審査会委員	八 戸 市
教 授	高 瀬 慎 介	「青森ブロック総合評価委員会」委員	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
		青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		青森県公共事業再評価等審議委員会及び青森県公共評価システム検討委員会委員	青 森 県
		青森県総合計画審議会委員	青 森 県
		青森地域技術懇談会委員	青 森 県
		水産土木工事総合評価審査員	東 日 本 高 速 道 路 (株)
		高瀬川河川整備委員委員	青 森 県
		非常勤研究員	国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局
教 授	鈴 木 拓 也	青森県公共事業再評価等審議委員会及び青森県公共評価システム検討委員会委員	(一財) 建 設 工 学 会 研 究 振 興 会
教 授	鈴 木 拓 也	青森県公共事業再評価等審議委員会及び青森県公共評価システム検討委員会委員	青 森 県

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
教 授	鈴木 拓也	青森県循環型社会形成推進委員会委員	青 森 県
		青森市横内川水道水源保護審査会委員	青 森 市
		再生可能エネルギー検討会議	八 戸 市
		階上町下水道審議会委員	階 上 町
		浄水分野における新たな維持管理技術及び運営手法に関する研究に係る第2研究員会委員長	(公財) 水道技術 研 究 セ ン タ ー
		青森市横内川水道水源保護審議会委員	青 森 市
		八戸圏域水道企業団経営審議会委員	八戸圏域水道企業団
		八戸市環境審議会委員	八 戸 市
教 授	迫井 裕樹	八戸市廃棄物処理施設に係る専門家 公害防止に関する技術アドバイザー	八 戸 市 八 戸 市
		構造物補修等に関する勉強会委員	(株)ネクスコ・エン ジニアリング東北
		青森県リサイクル製品認定審査会委員	青 森 県
准教授	福士 譲	松原地区のまちづくり有識者会議委員	青 森 市
		あおり産木材活用建築コンテスト審査委員長	青 森 県
		階上町社会教育複合施設整備推進委員会委員	階上町教育委員会
		青森県建築士審査会委員	青 森 県
講 師	西尾 洸毅	青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札 審査員	青 森 県
		青森県土地利用審査会委員	青 森 県
		八戸空家等対策会議委員	八 戸 市
		八戸市開発審査会委員	八 戸 市
		八戸市建設部指定管理者選定委員会委員	八 戸 市
		八戸市旅館等建築審議会委員	八 戸 市
		青森県国土利用計画審議会委員	青 森 県
講 師	外里 健太	非常勤研究員	(一財) 建設工学会 研 究 振 興 会
講 師	吉浦 温雅	「あおりリビングスタイル推進委員会」構成員	(一財) 住宅・建築 SDGs 推進センター
教 授	高屋喜久子	評議員	(公財) こころ すこやか財団
		八戸市美術館運営協議会副会長	八 戸 市
		「2025 子どもの『科学の夢』絵画展」選考委員	(一社) 青森県 発 明 協 会
教 授	佐藤 手織	八戸市いじめ問題専門委員会委員	八戸市教育委員会
		一般社団法人全国私立大学教職課程協会 2024・2025 年度担当役員	(一社) 全国私立 大学教職課程協会
教 授	高橋 史朗	青森県消費者生活審議会委員	青 森 県
		青森県消費者教育推進地域協議会委員	青 森 県
		八戸市多文化共生推進審議会委員	八 戸 市
教 授	川守田礼子	はちのへ文化のまちづくりアドバイザー ボード委員	八 戸 市
		八戸市社会教育委員	八戸市教育委員会
		八戸市文化教養センター南部会館 事業協力 アドバイザー	(株)デリー 東 北 新 聞 社
		青森県立郷土館整備検討会議委員	青森県教育委員会
		八戸テレビ放送番組審議会委員	(株)八戸テレビ放送
教 授	宮腰 直幸	青森県景観アドバイザー	青 森 県
		青森県景観形成審議会委員	青 森 県

職 名	氏 名	委 員 等 名	依 頼 先
教 授	宮 腰 直 幸	青森県県土整備部建設工事総合評価競争入札審査員	青 森 県
		八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会委員	八 戸 市
		八戸市プロポーザル等審査委員会委員	八 戸 市
		下北ジオパーク推進協議会	む つ 市
		八戸市津波避難施設の整備等に関する基本方針の策定に係る有識者意見聴取会委員	八 戸 市
		八戸市総合計画等推進市民委員会委員	八 戸 市
		「八戸市景観審議会」委員	八 戸 市
		青森県大規模小売店舗立地審議会委員	青 森 県
		八戸市 PFI 事業等事業者選定委員会	八 戸 市
教 授	安 部 信 行	バリアフリープロモーター	国 土 交 通 省 東 北 運 輸 局
		八戸市男女共同参画審議会委員	八 戸 市
		八戸市旅館等建築審議会委員	八 戸 市
		八戸市指定管理者選定委員会（都市整備部）委員	八 戸 市
		公害防止に関する技術アドバイザー	八 戸 市
		八戸市廃棄物処理施設に係る専門家	八 戸 市
		八戸市文化教養センター南部会館 事業協力アドバイザー	(株) デ ー リ ー 東 北 新 聞 社
		三沢市移動等円滑化促進協議会の委員	三 沢 市
		八戸市行政改革委員会委員	八 戸 市
准教授	東 方 悠 平	はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード委員	八 戸 市
講 師	宇 野 あ ず さ	八戸市文化教養センター南部会館 事業協力アドバイザー	(株) デ ー リ ー 東 北 新 聞 社
助 教	戴 周 杰	令和7年度八戸三社大祭山車審査員	八 戸 三 社 大 祭 会 運 営 委 員 会
教 授	川 本 清	日本物理教育学会東北支部青森地区理事	日 本 物 理 教 育 学 会 東 北 支 部
		青森県環境審議会委員	青 森 県
		応用物理学会東北支部幹事	応 用 物 理 学 会 東 北 支 部
		「青少年のための科学の祭典 2025」八戸大会実行委員会実行委員長	八 戸 市 教 育 委 員 会
准教授	大 室 康 平	青森県スポーツ推進審議会の委員	青 森 県 教 育 委 員 会
		「青少年のための科学の祭典 2025」八戸大会実行委員会監事	八 戸 市 教 育 委 員 会
教 授	桐 原 慎 二	「漁業者との意見交換会」専門的知見に基づく指導・助言	国 際 航 業 (株)
		「青森県沖日本海（南側）における協議会」委員	(公財) 日本港湾協会
工 師	黒 滝 稔	技能検定委員	青 森 県 職 業 能 力 会 開 発 協 会
工 師	日 影 学	技能検定委員	青 森 県 職 業 能 力 会 開 発 協 会

第12 研究業績

1 科学研究費交付一覧（令和8年度採択＋令和5～7年度採択・継続）（間接経費含む）

令和8年度科学研究費（新規採択）

若手研究（令和8年度 間接経費含む）

講師 熊谷 駿	クライン幾何における自己アフィン性とそれに基づく美的形状研究の持続的展開	1,040 千円
------------	--------------------------------------	----------

令和8年度科学研究費（継続）

若手研究（令和7年度採択 間接経費含む）

講師 西尾 洸 毅	地方都市圏における住宅取得に着目した住替動向に関する研究	1,300 千円
--------------	------------------------------	----------

基盤研究(B)（令和6年度採択 間接経費含む）

教授 小林 正 樹	大規模 CO ₂ 排出源に実装し炭素循環を確立するマイクロ波励起メタン化システムの創製	2,600 千円
--------------	--	----------

基盤研究(C)（令和6年度採択 間接経費含む）

教授 安部 信 行	デジタルトランスフォーメーション（DX）による視覚障害者の歩行支援に関する研究	1,040 千円
教授 竹内 貴 弘	海水減少に伴う結氷海域の洋上風力発電設備の長寿命化に向けた新しい設計法の構築	1,430 千円
教授 佐藤 学	マクロの視点とミクロの視点－微量添加元素が及ぼす酸化皮膜形成過程への影響	1,430 千円
教授 杉本 振一郎	大規模並列のための電磁界解析向け階層型領域分割法の収束性改善	1,300 千円

若手研究（令和6年度採択 間接経費含む）

講師 外里 健 太	物理ベースの数値解析と観測の融合による広域豪雨災害リアルタイム予測の高精度化	1,040 千円
--------------	--	----------

令和8年度科学研究費（分担）（新規採択）

基盤研究(A)（令和8年度新規採択 間接経費含む）

教授 高瀬 慎 介	不飽和地盤の代理均質化モデルによるマルチスケール変形・流動シミュレーション	780 千円
--------------	---------------------------------------	--------

令和8年度科学研究費（分担）（継続）

基盤研究(B)（令和7年度採択 間接経費含む）

教授 黒坂 貴 裕	行政官と文化財保護の関係史を拓く：建築担当技官が擁する諸資料の集合とアーカイブ化	195 千円
--------------	--	--------

挑戦的研究（開拓）（令和7年度採択 間接経費含む）

講師 熊谷 駿	大きな群の可積分離散微分幾何と離散幾何解析に基づく幾何学的形状生成理論の開拓	650 千円
------------	--	--------

基 盤 研 究(A) (令和6年度採択 間接経費含む)

講師 外 里 健 太	直接的物理モデリングを携えるデジタルシャドウが実現する豪雨災害対策の新展開	1,040 千円
---------------	---------------------------------------	----------

基 盤 研 究(B) (令和6年度採択 間接経費含む)

教授 杉 本 振一郎	電磁場・固体連成解析のハイケーパビリティ計算を実現する数値計算法	390 千円
教授 星 野 保	雪腐病予防の新戦略：多様な積雪条件における越冬環境と発病の評価	910 千円

基 盤 研 究(C) (令和6年度採択 間接経費含む)

教授 竹 内 貴 弘	津波ならびに氷象変化を考慮した海水群挙動の数値解析の高度化と沿岸防災・減災方策	390 千円
---------------	---	--------

基 盤 研 究(B) (令和5年度採択 間接経費含む)

教授 越 田 俊 介	歯骨伝導で音の到来方向は知覚可能か？ 次世代型歯骨伝導補聴器のための基礎的検討	650 千円
---------------	---	--------

2 文部科学省私立大学等改革総合支援事業

年 度	事 業 名
令和7年度	タイプ1「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」

3 文部科学省大学・高専機能強化支援事業

年 度	事 業 名
令和7年度	成長分野への転換に向けた学部新設計画

4 外 部 資 金

① 受託研究・共同研究

令和7年度

職 名	氏 名	研 究 課 題 等	依 頼 先
教 授 講 師	阿波 稔 外里 健太	ガラス廃棄物を活用した建設工事用基礎材及び路盤材の開発	(有) ルー プ
教 授	伊藤 智也	研究活動とその成果の可視化のための3Dデバイスについての共同研究	公益財団法人環境 科学技術研究所
講 師	宇野あずさ	国際園芸博覧会へ出展する庭園・花壇作品のデザイン 案制作	青 森 県
准教授	皆川 俊平	青の煌めきあおもり国スポ階上町カウントダウンボード製作	階上町教育委員会 国スポ対策室
講 師	外里 健太	豪雨による斜面災害の広域的なリアルタイム予測手法の開発 ～八戸市を対象としたケーススタディ～	東 北 大 学 災 害 科学国際研究所 災害レジリエンス 共創センター
教 授	桐原 慎二	青森港油川地区ふ頭用地造成水質調査業務委託	青 森 県
教 授	桐原 慎二	青森県佐井村ブルーカーボン推進事業業務に係る調査・解析	志 田 内 海 (株)
教 授	桐原 慎二	浮体式洋上風力発電施設を活用した海藻養殖の可能性に関する	九 電 み ら い エ ナ ジ ー (株) 関 西 電 力 (株)
教 授	黒坂 貴裕	旧西谷家住宅建物等調査業務委託	黒 石 市 役 所
教 授	佐藤 学	原子力工学分野の科学計算における AI 活用に関する調査研究	東 北 放 射 線 科学センター
教 授	佐藤 学	令和7年度原子力産業基盤強化事業 原子力人材ニーズへの取組み	(株)青森原燃テクノロジセンター
教 授	佐藤 学	ベリリウム金属間化合物の核融合環境を模擬した照射下における微細組織発達のその場観察と気化器的特性に対する照射効果	国立研究開発法人 量子科学技術 研究開発機構
教 授	小玉 成人	監視カメラによる波浪の画像と風況実測値を用いた画像解析による風況推定に関する研究	国立大学法人 神 戸 大 学 一般社団法人 むつ小川原海洋気 象観測センター
教 授	小藤 一樹	社食改装コラボ	ニューロン工業(株)
講 師	西尾 洸毅	地方小都市における滞在を中心とした複合施設のあり方に関する研究	(株) 八 州 建 築 設 計 事 務 所
教 授	石毛 清八	青の煌めきあおもり国スポ弁当外箱デザイン製作	青 の 煌 め き あおもり国スポ・ 障 ス ポ 八 戸 市 実 行 委 員 会
教 授	川守田礼子	南部菱刺しを活用した工芸体験製品の開発	青森県産業技術 セ ン タ ー

職 名	氏 名	研 究 課 題 等	依 頼 先
教授 教授 教授 教授	浅川 拓克 石毛 清八 高屋喜久子 安部 信行	敷地内救急車導線と横断歩道の現状と改善	八 戸 市 立 市 民 病 院
教 授	田中 義幸	Holistic Genomic Approach to Asia-Pacific Marine Biodiversity	東 北 大 学
教 授	迫井 裕樹	凍結融解抵抗性を向上させたプレキャストコンクリートに使用される吸水性樹脂の作用機構の解明	ピーエス・コンス トラクション(株) (株) 日 本 触 媒
教 授	鈴木 拓也	八戸市地盤沈下観測井観測記録解析業務委託	八 戸 市
教 授	鈴木 拓也	八戸市地盤沈下観測井管理観測業務委託	八 戸 市
任期付 研究員	赤松 笙太	R 7 青森県量子科学センターの装置による量子ビームを活用した人材育成に係る補助業務	青 森 県

② 研究助成

令和7年度

職 名	氏 名	研 究 課 題 等	依 頼 先
教 授	桐原 慎二	ブルーカーボン等を活用した八戸地域のコンブ養殖復活の試み	むつ小川原地域・ 産 業 振 興 財 団
教 授	高瀬 慎介	寒冷地橋梁の劣化損傷実態調査と修繕対策の検討	青森県建設技術 セ ン タ ー
講 師	外里 健太	降雨に伴う高速道路の斜面災害のリアルタイム予測に関する研究	東日本高速道路(株)
教 授	柴田 幸司	2025年度 スマート農業の発展や土砂災害の防止に寄与する土壌や農作物の 水分の精密計測システムの開発 補助事業	公 益 財 団 法 人 J K A 補 助 事 業
教 授	藤岡 与周	農林水産業教育向けプログラミング・ロボット事業に係わるプログラム検証機械	(株)トイ（中小企 業等事業再構 築促進補助金）

5 学 内 助 成

令和7年度

① 特別研究支援（研究センター）

職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
教 授	船 崎 健 一	八戸工業大学における航空宇宙関連研究の拠点形成	100 千円
教 授	伊 藤 智 也	地域スポーツのデジタルトランスフォーメーション(DX)推進	300 千円
教 授	小 林 正 樹	特殊化学反応場によるカーボンリサイクル技術の創製と展開	200 千円

② 特別研究助成費（プロジェクト研究）

職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
教 授	伊 藤 智 也	地域スポーツ DX 推進に向けたスポーツデータサイエンス教育コンテンツの設計と実践的評価	2,240 千円
教 授	浅 川 拓 克	地域の救急医療を支えるドクターカー等の事故を防止するための、ユニバーサルデザインの視点におけるドクターカーの塗色、警光灯等に関する研究	600 千円

③ 特別研究助成費（特定研究・挑戦的研究）

職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
教 授	杉 本 振 一 郎	高精度誘導加熱シミュレーションのための電磁界-熱伝導双方向連成解析システムの研究	350 千円
教 授	嶋 脇 秀 隆	GOS 型電子源の電子放出機構に関する研究	350 千円
教 授	小 久 保 温	大規模言語モデルを用いた特殊詐欺体験シミュレーターの開発	350 千円
教 授	安 部 信 行	視覚障害者の雪道歩行の課題と解決策に関する研究	350 千円
講 師	宇 野 あ ず さ	地域素材の特性調査と CMF デザイン応用に関する実践的研究	300 千円
教 授	高 瀬 慎 介	K-refinement 法を用いた Isogeometric Analysis 手法の構築	200 千円
教 授	鮎 川 恵 理	コケ植物と珪藻土を利用した屋上緑化技術の確立と遮熱効果の評価	400 千円
講 師	吉 浦 温 雅	通気層を有す二重屋根構造の熱的性能評価を実施する屋外試験装置の開発	391 千円
助 教	熊 谷 駿	数学を基盤とする形状取扱技術とその教育アプローチの研究	400 千円

④ 特別研究助成費（しまもり SDGs 実践プロジェクト）

職 名	研究代表者	研 究 装 置 名	助成金額
教 授	星野 保	島守地区で生産した飯米を原料とした日本酒製造	1,000 千円
教 授	星野 保	島守地区の食文化、特に発酵食品に関する調査	540 千円
教 授	高瀬 慎介	見てさわって学ぶしまもり食育 SDGs プロジェクト	900 千円
教 授	黒坂 貴裕	島守の建築文化・資源を活かした SDGs の実践	738 千円

⑤ 大型装置・設備保守費

職 名	使用責任者	研 究 課 題 名	助成金額
教 授	迫井 裕樹	寒冷地建設材料の耐久性試験研究装置	1,100 千円
教 授	迫井 裕樹	寒冷地コンクリート材料の高耐久化に関する研究装置	1,100 千円
教 授	迫井 裕樹	寒冷地建設材料の複合環境劣化装置	1,100 千円
教 授	鈴木 拓也	環境ホルモン分析装置 保守点検	1,100 千円
教 授	竹内 貴弘	寒冷地施設の機能向上に関する研究装置	1,100 千円
教 授	小林 正樹	マイクロ波照射極限化学反応プロセスの流動発生解析装置	1,100 千円

⑥ 教育改革支援経費助成

職 名	研究代表者	研 究 課 題 名	助成金額
教 授	岩見 一郎	本学工学研究科における高年次英語教育を支える指導実践と成果検証：ESP と民俗学の知見を援用して	560 千円

⑦ 戦略的社会連携推進費

職 名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教 授	迫井 裕樹	JAMSTEC 不動テトラ	「深海環境がセメント硬化体の特性に及ぼす影響」 内容： 深海開発において、有用な建設材料の一つとして、地上および浅海域での実績の多いセメント系材料の利用が期待されているが、深海という特殊環境がセメント系材料の力学的特性・耐久性に及ぼす影響については未知な部分が多いのが現状である。2018年度より、JAMSTEC、不動テトラと共同して進めており、実環境に暴露されたセメント硬化体の化学的変化、力学的特性変化について分析・検討を行うものである。	1,900 千円
教 授	石山 武	八戸工業大学 第一高等学校	「能動的教育を強化した接合型高大連携の取り組み」 内容： 高校3年生を対象に研究テーマを設定し、大学教員・高校教員が連携しながら指導するとともに、学部4年、大学院生も「課題研究」指導を実施。 研究テーマごとにデータ整理や理解した成果をまとめ、高校生のキャリア形成の一助となることを目指す。	88 千円

職 名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
主 事	佐 藤 南	八戸工業大学 第二高等学校	「令和7年度八戸工業大学第二高等学校 HIT － SSP(サマーサイエンスプログラム)実施」 内容： 進路選択を見据えた高校生に大学での学び を体験してもらう目的で実施を予定してい る。生徒が進路を考える上で、選択肢を広 げるきっかけとなることを期待するととも に、本学の教育研究活動を周知するもので ある。令和7年度は8月4日～5日の2日 間にわたり開催。7部局の各テーマに分か れ、高校生が各自の興味のある分野を選択 し、講義や実習を体験参加した。	80 千円
主 査	本 間 貴 士	青 森 県 立 八 戸 工 業 高 等 学 校	「令和7年度八戸工業高等学校 ミニオー プンキャンパス実施」 内容： 八戸工業高等学校との連携協定により、1 年生の希望者を対象にミニオープンキャン パスを開催し、生徒が進路を考える上で、 大学進学という選択肢を広げるきっかけと なることを期待するとともに、本学の教育 研究活動を周知するものである。学内見学、 体験授業・実験、学食体験等を実施。	55 千円
講 師	宇野あずさ	さくら幼稚園	「さくら幼稚園×八戸工業大学 見てさ わって感じるアート＆サイエンス事業」 内容： 「見てさわって感じるアート＆サイエン ス事業」は、実験や科学工作などの体 験を通じて子どもが科学への関心や好 奇心を持つ機会を創出する事業である。 令和7年度は幼稚園・工業大学の連携強 化及び学外への情報発信等の活動を実施。 ① SDGsに基づく大学×幼稚園による共創 活動 ②アート＆サイエンスによる園児向けのイ ベント企画・教材の提案 ③地域・学外連携を強化した公開活動	623 千円
教 授	折 田 久 幸	C N C E R (HOPに加盟 する研究会)	「CNCER (Carbon Neutral Circular Economy Rally)」 内容： 2017年より続けてきたIoTを使った温暖化 対策を目的に活動してきた HIoT と、2024 年に立ち上がった HIT CN 人材育成協議会 の下部組織である小中高一般向け WG とを 合体し、2025年度より CNCER として活動 を開始。出張講義、セミナー開催、学科発 表等実施。	127 千円

職 名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教 授	星 野 保	SDGs 研究会 (HOPに加盟 する研究会)	「SDGs 研究会 令和7年度活動」 内容： 東北地区を中心に SDGs 関連の取り組みを 分析し、本学プロジェクトの推進を支援 し、助言を与える目的として活動。また、 企業・行政・メディアの意向を確認し、研 究者との窓口を目指して活動している。令 和7年度は、郷土食調査実施、岩手ネット ワークシステムが開催する SDGs 研究会 in 北上にて講演、しまもり SDGs 実践プロジェ クトと連携した日本酒造り体験・味噌玉製 造実習等を実施。	326 千円
教 授	小 玉 成 人	情 報 教 育 研 究 会 (HOPに加盟 する研究会)	「情報教育研究会 令和7年度活動」 内容： 小中高教育機関の先生方との連携によりプ ログラミング及び情報教育に関する知見共 有の仕組みを構築し、地域の IT 教育の底 上げと横展開の拡大を目標として活動を実 施。 また、全国の中学・高校向けのプログラミ ング・オンライン講座などを企画し、八戸 から情報発信することで青森県のデジタル 度のイメージ向上にも取り組む。 1.AI 活用の試行 2.小学生のための教材開発（メディアとの 付き合い方、英語）	379 千円
教 授	阿 波 稔	青い森の橋 ネットワーク (HOPに加盟 する研究会)	「令和7年度 青い森の橋ネットワーク勉 強会」 内容： 青森県内の橋梁の長寿命化について関心を 持つ学識経験者及び技術者が、橋梁に関わ る知識を深め、学術的知見の提供や技術の 普及、承継と人材育成を通じて地域社会の 持続可能な発展に貢献することを目的とし 研修会や勉強会を開催。 ①南信州メンテナンス技術研鑽のための勉 強会 ②東北 MUCC 生コン技術会青森支部の技 術研修会 ③令和7年度 橋梁補修設計研修プログラ ム ④青森県土木施工管理技士会上北支部の講 習会	100 千円

職 名	担当者	外部機関	事業名 および 内容	助成金額
教 授	桐 原 慎二	青森ブルー カーボン 研究集会 (HOPに加盟 する研究会)	「青森ブルーカーボン研究集会 (ABC-RM)」 内容： 海藻草によって海洋中に固定される炭素であるブルーカーボンは、気中の二酸化炭素の吸収源として注目されているほか、ブルーカーボン・クレジットの取引を通じた漁業振興や環境保全への活用が期待されている。現地調査の実施や講演会開催、専門家との意見交換などを通じてブルーカーボン・クレジットを活用した地域貢献策を検討し提案。	63 千円
教 授	金 子 賢治	HOP 防 災 道 の 駅 研 究 会 (HOPに加盟 する研究会)	「HOP 防災道の駅研究会」 内容： 東日本大震災からの復興の中で三陸自動車道が全線開通し、八戸南インターに近接した八戸工業大学の立地は、広域的な防災拠点・物流拠点・観光拠点として非常に良好であることから、この場所に防災道の駅を設置するアイデアが生まれている。本研究会では、これの実現に向けて、「防災道の駅」に関連する種々の事項について調査研究、意見交換等を実施した。	72 千円
教 授	高 瀬 慎介	(株)田名部組	「八戸工業大学×株式会社田名部組 産学連携事業 はちのへ「まち」プロジェクト」 内容： 産学連携事業「八戸工業大学 番町サテライトキャンパス」における、本学の公開講座やセミナーを開催のほか、中心街における学生の活動、市民の交流の拠点とするべく運営。令和6年度は、公開講座やセミナー、フォーラム、学会、卒業展示等を開催するほか、各種イベントや地域への貸し出しを行い、八戸市中心市街地活性化に取り組んだ。館長就任に伴い活動面・集客面ともに活性化が図られた。	1,747 千円

6 海外出張・海外研修

令和7年度

職名	氏 名	目 的	出張・ 研修期間	出張・研修場所
教 授	竹内 貴弘	Sheraton Hotel Newfoundland（会議会場）、St John's,NL,Canada	R7. 7.13 ） R7. 7.19	カ ナ ダ
教 授	嶋脇 秀隆	IVNC2025 における GOS 型電子減に関する研究発表	R7. 7. 5 ） R7. 7.13	アイスランド
講 師	宇野あずさ	カンボジアの伝統的な手工芸文化（竹、椰子、布等を使用した民芸品）や宗教美術の現地調査	R7. 8.18 ） R7. 8.25	カンボジア
教 授	石山 俊彦	IEEE 国際会議「ICRERA2025」にて研究発表のため	R7.10.25 ） R7.11. 1	オーストリア
助 教	戴 周杰	中国大陸の文化施設の視察&映像文化の リサーチのため	R7. 9. 4 ） R7. 9.10	中 国
教 授	鶴田 猛彦	Pacificchem2025 Oxidation of gallic acid using hydrogente trachloroaurate のタイトルでポスター発表を行い、関連する発表を聴講する	R7.12.14 ） R7.12.22	アメリカ合衆国
講 師	外里 健太	国際会議（APCOM2025）での研究発表	R7.12. 6 ） R7.12.13	オーストラリア

第13 活 動 実 績

1 学会・研究会等

研 究 会 等 の 名 称	開催年月日	開催場所（教室等）	参加人数
青い森の橋ネットワーク メンテナンス技術研鑽のための勉強会	R7. 4.21	本 学 橋 梁 メ ン テ ナ ン ス 体 験 施 設	8 名
女子学生交流会	R7. 5. 9 R7. 5.13	本学多目的ホール	38 名
電子情報通信学会 回路とシステム / システム数理と応用 / VLSI 設計技術 合同研究会	R7. 6.19 ～ 20	番 町 サ テ ラ イ ト キ ャ ン パ ス	50 名
はちのへオープンイノベーション・プラットフォーム総会	R7. 6.23	本 学 1-317 会 議 室	12 名
青い森の橋ネットワーク 技術研修会	R7. 6.25	本 学 橋 梁 メ ン テ ナ ン ス 体 験 施 設	20 名
第2回 GAL's 会	R7. 7. 4	本学多目的ホール	6 名
HOP 防災道の駅研究会①	R7. 7.11	本 学 大 会 議 室	23 名
SD 研修会 R 7 年度私立大学等経常費補助金に関する研修会	R7. 7.14 R7. 7.18	本 学 1-310 講 義 室、 大 会 議 室	24 名
2025年度第1回 H.I.T. 航空宇宙研究センター特別講演会	R7. 7.16	本 学 2-203 講 義 室	76 名
八戸小唄流し踊りに参加	R7. 7.18	八 戸 市 中 心 街	24 名
SD 研修会「女性が働き続けキャリアアップしていくには？」	R7. 8. 4	本学多目的ホール	22 名
応用物理学会東北支部リフレッシュ理科教室	R7. 8.18	番 町 サ テ ラ イ ト キ ャ ン パ ス	25 名
第2回 XJU-HIT-ENU 国際ワークショップ	R7. 8.21 ～ 23	本学多目的ホール他	52 名
FD・SD 研修 令和7年度大学等向け安全保障貿易管理説明会	R7. 9. 9	オ ン ラ イ ン	28 名
八戸市役所 OB 座談会	R7.10. 2	本学多目的ホール	4 名
第1回 HIT カーボンニュートラル人材育成協議会	R7.10. 6	本 学 大 会 議 室	39 名
土木工学科・建築工学科設置50周年・同窓会設立45周年記念事業 講演会 「学科設置50周年、同窓会設立45周年に寄せて」 「多様な地域人口・道路ネットワークに対応していくための津波避難最適化アプローチ」	R7.10.11	本 学 2-204 講 義 室	90 名
青い森の橋ネットワーク 橋梁補修設計研修プログラム	R7.10.16	本 学 橋 梁 メ ン テ ナ ン ス 体 験 施 設	30 名
青森ブルーカーボン研究集会・Carbon Neutral Circular Economy Rally 下水道ブルーカーボン講演会	R7.10.17	本 学 2-204 講 義 室	90 名
青い森の橋ネットワーク 土木施工管理技士講習会	R7.10.29	本 学 橋 梁 メ ン テ ナ ン ス 体 験 施 設	40 名

研究会等の名称	開催年月日	開催場所（教室等）	参加人数
令和7年度ハラスメント防止研修（オンデマンド配信）	R7.11. 5 ～ 21	オンデマンド配信	127名
八戸市民病院との共同研究	R7.11. 9	本学メディアセンター	61名
女子学生と青森県内企業で働く女性社員との交流会	R7.11.13	本学多目的ホール	17名
HOP 防災道の駅研究会②	R7.11.14	本学大会議室	20名
学生向けリーダーフォーラム	R7.11.14 R7.11.21	本学2-202、2-203、 2-204 講義室、 多目的ホール	137名 196名
生成 AI 活用による業務効率化・生産性向上実践編	R7.11.20	オンライン	若干名
アイディアの出し方	R7.11.26	本学1-314 講義室	26名
電気学会システム研究会	R7.11.28	番町サテライト キャンパス	25名
J 2 昇格の原動力！ヴァンラーレ八戸が実践するコンディショニング戦略と GPS でデバイスの活用事例	R7.12.19	本学2-204 講義室	138名
日本音響学会音楽音響研究会2026年1月研究会	R8. 1.11	番町サテライト キャンパス	15名
第5回英語プレゼンテーション・セミナー	R8. 1.23	本学多目的ホール またはオンライン	35名
防災科学フォーラム2026	R8. 1.24	番町サテライト キャンパス	30名
令和7年度（第22回）八戸工業大学高大連携推進協議会	R8. 1.28	本学大会議室	41名
半導体関連企業見学会 in 岩手	R8. 2. 3	岩手県内施設1カ所、 企業2社	7名
令和7年度 八戸工業大学外部評価委員会	R8. 2.10	本学大会議室	32名
リーダーズ研修会	R8. 2.13	本学多目的ホール	56名
企業と大学研究室の交流会（システム情報工学コース教員）	R8. 2.24	本学多目的ホール	5名
学生チャレンジプロジェクト事業	R8. 2.25	本学2-204 講義室	13名
教育改善シンポジウム	R8. 2.27	本学大会議室	87名
IR セミナー	R8. 3. 3	オンライン	34名
企業と大学研究室の交流会（八戸北インター工業団地内の企業見学）	R8. 3. 3	八戸北インター 工業団地内企業2社	5名
第1回 FD 研修会	R8. 3. 4	本学2-201 講義室	31名
第2回 HIT カーボンニュートラル人材育成協議会	R8. 3. 9	本学大会議室	36名
第2回 FD 研修会	R8. 3.17	本学2-201 講義室	19名

2 公 開 講 座

令和7年度

名 称	開催 年月日	開催場所 (教室等)	担 当 者	摘要 (受講者数等)
八戸工大「ばんらぼ」が取り組む地域活性化－米国ボストンに見る都市づくり－	R7. 4.26	番町サテライト キ ャ ン パ ス	名誉教授 関 秀 廣	9名
子供たちはプログラミングを楽しんでいる？先生方は？	R7. 5. 3	番町サテライト キ ャ ン パ ス	本 波 洋	6名
量子の科学と技術の100年	R7. 5.10	番町サテライト キ ャ ン パ ス	川 本 清	5名
紙コップロボットを作ろう	R7. 5.17	番町サテライト キ ャ ン パ ス	花 田 一 磨	2名
アートと遊び	R7. 5.31	番町サテライト キ ャ ン パ ス	東 方 悠 平	14名
菱刺しは南部のダイヤモンドー南部菱刺しを語り合う	R7. 6. 7	番町サテライト キ ャ ン パ ス	川守田 礼 子	25名
社会を支える半導体 ～太陽電池から AI まで～	R7. 6. 8	番町サテライト キ ャ ン パ ス	石 山 武	9名
身近な自然の変化から、地球環境問題を考える～ハクチョウ・海草・ニッコウキスゲ～	R7. 6.28	番町サテライト キ ャ ン パ ス	田 中 義 幸	22名
自動草刈ロボットのためのコンピュータ	R7. 6.29	番町サテライト キ ャ ン パ ス	藤 岡 与 周	10名
お手玉から考えるスポーツ科学	R7. 7.13	番町サテライト キ ャ ン パ ス	大 室 康 平	5名
日常の中の統計	R7. 7.19	番町サテライト キ ャ ン パ ス	竹 浪 二三正	6名
八戸の祭りと歴史背景	R7. 7.26	番町サテライト キ ャ ン パ ス	佐々木 崇徳	7名
アート・デザインが好きな高校生のためのデッサン体験会「1,2のデッサン」	R7. 7.27	番町サテライト キ ャ ン パ ス	宇 野 あずさ	3名
北上山地粘菌探検隊 part 3	R7. 7.27	岩手県宮古市 江 繁 山 小 屋 フィールド・ノート およびその周辺	星 野 保	20名
地域型アートフェスティバルを考える	R7. 7.27	番町サテライト キ ャ ン パ ス	皆 川 俊 平	14名
青森の光るきのこ	R7. 8.23	番町サテライト キ ャ ン パ ス	星 野 保	8名
Depth Camera による 3 次元環境地図の自動生成	R7. 8.24	番町サテライト キ ャ ン パ ス	神 原 利 彦	6名
ひみつの蕪島 －2022～23年の調査で明らかになった蕪島の植生について－	R7. 8.30	番町サテライト キ ャ ン パ ス	鮎 川 恵 理	12名
最強のはちのヘドクターカー	R7. 9. 6	番町サテライト キ ャ ン パ ス	浅 川 拓 克	5名

名 称	開催 年月日	開催場所 (教室等)	担 当 者	摘要 (受講者数等)
頻発する豪雨・豪雪 - 〇〇年に一度の大雨・大雪とは？	R7. 9. 7	番町サテライト キャンパス	竹 内 貴 弘	9名
八戸地域の地盤工学	R7. 9.20	番町サテライト キャンパス	金 子 賢 治	11名
自然災害と計算力学	R7. 9.21	番町サテライト キャンパス	高 瀬 慎 介	10名
寒冷地におけるコンクリートの耐久性	R7. 9.28	番町サテライト キャンパス	迫 井 裕 樹	6名
地域映像アーカイブの可能性を探る	R7. 9.28	番町サテライト キャンパス	戴 周 杰	24名
デザイン学からやってきた曲線のはなし	R7.10. 4	番町サテライト キャンパス	熊 谷 駿	7名
幾何のはなし	R7.10. 5	番町サテライト キャンパス	笹 原 徹	5名
暑い！寒い！たてもの断熱のしくみを実験で確かめよう！	R7.10.11	八戸工業大学 6-204 講 義 室	吉 浦 温 雅	10名
台湾、ドキュメンタリー映画、そして映画祭について、私が語りたいことは……	R7.10.16	番町サテライト キャンパス	戴 周 杰	17名
ブランコはなぜゆれる	R7.10.18	番町サテライト キャンパス	太 田 勝	6名
アート・デザインが好きな高校生のためのデッサン体験会「1,2のデッサン」	R7.10.19	HIROSAKI ORANDOGALLERY	宇 野 あずさ	3名
リモコンの傾きで動くミニカーをプログラミングしよう	R7.10.19	八戸工業大学 8-202 講 義 室	本 波 洋	6名
飲み水の未来と SDGs	R7.10.25	番町サテライト キャンパス	鈴 木 拓 也	4名
スパコンのおはなし	R7.10.26	番町サテライト キャンパス	杉 本 振一郎	8名
空き家対策のはなし	R7.11. 1	番町サテライト キャンパス	西 尾 洸 毅	3名
おもしろ電子工房	R7.11. 3	久 慈 市 中 央 市 民 セ ン タ ー	石 山 俊 彦	16名
光の科学と工学への応用 白い大根はにると透明になるのはなぜ？	R7.11. 8	北上サテライト オ フ ィ ス	名誉教授 関 秀 廣	5名
学生の卒業設計から見た八戸	R7.11. 9	番町サテライト キャンパス	小 藤 一 樹	7名
あなたの知らない茅葺きの新時代	R7.11.15	番町サテライト キャンパス	黒 坂 貴 裕	7名
ジャポニスム—西洋美術への影響	R7.11.16	番町サテライト キャンパス	石 毛 清 八	8名
映画は映画館で見るから映画なんです。めんどくさいからこそ映画なんです。	R7.11.19	番町サテライト キャンパス	戴 周 杰	30名

名 称	開催 年月日	開催場所 (教室等)	担 当 者	摘要 (受講者数等)
君の体がりモコンになるミニカーを プログラミングしよう	R7.11.29	番町サテライト キ ャ ン パ ス	本 波 洋	6名
介護のための人間工学	R7.11.30	番町サテライト キ ャ ン パ ス	高 橋 晋	4名
近代八戸地域における洋学導入・受 容について	R7.12. 6	番町サテライト キ ャ ン パ ス	岩 見 一 郎	8名
グリーンケミストリー& CO ₂ 利用	R7.12. 7	番町サテライト キ ャ ン パ ス	小 林 正 樹	20名
すべての地域プロジェクトの原点は 映画にある ～アート・観光・市役所・ 商品開発～	R7.12. 7	番町サテライト キ ャ ン パ ス	戴 周 杰	30名
デジタルで結ぶ、伝統と革新：伝統 芸能と博物館の DX が創る未来	R7.12.14	番町サテライト キ ャ ン パ ス	伊 藤 智 也	7名
無意識でつながる俳句と映画	R7.12.20	番町サテライト キ ャ ン パ ス	佐 藤 手 織	5名
クリスマス絵本の楽しみ ～おいしいクリスマス～	R7.12.20	番町サテライト キ ャ ン パ ス	非常勤講師 戸田山 みどり	12名
防災について	R8. 3. 8	番町サテライト キ ャ ン パ ス	名誉教授 坂 本 禎 智 治 金 子 賢	9名
ヒカリであそぶワークショップ	R8. 3.28	北上サテライト オ フ ィ ス	川 本 清	3名
なぜ東北に映画祭が必要なのか？	R8. 3.29	八戸クリニック 街 か ど ミュージアム	戴 周 杰	30名

第14 研 究 刊 行 物

八戸工業大学紀要 第45－1 巻 令和7年11月

第45－2 巻 令和8年3月

編集発行 八戸工業大学情報メディア委員会

I S S N 2434-6659 (Online) 0287-1866 (Print)

発行部数 八戸工業大学学術リポジトリにて公開

発行回数 年 2 回

八戸工業大学地域産業総合研究所紀要 第24巻 令和8年3月

編集発行 八戸工業大学地域産業総合研究所紀要編集委員会

I S S N 2434-6667 (Online) 2424-0192 (Print)

発行部数 八戸工業大学学術リポジトリにて公開

発行回数 年 1 回

第15 図 書 館

1 施 設		
書 庫	414㎡	(積層数 4 層)
第 2 書 庫	119㎡	
図 書 館 閱 覧 室	367.88㎡	(座席数 94 席)
雑 誌 閱 覧 室	340㎡	(座席数 16 席)
多 目 的 ホ ー ル	306㎡	(座席数 90 席)
新 聞 閱 覧 室	306㎡	(座席数 54 席)
計	1,852.88㎡	

2 蔵 書 令和 8 年 3 月31日現在

区 分	和 書	洋 書	合 計
0 総 記	4,857	676	5,533
1 哲 学	2,605	544	3,149
2 歴 史	4,591	222	4,813
3 社 会 科 学	10,639	844	11,483
4 自 然 科 学	17,357	3,207	20,564
5 工 学	33,614	6,421	40,035
6 産 業	1,573	80	1,653
7 芸 術	3,971	209	4,180
8 語 学	4,121	1,381	5,502
9 文 学	6,264	1,400	7,664
製本・別置・A V 資料	4,309	9,621	13,930
計	93,901	24,605	118,506

3 利 用 状 況 (令和 7 年度)

開 館 日 数	図 書 貸 出 者 数	図 書 貸 出 冊 数	学 生 閱 覧 室 入 場 者 数
273 日	472 人	986 冊	10,696 人

第16 旧 職 員

1 歴代役付職員
学 長

(就 任)	(退 任)	(学 位)	(氏 名)
昭47. 4. 1	昭49. 2. 23		小 和 田 武 紀
49. 2. 24 (事務取扱)	49. 5. 31	工 学 博 士	門 脇 又 男
49. 6. 1	51. 4. 30	工 学 博 士	斎 藤 恒 三
51. 5. 1 (事務取扱)	51. 12. 10	工 学 博 士	門 脇 又 男
51. 12. 11	56. 3. 31	工 学 博 士	門 脇 又 男
56. 4. 1	60. 3. 31		淵 澤 又 敏
60. 4. 1	平 5. 3. 31	工 学 博 士	河 上 定 房
平 5. 4. 1	12. 3. 31	工 学 博 士	村 上 孝 燦
12. 4. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 一 吉
18. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 成
22. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
28. 4. 1	令 2. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明
令 2. 4. 1	7. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智

副 学 長

昭51. 12. 11	昭56. 3. 31		淵 澤 定 敏
平元. 4. 1	平 5. 3. 31	工 学 博 士	村 上 孝 燦
21. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 本 一
26. 5. 1	令 3. 3. 31		橋 福 士 憲
28. 4. 1	3. 3. 31	工 学 博 士	

学 長 補 佐

平24. 4. 1	平28. 3. 31	工 学 博 士	関 本 秀 廣
30. 4. 1	令 2. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智

学長補佐（学務担当）

平 7. 4. 1	平 9. 8. 22	工 学 博 士	川 島 俊 夫
11. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	須 田 一 熙
13. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 郎
19. 4. 1	21. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
22. 4. 1	23. 3. 31	工 学 博 士	福 士 憲 一

学長補佐（事務担当）

平 7. 4. 1	平 9. 3. 31		及 川 富 司
9. 4. 1	23. 3. 31		福 井 俊 夫

大学院工学研究科長

平12. 4. 1	平18. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
18. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
22. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
28. 4. 1	令 2. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明

令 2. 4. 1	令 7. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
工 学 部 長			
平17. 4. 1	平22. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
22. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
28. 4. 1	29. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明
29. 4. 1	令 3. 3. 31	工 学 博 士	福 士 憲 一
感性デザイン学部長			
平17. 4. 1	平20. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明
20. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
22. 4. 1	29. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
29. 4. 1	令 2. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明
令 2. 4. 1	7. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
機械システム工学 専攻主任			
平 7. 4. 1	平12. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
12. 4. 1	15. 9. 30	博士(工学)	高 加 賀 拓
15. 10. 1	18. 3. 31	博士(工学)	岡 村 隆 成
機械・生物化学工学 専攻主任			
平18. 4. 1	平20. 3. 31	工 学 博 士	齋 藤 正 博
20. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	大 黒 正 敏
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	野 田 英 彦
28. 4. 1	30. 3. 31	工 学 博 士	大 黒 正 敏
31. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	佐 藤 学
電気電子工学 専攻主任			
平 7. 4. 1	平13. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎
13. 4. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
18. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
電子電気・情報工学 専攻主任			
平19. 4. 1	平20. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
20. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	関 城 秀 廣
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	根 城 安 秀
28. 4. 1	令 3. 3. 31	工 学 博 士	関 安 秀 廣
土 木 工 学 専攻主任			
平 7. 4. 1	平 9. 3. 31	工 学 博 士	佐 藤 敦 久
9. 4. 1	11. 3. 31	工 学 博 士	須 田 久 瀬
11. 4. 1	17. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
17. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	福 士 憲 一
19. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 谷 永 一
25. 4. 1	27. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴 弘

建 築 工 学 専攻主任									
平11. 4. 1	平15. 3. 31	工学博士		渡	邊	正	朋		
15. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)		熊	谷	浩	二		
18. 4. 1	20. 3. 31	工学博士		滝	田	浩	貢		
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)		熊	谷	洋	二		
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)		月	永	貴	一		
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)		竹	内		弘		
社会基盤工学 専攻主任									
平27. 4. 1	令 4. 3. 31	博士(工学)		竹	内	貴	弘		
令 4. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)		加	藤	雅	也		
6. 4. 1	7. 3. 31	博士(工学)		高	瀬	慎	介		
機 械 工 学 科 主任教授									
昭47. 4. 1	昭50. 3. 31			塩	谷	喜 久	男		
50. 4. 1	51. 4. 1			真	柳	義	行		
51. 4. 2	57. 3. 31			淵	澤	定	敏		
57. 4. 1	59. 3. 31			岩	津		功		
59. 4. 1	平 3. 3. 31	工学博士		三	戸	武	曉		
平 3. 4. 1	4. 3. 31	工学博士		槌	川	裕	男		
4. 4. 1	5. 3. 31	工学博士		高	橋				
機 械 工 学 科 長									
平 5. 4. 1	平 7. 3. 31	工学博士		高	橋	裕	男		
7. 4. 1	9. 3. 31	博士(工学)		加	賀	拓	也		
9. 4. 1	12. 3. 31	工学博士		高	賀	燦	吉		
12. 4. 1	13. 3. 31	博士(工学)		加	賀	拓	也		
30. 4. 1	令 4. 3. 31	博士(工学)		佐	藤		学		
機 械 情 報 技 術 学 科 長									
平13. 4. 1	平15. 9. 30	博士(工学)		加	賀	拓	也		
15. 10. 1	20. 3. 31	工学博士		齋	藤	正	博		
20. 4. 1	25. 3. 31	工学博士		大	黒	正	敏		
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)		野	田	英	彦		
28. 4. 1	30. 3. 31	工学博士		大	黒	正	敏		
産 業 機 械 工 学 科 主任教授									
昭47. 8. 1	昭50. 7. 31			加	畑	信	一		
50. 8. 1	51. 3. 31			友	兼		泰		
51. 4. 1	54. 3. 31			真	柳	義	行		
54. 4. 1	56. 3. 31			淵	澤	定	敏		
56. 4. 1	58. 1. 31			岩	津		功		
58. 2. 1	59. 3. 31	工学博士		三	戸	孝	曉		
59. 4. 2	60. 3. 31	工学博士		萱	場		雄		
電 気 工 学 科 主任教授									
昭47. 4. 1	昭54. 3. 31	工学博士		門	脇	又	男		

昭54. 4. 1	平元. 3. 31	工 学 博 士	松 坂 知 行
平元. 4. 1	5. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎

電 気 工 学 科 長

平 5. 4. 1	平11. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎
-----------	------------	---------	-----------

電 気 電 子 工 学 科 長

平11. 4. 1	平13. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一 郎
13. 4. 1	15. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
28. 4. 1	令 3. 3. 31	工 学 博 士	関 秀 廣
令 3. 4. 1	4. 3. 31	博士(工学)	石 山 武

電 子 知 能 シ ス テ ム 学 科 長

平15. 4. 1	平18. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
18. 4. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
20. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	関 秀 廣

電 気 電 子 シ ス テ ム 学 科 長

平22. 4. 1	平24. 3. 31	工 学 博 士	関 秀 廣
24. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	川 又 憲 伯
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	根 城 安

土 木 工 学 科

主任教授

昭51. 4. 1	昭54. 3. 31		佐 藤 健 吉
54. 4. 1	55. 3. 31		佐 藤 源 藏
55. 4. 1	61. 3. 31		佐 藤 健 吉
61. 4. 1	平 4. 3. 31	工 学 博 士	川 島 俊 夫
平 4. 4. 1	5. 3. 31	工 学 博 士	佐 藤 敦 久

土 木 工 学 科 長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31	工 学 博 士	佐 藤 敦 久
9. 4. 1	11. 3. 31	工 学 博 士	須 田 征 美
11. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美

環 境 建 設 工 学 科 長

平13. 4. 1	平17. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
17. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	福 士 一
19. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一

建 築 工 学 科

主任教授

昭51. 4. 1	昭56. 3. 31		二 宮 太 平
56. 4. 1	平 2. 3. 31	工 学 博 士	佐々木 嘉 彦
平 2. 4. 1	5. 3. 31	工 学 博 士	内 山 和 夫

建 築 工 学 科 長

平 5. 4. 1	平15. 3. 31	工 学 博 士	渡 邊 正 朋
-----------	------------	---------	---------

平15. 4. 1	平18. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
18. 4. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	滝 田 貢
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一
25. 4. 1	27. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴 弘

土木建築工学科長

平21. 4. 1	平23. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一
25. 4. 1	令 4. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴 弘

エネルギー工学科 主任教授

昭57. 4. 1	昭58. 1. 31		淵 澤 定 敏
58. 2. 1	平 2. 3. 31	工 学 博 士	田 原 浩 一
平 2. 4. 1	5. 3. 31	工 学 博 士	梅 森 肅

エネルギー工学科長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
9. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	伊 藤 幸 雄
13. 4. 1	17. 3. 31	博士(工学)	岡 村 隆 成

システム情報工学科長

平11. 4. 1	平13. 3. 31	工 学 博 士	松 坂 知 行
13. 4. 1	17. 3. 31	工 学 博 士	苦 米 地 宣 裕
17. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	栗 原 伸 夫
25. 4. 1	令 4. 3. 31	博士(工学)	武 山 泰

生物環境化学工学科長

平14. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	岡 村 隆 成
19. 4. 1	21. 3. 31	工 学 博 士	伊 藤 幸 雄

バイオ環境工学科長

平21. 4. 1	平23. 3. 31	工 学 博 士	伊 藤 幸 雄
23. 4. 1	28. 3. 31	農 学 博 士	若 生 豊
28. 4. 1	30. 3. 31	博士(理学)	小 比 類 卷 孝 幸

生命環境科学科長

平30. 4. 1	令 3. 3. 31	博士(工学)	鶴 田 猛 彦
令 3. 4. 1	4. 3. 31	博士(水産学)	藤 田 敏 明

工学科長 (MEI)

令 4. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	武 山 泰
5. 4. 1	8. 3. 31	博士(工学)	石 山 武

学科長補佐 (M)

令 4. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	佐 藤 学
5. 4. 1	8. 3. 31	博士(工学)	太 田 勝

学科長補佐 (L)			
令 4. 4. 1	令 6. 3. 31	博士(水産学)	藤 田 敏 明
学科長補佐 (D)			
令 4. 4. 1	令 6. 3. 31	博士(工学)	加 藤 雅 也
6. 4. 1	7. 3. 31	博士(工学)	高 瀬 慎 介
感性デザイン学科長			
平17. 4. 1	平18. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
18. 4. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	長 谷 川 明
20. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	坂 本 禎 智
28. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	小 嶋 高 良
29. 4. 1	30. 3. 31	博士(文学)	小 高 橋 史 朗
令 4. 4. 1	令 7. 3. 31	博士(芸術)	高 屋 喜 久 子
創生デザイン学科長			
平30. 4. 1	令 3. 3. 31	博士(文学)	高 橋 史 朗
令 3. 4. 1	4. 3. 31	博士(芸術)	高 屋 喜 久 子
一般教育部長			
昭48. 4. 1	昭52. 3. 31		沢 口 剛 雄
52. 4. 1	54. 8. 31		内 川 健 吾
54. 9. 1 (代行)	55. 3. 31		船 山 良 三
55. 4. 1	56. 3. 31	理 学 博 士	伊 達 蕙
56. 4. 1	62. 3. 31	理 学 修 士	本 間 健 祐
62. 4. 1	平 6. 3. 31	工 学 博 士	能 登 文 敏
総合教育センター長			
平 6. 4. 1	平 9. 3. 31	工 学 博 士	杉 田 慶 一 郎
9. 4. 1	13. 3. 31	理 学 博 士	田 中 昇
13. 4. 1	17. 3. 31	工 学 博 士	村 中 健
基礎教育研究センター長			
平19. 5. 1	平20. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
20. 4. 1	23. 3. 31	工 学 博 士	福 士 憲 一
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
25. 4. 1	30. 3. 31	博士(工学)	鈴 木 寛
30. 4. 1	令 4. 3. 31	博士(工学)	川 本 清
令 4. 4. 1	5. 3. 31	修士(教育学)	佐 藤 昭 雄
5. 4. 1	8. 3. 31	博士(工学)	佐 々 木 崇 徳
一般教育部副部長			
昭52. 9. 1	昭54. 8. 31		船 山 良 三
食品工学研究所長			
昭63. 4. 1	平 6. 3. 31	工 学 博 士	槌 川 武 男
平 6. 4. 1	7. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 裕 男
7. 4. 1	11. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也

平11. 4. 1 13. 4. 1	平13. 3. 31 14. 3. 31	理 学 博 士 博士(工学)	田 中 岡 村	昇 隆 成
情報システム工学研究所長				
昭63. 4. 1	平13. 3. 31	工 学 博 士	松 坂	知 行
構造工学研究所長				
平 5. 4. 1 9. 4. 1 11. 4. 1	平 9. 3. 31 11. 3. 31 14. 3. 31	工 学 博 士 工 学 博 士 工 学 博 士	佐 藤 須 田 庄 谷	敦 久 征 熙 美
異分野融合科学研究所長				
平13. 4. 1 17. 4. 1 18. 4. 1 19. 4. 1	平17. 3. 31 18. 3. 31 19. 3. 31 22. 4. 21	工 学 博 士 工 学 博 士 博士(工学) 工 学 博 士	村 中 庄 谷 岡 村 阿 部	健 征 美 隆 成 勝 憲
エネルギー環境システム研究所長				
平22. 4. 22	平27. 3. 31	工 学 博 士	阿 部	勝 憲
地域産業総合研究所長				
平27. 4. 1 令 2. 4. 1	令 2. 3. 31 7. 3. 31	工 学 博 士 博士(工学)	四 竈 金 子	樹 男 賢 治
学 務 部 長				
昭48. 4. 1 49. 9. 1 54. 4. 1 56. 4. 1 平18. 4. 1 19. 4. 1 25. 4. 1 28. 4. 1 令 2. 4. 1	昭49. 8. 31 54. 3. 31 56. 3. 31 61. 3. 31 平19. 3. 31 25. 3. 31 28. 3. 31 令 2. 3. 31 6. 3. 31	理 学 博 士 工 学 博 士 工 学 博 士 工 学 博 士 工 学 博 士 工 学 博 士 博士(工学)	加 畑 川 守 佐 藤 伊 達 藤 田 福 士 大 黒 坂 本 阿 波	信 一 孝 吉 健 蕙 成 隆 憲 一 正 敏 禎 智 稔
学 務 部 次 長				
昭48. 4. 1 55. 4. 2 平18. 4. 1 18. 4. 1 18. 4. 1 19. 4. 1 19. 4. 1 20. 4. 1 23. 4. 1 24. 4. 1 23. 4. 1 30. 4. 1	昭49. 8. 31 59. 3. 31 平19. 2. 28 19. 3. 31 19. 3. 31 20. 3. 31 23. 3. 31 23. 3. 31 24. 3. 31 25. 3. 31 28. 3. 31 31. 3. 31	博士(工学) 工 学 博 士 博士(工学) 農 学 博 士 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(工学) 博士(情報工学)	武 内 高 橋 福 原 関 野 大 木 鈴 生 若 竹 川 内 竹 又 藤 岡 村 元	平 八 郎 久 太 郎 長 寿 秀 廣 裕 司 貴 寛 貴 豊 与 弘 正 憲 弘 周 彦

平25. 4. 1	令 2. 3. 31	博士(工学)	阿	波		稔
28. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)	小	玉	成	人
令 2. 4. 20	3. 3. 31	博士(理学)	小	久保		温
3. 4. 1	5. 3. 31	博士(工学)	佐々木		崇	徳
4. 4. 1 (学生支援担当)	5. 3. 31		笹	田	公	烈
5. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)	工	藤	祐	嗣
2. 4. 1	6. 3. 31		栗	橋	秀	行

学 生 部 長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31	理 学 博 士	金	塚	文	哉
61. 4. 1	平 4. 3. 31	理 学 博 士	伊	達		蕙
平 4. 4. 1	11. 3. 31	工 学 博 士	庄	谷	征	美
11. 4. 1	12. 3. 31	理 学 博 士	清	野	大	樹
12. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	大	内	清	行
13. 4. 1	17. 3. 31	工 学 博 士	栗	原	伸	夫
17. 4. 1	18. 3. 31	博士(工学)	野	田	英	彦

学 生 部 次 長

平 2. 9. 1	平 4. 3. 31	工 学 博 士	庄	谷	征	美
7. 4. 1	9. 3. 31	理 学 博 士	田	中		昇
9. 4. 1	11. 3. 31	理 学 博 士	清	野	大	樹
11. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	藤	田	成	隆
12. 4. 1	15. 3. 31		池	田	政	勝
13. 4. 1 (学生指導担当)	17. 3. 31	博士(工学)	橋	本	典	久
13. 4. 1 (就職開拓担当)	18. 3. 31	工 学 博 士	宮	川		孝

教 務 部 長

昭47. 4. 1	昭48. 3. 31		長	沢	隆	次
61. 4. 1	平 6. 3. 31	工 学 博 士	槌	川	武	男
平 6. 4. 1	11. 3. 31	工 学 博 士	松	坂	知	行
11. 4. 1	12. 3. 31	工 学 博 士	大	内	清	行
12. 4. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	長	谷 川		明

教 務 部 次 長

平元. 4. 1	平 5. 3. 31	工 学 博 士	鈴	木	幸	三
5. 4. 1	7. 3. 31	理 学 博 士	田	中		昇
7. 4. 1	11. 3. 31	工 学 博 士	大	内	清	行
11. 4. 1	18. 3. 31		桃	井	龍	慈
11. 4. 1	12. 3. 31	工 学 博 士	長	谷 川		明
12. 4. 1	14. 3. 31	工 学 博 士	関		秀	廣
14. 4. 1 (教務担当)	15. 9. 30	工 学 博 士	齋	藤	正	博
11. 4. 1 (学生募集担当)	18. 3. 31		桃	井	龍	慈
15. 10. 1 (教務担当)	18. 3. 31	工 学 博 士	佐	藤	正	毅
15. 4. 1	18. 3. 31		大	野	裕	司

教育・学生支援部長

令 6. 4. 1	令 7. 3. 31	博士(工学)	阿	波		稔
-----------	------------	--------	---	---	--	---

教育・学生支援推進監

令 6. 4. 1	令 7. 3. 31	博士(水産学)	藤 田 敏 明
6. 4. 1	7. 8. 31	博士(映像)	東 方 悠 平

教育・学生支援部次長

令 6. 4. 1	令 7. 3. 31		栗 橋 秀 行
-----------	------------	--	---------

国際交流・留学生支援センター長

令 6. 4. 1	令 7. 8. 31	博士(映像)	東 方 悠 平
-----------	------------	--------	---------

入 試 部 長

平18. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	熊 谷 浩 二
19. 4. 1	22. 3. 31	博士(工学)	野 田 英 彦
22. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	齋 藤 正 博
25. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	関 秀 廣
28. 4. 1	令 2. 3. 31	博士(工学)	野 田 英 彦

入 試 部 次 長

平18. 4. 1	平19. 3. 31	博士(工学)	鈴 木 寛
19. 4. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	大 黒 正 敏
18. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	月 永 洋 一
20. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	鈴 木 寛
23. 4. 1	24. 3. 31	博士(工学)	竹 内 貴 弘
24. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	小 林 正 樹
25. 4. 1	27. 3. 31	博士(理学)	小 比 類 卷 孝 幸
27. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	鶴 田 猛 彦
平24. 4. 1	令 2. 3. 31	博士(工学)	信 山 克 義
28. 4. 1	2. 3. 31	博士(工学)	宮 腰 直 幸
31. 4. 1	2. 3. 31	博士(工学)	高 橋 晋
令 2. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)	鈴 木 寛
2. 4. 1	6. 3. 31		浅 川 拓 克
5. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)	高 瀬 慎 介

大学改革室長

平 4. 3. 1	平 7. 3. 31	工 学 博 士	川 島 俊 夫
7. 4. 1	11. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
11. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士	須 田 瀬 郎
13. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	増 田 陽 一
19. 4. 1 (事務取扱)	19. 4. 30	工 学 博 士	藤 田 成 隆

大学改革室次長

平15. 4. 1	平19. 4. 30		池 田 政 勝
-----------	------------	--	---------

教育研究戦略室長

平17. 4. 1	平18. 3. 31	工 学 博 士	庄 谷 征 美
18. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	藤 田 成 隆
19. 4. 1 (事務取扱)	19. 4. 30	工 学 博 士	藤 田 成 隆

教育研究戦略室次長			
平18. 4. 1	平19. 3. 31	工 学 博 士	関 秀 廣
図 書 館 長			
昭47. 4. 1	昭48. 3. 31		岡 本 堅 次
48. 4. 1	51. 3. 31		川 守 田 孝 吉
51. 4. 1	52. 3. 31		友 兼 平 八 郎
52. 4. 1	54. 3. 31		武 内 達 三 郎
54. 4. 1	55. 3. 31	理 学 博 士	伊 山 良 惠
55. 4. 1	59. 3. 31		船 山 久 太 郎
59. 4. 1	平 4. 3. 31		高 橋 俊 一 郎
平 4. 4. 1	7. 3. 31	工 学 博 士	川 杉 慶 昇
7. 4. 1	9. 3. 31	工 学 博 士	田 中 賀 拓 也
9. 4. 1	11. 3. 31	理 学 博 士	加 野 大 樹 彦
11. 4. 1	12. 3. 31	博士(工学)	清 野 英 秀 廣
12. 4. 1	18. 3. 31	理 学 博 士	齋 藤 正 博 彦
18. 4. 1	19. 3. 31	博士(工学)	野 田 英 浩 二
19. 4. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	関 齋 藤 木 寛
20. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士	野 田 谷 本 清
22. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	熊 鈴 木 寛
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	鈴 川 本 清
25. 4. 1	30. 3. 31	博士(工学)	
30. 4. 1	令 4. 3. 31	博士(工学)	
令 4. 4. 1	8. 3. 31	博士(工学)	
図 書 館 次 長			
昭49. 9. 1	昭51. 3. 31		船 山 良 三
平13. 4. 1	平17. 3. 31	工 学 博 士	福 士 憲 一
17. 4. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	小 野 繁 陽
18. 4. 1	21. 3. 31	文 学 修 士	小 林 吉 泰
21. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	武 山 木 寛
23. 4. 1	25. 3. 31	博士(工学)	鈴 木
工 作 工 場 長			
昭48. 10. 1	昭50. 7. 31		加 畑 信 一
50. 8. 1	53. 3. 31		友 兼 唯 泰
53. 4. 1	55. 3. 31		赤 沢 年 一
55. 4. 1	57. 3. 31	工 学 博 士	小 松 崎 雄 次
57. 4. 1	58. 3. 31	工 学 修 士	小 山 戸 曉
58. 4. 1	60. 3. 31	工 学 博 士	三 萱 場 雄 三
60. 4. 1	平 3. 3. 31	工 学 博 士	鈴 高 幸 三
平 3. 4. 1	6. 3. 31	工 学 博 士	齋 藤 正 博
工作技術センター所長			
平 6. 4. 1	平 7. 3. 31	工 学 博 士	鈴 木 幸 三
7. 4. 1	9. 3. 31	工 学 博 士	高 橋 燦 吉
9. 4. 1	15. 9. 30	博士(工学)	加 賀 拓 也
15. 10. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	齋 藤 正 博

平20. 4. 1	平25. 3. 31	工 学 博 士	大	黒	正	敏
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	野	田	英	彦
28. 4. 1	30. 3. 31	工 学 博 士	大	黒	正	敏
30. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	佐	藤		学
企 画 室 長						
昭54. 4. 1	平元. 3. 31	工 学 博 士	増	田	陽	一 郎
事 務 部 長						
昭50. 4. 1	昭63. 3. 31		野	坂	博	也
63. 4. 1	平 9. 3. 31		及	川	富	司
平 9. 4. 1 (代理)	11. 3. 31		福	井	俊	夫
11. 4. 1	23. 3. 31		福	井	俊	夫
23. 4. 1	24. 3. 31		大	野	裕	司
24. 4. 1	28. 3. 31		工	藤	利	治
29. 4. 1	31. 3. 31		松	坂	博	行
31. 4. 1	令 3. 3. 31		村	元	正	彦
令 3. 4. 1 (代行)	5. 3. 31		大	野	和	弘
5. 4. 1	6. 3. 31					
事 務 部 次 長						
平28. 4. 1	平29. 3. 31		松	坂	博	行
30. 4. 1	31. 3. 31		村	元	正	彦
31. 4. 1	令 3. 3. 31		得	丸	雅	夫
令 3. 4. 1	5. 3. 31		大	野	和	弘
社会連携・学術推進室長						
平19. 5. 1	平22. 3. 31	工 学 博 士	藤	田	成	隆
22. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	関		秀	廣
25. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	熊	谷	浩	二
28. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	石	山	俊	彦
29. 4. 1	30. 3. 31	工 学 博 士	福	士	憲	一
30. 4. 1	令 6. 3. 31	博士(工学)	金	子	賢	治
社会連携・研究推進部長						
令 6. 4. 1	令 7. 3. 31	博士(工学)	金	子	賢	治
社会連携・学術推進室次長						
平19. 5. 1	平21. 3. 31		池	田	政	勝
22. 4. 1	23. 3. 31	博士(工学)	川	又		憲
23. 4. 1	27. 3. 31	博士(工学)	佐	藤		学
27. 4. 1	28. 3. 31	博士(工学)	石	山	俊	彦
28. 4. 1	令 2. 3. 31	博士(工学)	高	橋		晋
31. 4. 1	5. 3. 31	博士(工学)	太	田		勝
令 2. 4. 1	4. 3. 31	博士(農学)	星	野		保
3. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)	鈴	木		寛
3. 4. 1	6. 3. 31		大	野	和	弘
4. 4. 1	6. 3. 31	博士(スポーツ科学)	大	室	康	平

令 5. 4. 1	令 6. 3. 31	博士(美術)	皆 川 俊 平
社会連携・研究推進監			
令 6. 4. 1	令 8. 3. 31	博士(美術)	皆 川 俊 平
6. 4. 1	8. 3. 31	博士(スポーツ科学)	大 室 康 平
庶 務 課 長			
昭47. 4. 1	昭50. 3. 31		近 藤 宏
50. 4. 1	54. 3. 31		野 坂 博 也
54. 4. 1	57. 3. 31		角 田 健 透
57. 4. 1	62. 3. 31		柳 谷 夫 子
62. 4. 1	平 5. 3. 31		福 井 俊 恵 紗
平 5. 4. 1	7. 3. 31		日 下 部 政 裕 富
7. 4. 1	9. 3. 31		池 田 中 本
9. 4. 1	14. 3. 31		西 山
14. 4. 1	21. 3. 31		
学 事 課 長			
平21. 4. 1	平22. 3. 31		山 本 富 男
22. 4. 1	23. 3. 31		佐 々 木 宏 司
23. 4. 1	24. 3. 31		大 野 裕 信
24. 4. 1 (代行)	25. 3. 31		青 井 和 弘
25. 4. 1	26. 3. 31		大 野 丸 夫 行 彦
26. 4. 1	28. 3. 31		得 丸 坂 元
28. 4. 1	30. 3. 31		松 村
30. 4. 1	令 3. 3. 31		
会 計 課 長			
昭48. 4. 1	昭50. 3. 31		角 田 健
54. 4. 1	58. 3. 31		角 田 健 夫
58. 4. 1	62. 3. 31		福 井 俊 裕 司
62. 4. 1	平 4. 3. 31		大 泉 山 幸 博 治 夫 宏 子
平 4. 4. 1	9. 3. 31		工 藤 利 沖
9. 4. 1	12. 3. 31		長 藤 本 由 美
12. 4. 1	17. 3. 31		佐 々 木 本
17. 4. 1	19. 3. 31		橋 本
19. 4. 1	21. 3. 31		
施 設 課 長			
昭49. 4. 1	平 9. 3. 31		苦 米 地 正 己
平 9. 4. 1	21. 3. 31		大 塚 哲
教 務 課 長			
昭47. 4. 1	昭50. 3. 31	経済学修士	福 田 直
50. 4. 1	55. 3. 31		佐 々 木 一 人 己 義 司
55. 4. 1	62. 3. 31		苦 米 地 藤 野
62. 4. 1	平 4. 3. 31		佐 大
平 4. 4. 1	9. 3. 31		

平 9. 4. 1	平14. 3. 31
14. 4. 1	19. 3. 31
19. 4. 1	22. 3. 31
22. 4. 1	23. 3. 31
23. 4. 1	31. 3. 31
31. 4. 1	令 3. 3. 31

学務部課長（教務担当）

令 3. 4. 1	令 6. 3. 31
-----------	------------

教務・学生支援チーム課長

令 6. 4. 1	令 7. 3. 31
-----------	------------

入 試 課 長

平 5. 4. 1	平 9. 3. 31
9. 4. 1	12. 3. 31
12. 4. 1	17. 3. 31
17. 4. 1	19. 3. 31
19. 4. 1	28. 3. 31
28. 4. 1	31. 3. 31
31. 4. 1	令 3. 3. 31
令 3. 4. 1	6. 3. 31

入試部入試チーム課長

令 6. 4. 1	令 7. 3. 31
-----------	------------

学 生 課 長

昭47. 4. 1	昭50. 3. 31
50. 4. 1	55. 3. 31
55. 4. 1	62. 3. 31
62. 4. 1	平 9. 3. 31
平 9. 4. 1	12. 3. 31
12. 4. 1	17. 3. 31
17. 4. 1	19. 3. 31
19. 4. 1	21. 3. 31
21. 4. 1	22. 3. 31
22. 4. 1	23. 3. 31
23. 4. 1	26. 3. 31
26. 4. 1（代行）	28. 3. 31
28. 4. 1	令 3. 3. 31

学務部課長（学生支援担当）

令 3. 4. 1	令 5. 3. 31
5. 4. 1	6. 3. 31

就 職 課 長

昭49. 8. 15	昭63. 3. 31
63. 4. 1	平 5. 3. 31

山	本	富	男
大	野	裕	司
工	藤	利	治
山	本	富	男
奥		正	克
栗	橋	秀	行

栗	橋	秀	行
---	---	---	---

蛭	名	恵	利
		子	

福	井	俊	夫
佐	木		宏
工	藤	利	治
長	浜	沖	夫
松	坂	博	行
竹	本	成	喜
蛭	名	昭	人
奥		正	克

奥		正	克
---	--	---	---

佐	々	木	一	人
苦	米	地	正	己
佐		藤	忠	義
大		塚		哲
池		田	政	勝
佐	々	木	利	宏
工		藤		治
高		坂	利	茂
工		藤	富	治
山		本	秀	男
栗		橋	公	行
笹		田	公	烈
笹		田		烈

笹	田	公	烈
栗	橋	秀	行

及	川	富	司
日	下	紗	恵
	部	子	

平 5. 4. 1	平 8. 3. 31
8. 4. 1	9. 3. 31
9. 4. 1	11. 3. 31
11. 4. 1	15. 3. 31
15. 4. 1	19. 3. 31
19. 4. 1	22. 3. 31
22. 4. 1	24. 3. 31
24. 4. 1	25. 3. 31
25. 4. 1	31. 3. 31
31. 4. 1	令 3. 3. 31

学務部課長（就職支援担当）

令 3. 4. 1	令 6. 3. 31
-----------	------------

キャリア支援チーム課長

令 6. 4. 1	令 7. 3. 31
-----------	------------

大学改革室課長

平15. 4. 1	平16. 3. 31
16. 4. 1	19. 4. 30

社会連携学術推進室課長

平19. 5. 1	平21. 3. 31
21. 4. 1	28. 3. 31
28. 4. 1	令 3. 3. 31

図書館館長補佐

平 7. 4. 1	平10. 3. 31
-----------	------------

図書館事務長

昭62. 4. 1	平17. 3. 31
-----------	------------

図書館・情報事務室事務長

平19. 4. 1	平22. 3. 31
22. 4. 1（代行）	24. 3. 31
24. 4. 1	26. 3. 31
26. 4. 1（代行）	30. 3. 31
30. 4. 1	31. 3. 31
31. 4. 1	令 3. 3. 31
令 3. 4. 1（代行）	5. 3. 31

工作工場副工場長

昭47. 7. 21	昭60. 1. 9
60. 4. 1	平元. 9. 30

大倉	塚内		哲
池	田	貞	春
小	西	政	勝
高	坂	孝	則
佐々木			茂
橋本		由美	宏
佐々木			子
栗	橋	秀	宏
立	花	桂	行
			子

立	花	桂	子
---	---	---	---

立	花	桂	子
---	---	---	---

小	西	孝	則
池	田	政	勝

池	田	政	勝
大	野	和	弘
得	丸	雅	夫

高	松	清	治
---	---	---	---

田	名	部	正
			哉

小	西	孝	則
得	丸	雅	夫
得	丸	雅	夫
青	井	信	達
得	丸	雅	夫
奥		正	克
谷	津	昌	樹

武	藤	忠	夫
佐	藤	和	夫

2 退任・転任教員（教授・助教授・准教授・講師）

(採 用)	(退任・転任)	(学 位)	(氏 名)
大 学 院	特 任 教 授		
平16. 4. 1	平18. 3. 31	工 学 博 士	須 田 瀬
17. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	豊 田 淳 一
機 械 工 学 科			
昭47. 4. 1	昭51. 3. 31		平 賀 広 一
47. 4. 1	52. 3. 31		塩 谷 喜 久 男
52. 4. 1	59. 3. 31		岩 谷 津 功
54. 8. 1	平 2. 3. 31		宗 重 雄
57. 4. 2	3. 3. 31	工 学 博 士	三 戸 曉
59. 4. 2	3. 3. 31	工 学 博 士	萱 場 孝 雄
49. 4. 1	5. 3. 31	工 学 博 士	前 森 健 一 男
60. 5. 1	6. 3. 31	工 学 博 士	槌 川 武 三 次 夫
平元. 4. 1	8. 3. 31	工 学 博 士	鈴 木 幸 賢
4. 4. 1	8. 3. 31		三 ヶ 田 二 治 男
9. 4. 1	10. 3. 31	工 学 博 士	藤 澤 裕
5. 5. 1	11. 3. 31	理 学 博 士	鎌 田 橋
3. 4. 1	11. 12. 31	工 学 博 士	高 橋 裕
機械情報技術学科			
昭53. 4. 1	平14. 3. 31	博士(工学)	木 村 克 彦
49. 4. 1	16. 3. 31	博士(工学)	加 賀 拓 也
平 3. 5. 1	18. 3. 31	工 学 博 士	菅 原 章
12. 4. 1	19. 3. 31	工 学 博 士	小 野 陽
昭51. 4. 15	21. 3. 31	工 学 博 士	宮 川 孝 雄
平 3. 5. 1	23. 3. 31	工 学 博 士	佐 藤 松 清
4. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	大 内 行 美
15. 4. 1	25. 3. 31	工 学 博 士	松 崎 晴 正
12. 4. 1	29. 3. 31	工 学 博 士	齋 藤 博
産業機械工学科			
昭47. 4. 1	昭50. 7. 31		加 畑 信 一
50. 4. 2	53. 3. 31		友 兼 泰 郎
47. 4. 1	54. 7. 4		武 内 平 八
48. 4. 1	55. 3. 31		真 柳 義 行
48. 5. 1	58. 3. 31		赤 澤 唯 一
電 気 工 学 科			
昭48. 4. 1	昭52. 11. 24		入 江 泰
48. 4. 1	56. 3. 31		川 守 田 孝 吉
51. 4. 1	平 3. 3. 31	工 学 博 士	戸 村 文 夫
57. 4. 1	5. 3. 31	工 学 博 士	大 村 知 夫
56. 4. 1	8. 3. 31	工 学 博 士	志 満 嘉 夫

電気電子工学科		教	授				
平 7. 4. 1		平13.	3. 31	工 学 博 士		鹿 野	哲 生
6. 4. 1		13.	3. 31	工 学 博 士		菅 原	一 實
昭47. 4. 1		14.	3. 31			佐々木	人
電子知能システム学科		教	授				
昭51. 4. 1		平15.	8. 31	工 学 博 士		十 文 字	正 憲
平10. 4. 1		17.	3. 31	工 学 博 士		豊 田	一 淳
昭47. 4. 1		19.	3. 31	工 学 博 士		増 田	陽 一 郎
47. 4. 1		22.	3. 31	工 学 博 士		小 松 崎	年 雄
電気電子システム学科		教	授				
昭48. 4. 1		平23.	3. 31	工 学 博 士		佐 藤	正 毅
平 4. 4. 1		25.	3. 31	博士(工学)		川 又	憲 一
24. 4. 1		26.	3. 31	工 学 博 士		濱 島	高 太 郎
昭52. 4. 1		30.	3. 31	博士(工学)		根 城	安 伯
土 木 工 学 科		教	授				
昭51. 4. 2		昭55.	10. 31			佐 藤	源 藏
53. 4. 1		60.	3. 31			福 井	平 之 丞
48. 6. 1		61.	3. 31			佐 藤	健 吉
61. 4. 1		平 9.	8. 22	工 学 博 士		川 島	俊 夫
平 4. 4. 1		12.	3. 31	工 学 博 士		佐 藤	敦 久
昭53. 4. 1		12.	3. 31	博士(工学)		佐 藤	米 司
55. 4. 1		13.	3. 31	理 学 博 士		成 田	小 二 郎
51. 4. 1		13.	3. 31	工 学 博 士		諸 戸	靖 史
環境建設工学科		教	授				
平 9. 4. 1		平16.	3. 31	工 学 博 士		須 田	瀬 士
昭52. 4. 1		17.	3. 31	博士(工学)		杉 田	修 一
48. 4. 1		20.	3. 31	理 学 博 士		田 中	昇
47. 4. 1		21.	3. 31	理 学 博 士		坂 尻	直 巳
建 築 工 学 科		教	授				
昭51. 10. 1		昭52.	3. 31	工 学 博 士		高 橋	武 雄
54. 4. 1		57.	3. 31			久 慈	次 男
51. 4. 1		59.	3. 31			二 宮	平 彦
55. 4. 2		平 2.	3. 31	工 学 博 士		佐々木	嘉 彦
54. 4. 2		3.	3. 31			和 田	真 言
54. 5. 1		4.	9. 15			和 山	文 彦
61. 4. 1		6.	3. 31	工 学 博 士		内 山	敬 夫
53. 4. 2		17.	3. 31	工 学 博 士		伊 藤	敬 一
平 6. 4. 1		17.	3. 31	工 学 博 士		坂 本	磐 雄
昭51. 4. 1		17.	9. 15	工 学 修 士		高 島	成 侑
52. 4. 1		20.	3. 31	工 学 博 士		渡 邊	正 朋
土木建築工学科		教	授				
昭59. 4. 1		平22.	6. 1	工 学 博 士		庄 谷	征 美

昭52. 5. 1	平24. 3. 31	工 学 博 士	毛 桃	呂 井	眞 慈
平14. 4. 1	24. 3. 31		陳 月	龍 沛	山 栄
18. 4. 1	26. 3. 31	博士(工学)	橋 本	敏 典	久 二
昭52. 4. 1	28. 3. 31	工 学 博 士	熊 佐	浩 幹	夫 貢
平 9. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	々 木		
11. 4. 1	30. 3. 31	博士(工学)	田		
昭53. 4. 1	令 2. 3. 31	工 学 博 士	滝		
59. 4. 1	4. 3. 31	工 学 博 士			

エネルギー工学科

	教 授				
昭57. 10. 1	平 2. 3. 31	工 学 博 士	江 田	草 原	龍 浩
57. 5. 1	4. 3. 31	工 学 博 士	張 岩	谷 屋	正 高
58. 10. 1	9. 3. 31	工 学 博 士	土 杉	田 戸	一 郎
平 3. 4. 1	9. 3. 31	工 学 博 士	平 梅	森 間	敬 慶
10. 4. 1	11. 9. 15	博士(工学)	本		瑞 健
5. 4. 1	12. 3. 31	工 学 博 士			
6. 4. 1	13. 3. 31	工 学 博 士			
昭61. 4. 1	14. 3. 31	工 学 博 士			
54. 4. 2	14. 3. 31	理 学 修 士			

システム情報工学科

	教 授				
平10. 4. 1	平15. 3. 31	理 学 博 士	奈 内	良 山	久 夫
昭57. 4. 1	17. 3. 31	工 学 博 士	松 尾	坂 崎	行 弘
47. 4. 1	20. 3. 31	工 学 博 士	清 米	野 地	樹 裕
48. 4. 1	20. 3. 31	理 学 修 士	栗 高	原 橋	大 宣
51. 4. 15	21. 3. 31	理 学 博 士			伸 良
49. 4. 1	22. 3. 31	工 学 博 士			
平10. 4. 1	29. 3. 31	工 学 博 士			
14. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)			

生物環境化学工学科

	教 授				
昭52. 4. 1	平15. 9. 11	理 学 博 士	大 奥	西 田	誠 一
63. 4. 1	17. 3. 31	農 学 博 士	福 竹	原 園	慎 長
平 9. 4. 1	19. 2. 28	博士(工学)	小 山	山 信	洋 子
昭47. 4. 1	20. 3. 31	文 学 修 士			
48. 4. 1	21. 3. 31	博士(工学)			

バイオ環境工学科

	教 授				
平12. 4. 1	平22. 3. 31	博士(工学)	岡 伊	村 藤	隆 幸
3. 4. 1	24. 3. 31	工 学 博 士	貝 青	守 木	秀 敏
3. 4. 1	25. 3. 31	農 学 博 士	村 中	卷 孝	健 幸
昭53. 4. 1	26. 3. 31	工 学 博 士	小 比		
61. 4. 1	26. 3. 31	工 学 博 士			
平元. 4. 1	30. 3. 31	博士(理学)			

生命環境科学科

	教 授				
昭63. 4. 1	平31. 3. 31	農 学 博 士	若 西	生 村	豊 子
平26. 4. 1	31. 3. 31	博士(農学)			

工 学 科		教 授					
〔工学科 機電・情報工学系〕							
昭59. 4. 1	令 5. 3. 31	工 学 博 士	関 野	秀 英	廣 彦		
平10. 4. 1	5. 3. 31	博士(工学)	田 山	正	泰 敏		
16. 4. 1	6. 3. 31	博士(工学)	武 大	黒	正		
昭59. 4. 1	8. 3. 31	工 学 博 士	大	黒	正		
〔工学科 環境・建設工学系〕							
昭52. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	月	永	洋	一	
感性デザイン学科		教 授					
昭52. 4. 1	平20. 3. 31		澤 梅	田 津	絃 光	次 男	
52.10. 1	26. 3. 31	博士(工学)	大 津	津 嶋	正 高	道 良	
55. 4. 1	27. 3. 31	文 学 修 士	小 水	沼 橋	和 康	夫 造	
52. 4. 1	29. 3. 31	博士(工学)	高 田	村 谷	充 壽	治 一	
53. 4. 1	29. 3. 31	文 学 修 士	小 坂	藤 佐	昭	雄	
60. 4. 1	29. 3. 31	教育学修士	佐 藤	昭	昭	雄	
平22. 4. 1	29. 3. 31		小 坂	谷 藤	充 壽	治 一	
17. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	佐 藤	昭	昭	雄	
令 3. 4. 1	8. 3. 31	修士(教育学)	佐 藤	昭	昭	雄	
一 般 教 育 部		教 授					
昭47. 4. 1	昭47. 9. 30	文 学 博 士	野 岡	沢 本	静 堅	證 次	
47. 4. 1	48. 3. 31		岡 百	岡 沢	胤 隆	正 次	
47. 4. 1	52. 3. 31		長 金	塚 岡	文 雅	哉 雄	
47. 4. 1	53. 3. 31		横 小	倉 山	一 俊	衛 英	
47. 4. 1	53. 3. 31	理 学 博 士	鳥 内	川 川	健 忠	吾 郎	
48. 4. 1	53. 3. 31		古 澤	川 口	剛 良	雄 三	
47. 4. 1	53. 3. 31		船 岩	山 舘	良 広	忠 子	
47. 4. 1	53.11.16		川 大	上 木	美 津	実 太	
47. 4. 1	55. 3. 31		高 岡	橋 田	久 忠	郎 成	
49. 4. 1	55. 3. 31	文 学 博 士	能 登	登	文	敏	
48. 4. 1	56.12.31		能 登	登	文	敏	
49. 4. 1	59. 3. 31		能 登	登	文	敏	
50. 4. 2	60. 3. 31		能 登	登	文	敏	
49. 4. 1	60. 3. 31	文 学 修 士	能 登	登	文	敏	
47. 4. 1	63. 9. 30		能 登	登	文	敏	
55. 4. 2	平 4. 3. 31		能 登	登	文	敏	
47. 4. 1	5. 3. 31	理 学 博 士	能 登	登	文	敏	
62. 4. 1	6. 3. 31	工 学 博 士	能 登	登	文	敏	
総合教育センター		教 授					
昭55. 4. 1	平13. 3. 31	文 学 修 士	平 戸	山 田	玄 金	九 一	
平 8. 4. 1	13. 3. 31	教育学博士	福 勝	田 村	靖 邦	直 夫	
昭47. 4. 1	14. 3. 31	経済学修士	高 野	野	邦	夫	
47. 5.15	16. 3. 31		高 野	野	邦	夫	
平12. 4. 1	平16. 3. 31	教育学修士	高 野	野	邦	夫	

基礎教育研究センター		教 授			
昭48. 4. 1	平23. 3. 31	理学修士	目	修	三
52. 4. 1	26. 3. 31	文学修士	小	林	吉
63. 4. 1	29. 3. 31	文学修士	渡	辺	秀
平 3. 4. 1	31. 3. 31	博士(理学)	佐	野	朗
16. 4. 1	令 4. 3. 31	文学修士	松	浦	勉
昭55. 4. 1	5. 3. 31		山	本	忠
食品工学研究所		教 授			
昭52. 4. 2	平 9. 3. 31	理学博士	伊	達	蕙
異分野融合科学研究所		教 授			
平 6. 4. 1	平18. 3. 31	工学博士	塩	井	幸 武
地域産業総合研究所		教 授			
平10. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(工学)	野	田	英 彦
			(R.5.4.1~ R.6.3.31 特任教授)		
機 械 工 学 科		助 教 授			
昭48. 4. 1	昭62. 3. 31	工学博士	伊	藤	勝 悦
51. 4. 1	平 2. 3. 31	工学博士	小	林	道 明
機 械 工 学 科		准 教 授			
平26. 4. 1	令元. 9. 30	博士(工学)	武	藤	一 夫
機械情報技術学科		准 教 授			
平 2. 4. 1	平24. 3. 31	文学修士	町	屋	昌 明
電 気 工 学 科		助 教 授			
昭47. 4. 1	昭59. 3. 31	工学修士	葛	西	清 和
57. 4. 1	平 9. 3. 31	工学博士	太	田	悟
電子知能システム学科		准 教 授			
昭47. 4. 1	平21. 3. 31		横	地	弓 夫
土 木 工 学 科		助 教 授			
昭60. 4. 1	平 7. 3. 31	工学博士	飛	田	善 雄
52. 4. 1	8. 3. 31		岩	渕	清 行
59. 9. 1	10. 3. 31	工学博士	西	田	修 三
平 7. 4. 1	11. 3. 31	博士(工学)	楊		俊 傑
建 築 工 学 科		助 教 授			
昭55. 4. 1	平 8. 3. 31	工学博士	戸	部	栄 一
土木建築工学科		准 教 授			
平17. 4. 1	平25. 7. 31	博士(工学)	石	川	宏 之
29. 4. 1	令 3. 5. 28	博士(工学)	橋	詰	豊

エネルギー工学科	助 教 授			
昭58. 4. 1	昭63. 3. 31	理 学 博 士	鈴 木 健 訓	
システム情報工学科	助 教 授			
昭59. 5. 1	平14. 3. 31	理 学 修 士	大 黒 茂	
システム情報工学科	准 教 授			
平29. 4. 1	平31. 3. 31	博士(工学)	三 浦 雅 展	
バイオ環境工学科	准 教 授			
平13. 4. 1	平29. 3. 31	経済学修士	岩 村 満	
感性デザイン学科	准 教 授			
平20. 4. 1	平25. 9. 16		関 川 浩 志	
昭53. 4. 1	26. 3. 31	博士(工学)	木 村 昭 穂	
48. 4. 1	28. 3. 31		和 田 敬 世	
平30. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(農学)	後 藤 厚 子	
29. 4. 1	7. 8. 31	博士(映像)	東 方 悠 平	
工 学 科	准 教 授			
〔工学科 機電・情報工学系〕				
平19. 4. 1	令 7. 3. 31	博士(工学)	清 水 能 理	
〔工学科 環境・建設工学系〕				
令 2. 4. 1	令 6. 8. 31	博士(情報科学)	島 内 宏 和	
創生デザイン学科	准 教 授			
平25. 4. 1	令元. 9. 30	博士(工学)	横 溝 賢 彦	
28. 4. 1	2. 3. 31	博士(文学)	今 出 敏	
一 般 教 育 部	助 教 授			
昭47. 4. 1	昭51. 9. 30	理 学 博 士	小 幡 禎 佑	
47. 4. 1	56. 4. 30		齐 藤 太 治	
55. 4. 1	59. 3. 31	教育学修士	加 澤 恒 雄	
53. 4. 1	63. 3. 15		安 本 武 正	
55. 4. 1	63. 3. 31	文 学 修 士	渡 辺 洋 一	
54. 4. 1	63. 3. 31	理 学 修 士	中 川 清 和	
55. 4. 1	平 2. 3. 31	理 学 博 士	関 川 久 男	
63. 4. 1	5. 3. 31	文 学 修 士	松 岡 和 生	
60. 4. 1	6. 3. 31	文 学 修 士	藤 田 秀 樹	
総合教育センター	助 教 授			
昭51. 4. 1	平 7. 4. 19	文 学 修 士	大 下 由 宮 子	
基礎教育研究センター	准 教 授			
平 6. 4. 1	平22. 3. 31	文 学 修 士	高 橋 哲 徳	
昭48. 4. 1	28. 3. 31		和 田 敬 世	
平30. 4. 1	令 5. 3. 31	博士(理学)	土 屋 拓 也	
24. 4. 1	6. 3. 31	博士(文学)	岩 崎 真 梨 子	

異分野融合科学研究所	助 教 授		
昭52. 4. 1	平19. 3. 31	工 学 修 士	穂 山 和 男
機 械 工 学 科	講 師		
平21. 4. 1	平30. 9. 30	博士(工学)	藤 澤 隆 介
土 木 工 学 科	講 師		
昭51. 4. 1	昭59. 3. 31	工 学 修 士	高 野 芳 裕
環境建設工学科	講 師		
平12. 4. 1	平18. 3. 31	博士(工学)	佐 藤 久
土木建築工学科	講 師		
平元. 4. 1	平23. 3. 31		柄 本 和 吉
工 学 科	講 師		
〔工学科 環境・建設工学系〕			
平30. 4. 1	令 2. 4. 1	博士(生命システム科学)	片 山 裕 美
令 4. 4. 1	令 7. 3. 31	博士(工学)	野 口 巧 巳
感性デザイン学科	講 師		
平18. 4. 1	平24. 3. 31	博士(学術)	徐 明 仿
29. 4. 1	30. 3. 31	修士(公共政策学)	河 内 良 彰
一 般 教 育 部	講 師		
昭52. 4. 2	昭55. 3. 31	文 学 修 士	佐 藤 ち ゑ 子
54. 11. 1	55. 9. 27		ハロルド W. ハケット
52. 4. 1	58. 7. 31	文 学 修 士	岩 崎 光 洋
55. 4. 1	60. 3. 31	文 学 修 士	森 茂 利
63. 4. 1	平 2. 2. 28		呉 韻 珊
59. 4. 1	3. 3. 31	文 学 修 士	安 田 淳
総合教育センター	講 師		
平 4. 4. 1	平11. 3. 31	教育学修士	David Allen Riley
9. 4. 1	12. 3. 31		大 島 光 子
基礎教育研究センター	講 師		
平24. 4. 1	平29. 3. 31	Doctor of Philosophy	斎 藤 明 宏
29. 4. 1	令 3. 9. 30	博士(文学)	畠 山 研
異分野融合科学研究所	講 師		
昭63. 4. 1	平17. 9. 15	工 学 博 士	安 藤 浩 司

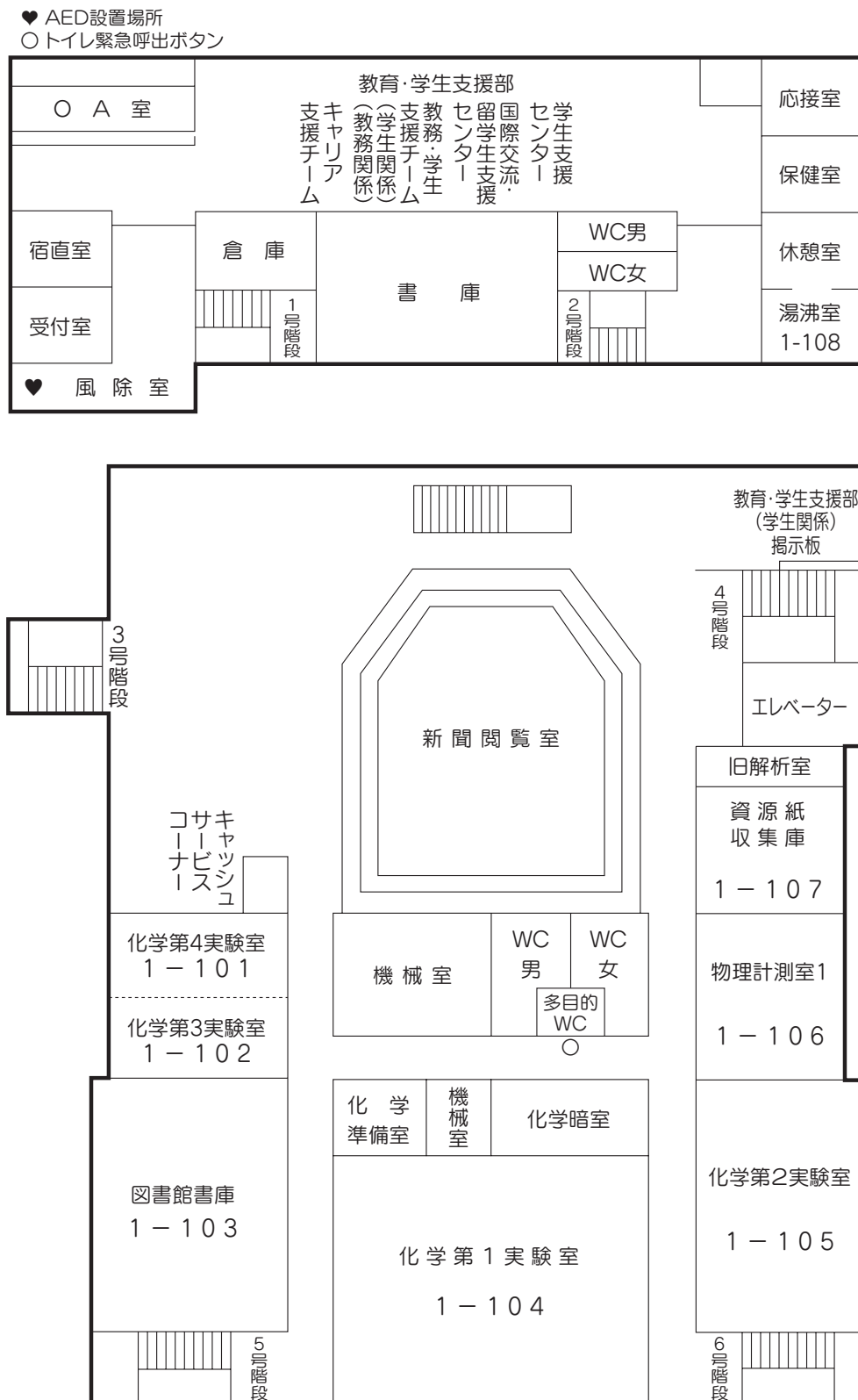
第17 校地・校舎

1 校地・校舎面積

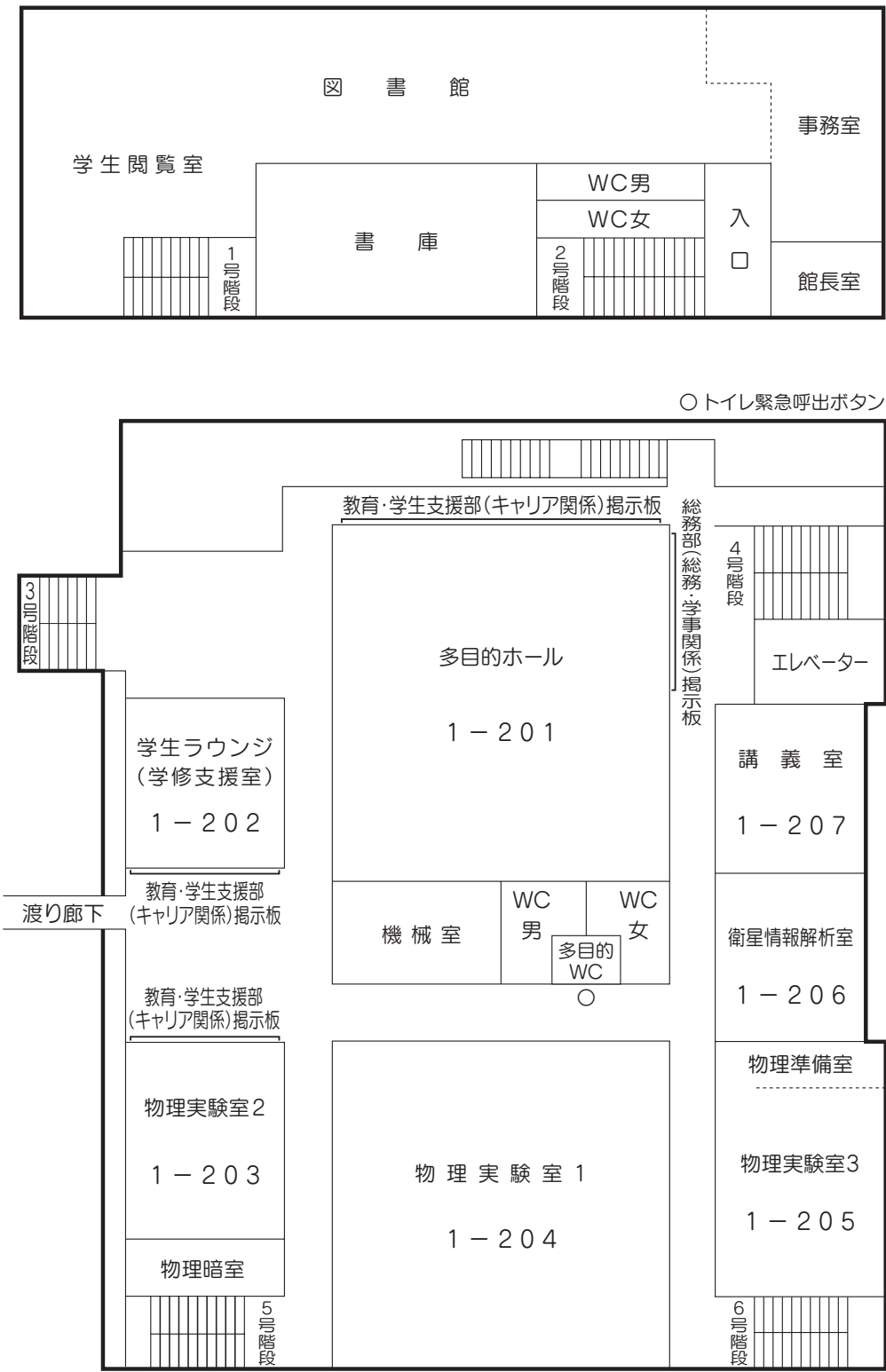
区 分	校舎延面積 (㎡)	校 地 (㎡)
1 号 館	9,132	校舎敷地 75,042
2 号 館	4,898	
3 号 館	2,133	
4 号 館	4,228	
5 号 館	5,120	
6 号 館	4,565	
7 号 館	4,452	
8 号 館	3,700	
9 号 館	4,521	
10 号 館	3,622	
地域産業総合研究所・構造工学実験棟	1,468	
工作技術センター	1,096	
自動車工学センター	488	
体 育 館	3,251	
尚 志 館	882	
メディアセンター	555	
ボ イ ラ ー 棟	270	
学 友 会 館	1,450	
部 室	221	
旧 バ ス 工 場	167	
室 内 練 習 場	650	
渡り廊下 倉庫	960	
屋 外 体 育 施 設		運 動 場 237,704
陸上競技場 (400 Mトラック)		
サッカー場 3面		
ラグビー場 2面		
野 球 場 3面		
水泳プール (50 M×8コース)		
テニスコート 5面		
アーチェリー場		
キャンプ場		
運動公園 その他		
駐 車 場		16,571
合 計	57,829	329,317

2 研究室・講義室等配置

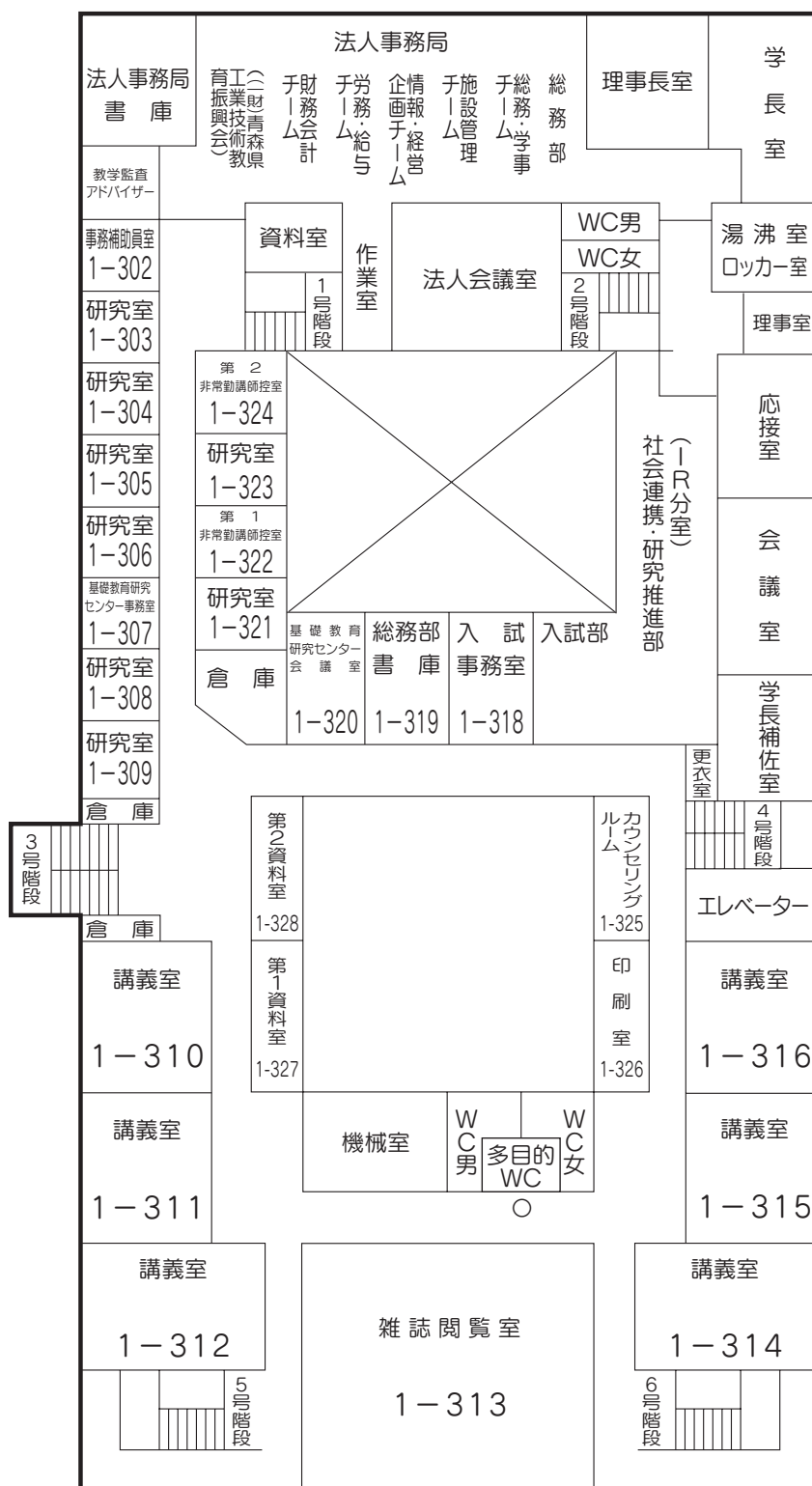
1 号 館 1 F



1 号 館 2 F

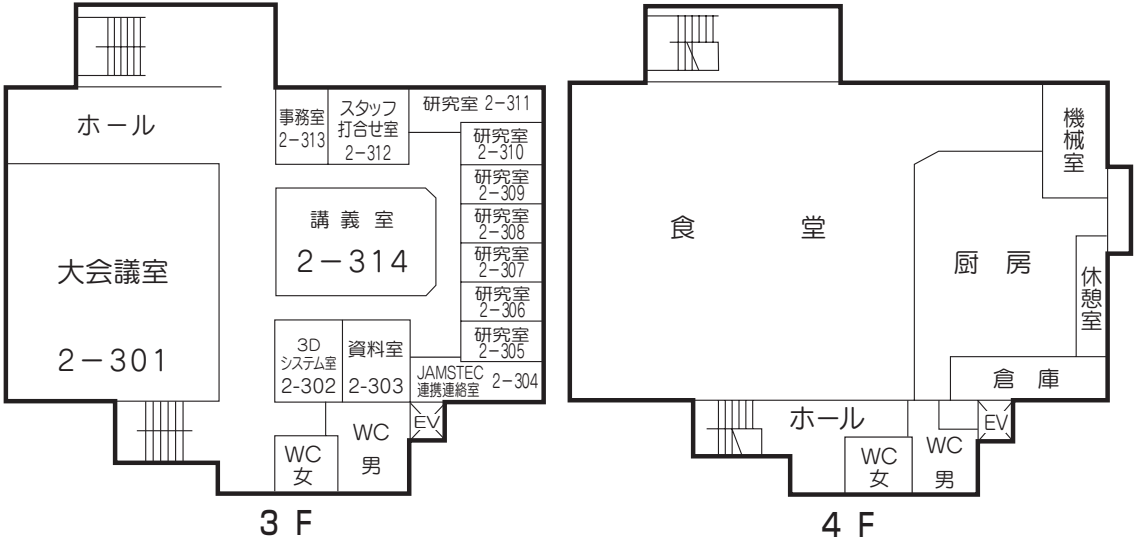
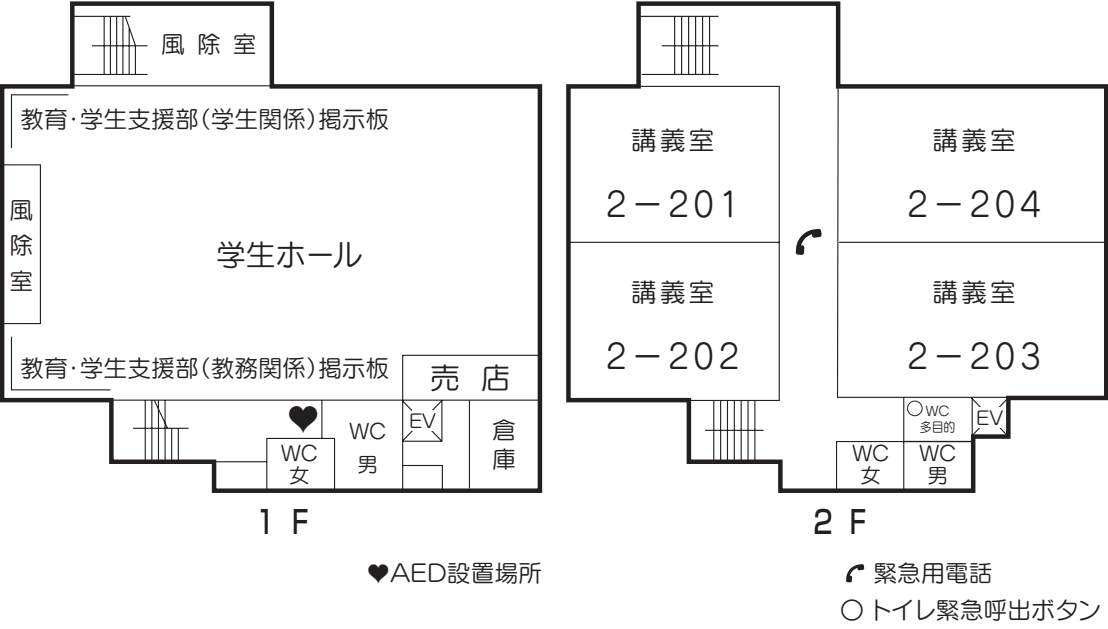


1 号 館 3 F

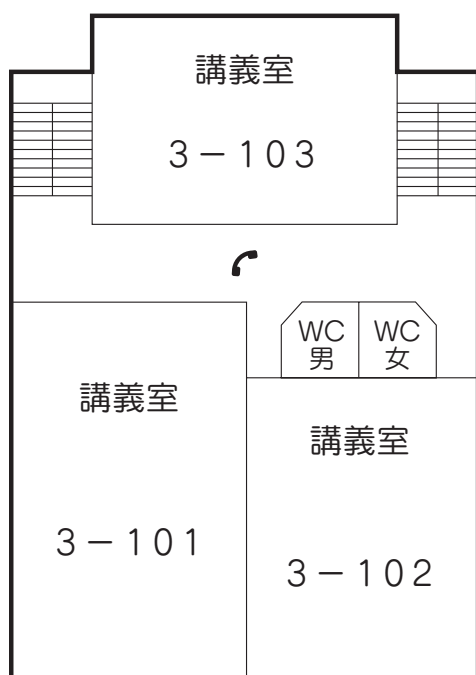
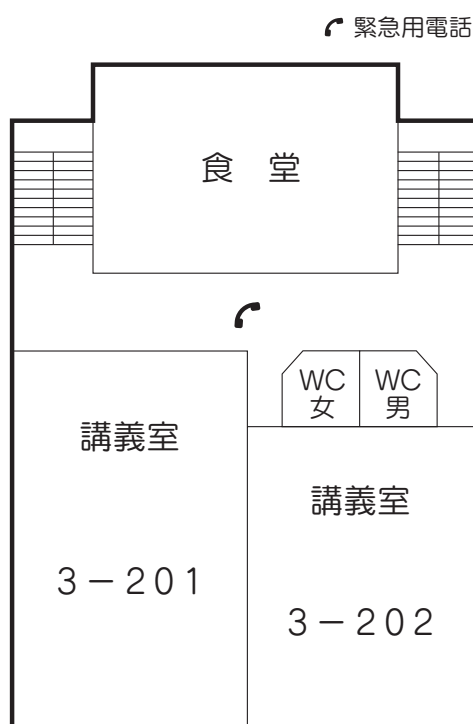


○トイレ緊急呼出ボタン

2 号 館

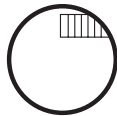


3 号 館



4 号 館

レーザードーム



R.F.

4 F

研究室 4-403	
研究室 4-401	情報通信 システム 研究室 4-402

WC 男	デジタル 信号処理 研 究 室	電力・情報 ネットワ ーク 研 究 室	磁気 応用工学 研 究 室	半導体・ 材料工学 研 究 室	アクティブ・ラーニング 講 義 室		強誘電体材料・ デバイス工学 研 究 室 Ⅰ Ⅱ	研究室	研究室
	4-319	4-318	4-317	4-316	4-315		4-314, 4-313	4-312	4-311
	研究室	研究室	研究室	研究室	エネルギー 変換工学 研 究 室	IOT& XIoT 研 究 室	電子知能 ロボ ット 研 究 室	電子工学 研究室	研究室
	4-301	4-302	4-303	4-304	4-305	4-306	4-307	4-308	4-309
									4-310

3 F

								講 義 室 4-209	
WC 男	電気電子工学 実 験 室 I 4-216	実電 験電 準備 室 4-215	電気電子工学 実 験 室 II 4-214	事務室 4-213	応接室 4-212	技 術 職員室 4-211	大学院 演習室 4-210		
	ネットワーク・コンピュータ 演 習 室 4-201	ナデバイス・ 衛星情報 研 究 室 4-202	E-ラウンジ 4-203	会 議 室 4-204		エジソン クラブ 4-205	物理工学 研究室 4-206	研究室 4-207	研究室 4-208

2 F

							講 義 室			
WC 女	産学連携 研 究 室 4-116	電気電子 材 料 加 工 室 4-115	電子情報システム 実 験 室 4-114	直 流 発 電 室 4-113	電気エネルギー システム 実 験 室 4-112	E・ナビ・ スクエア 4-111	4-110			
	高電界 工 学 研究室 4-101	クリーンラボ 4-102	ナテクノロジー 研 究 室 4-103	薄膜作製・分析 研 究 室 4-104	研 究 室 4-105		リフ ソオト 室 4-106	薄膜表面物性 評価研究室 4-107	研究室 4-108	研究室 4-109

1 F

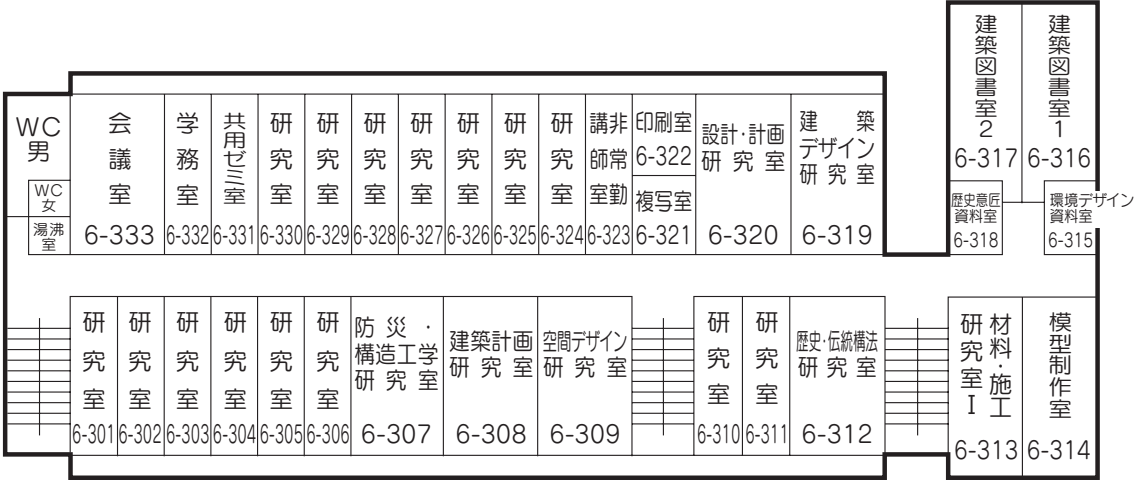
5 号 館

WC 男	学生居室 5-318	研究室 5-317	学生居室 5-316	研究 室 5-315	研究 室 5-314	研究 室 5-313	研究 室 5-312	演大 習学 学院 5-311	資料 室 5-310	実験室 5-309	製 図 室 5-308
	教材準備室 5-301	学生居室 5-302	実験室 5-303	学生居室 5-304	学生居室 5-305	講 義 室 5-306				実験室 5-307	
3 F											

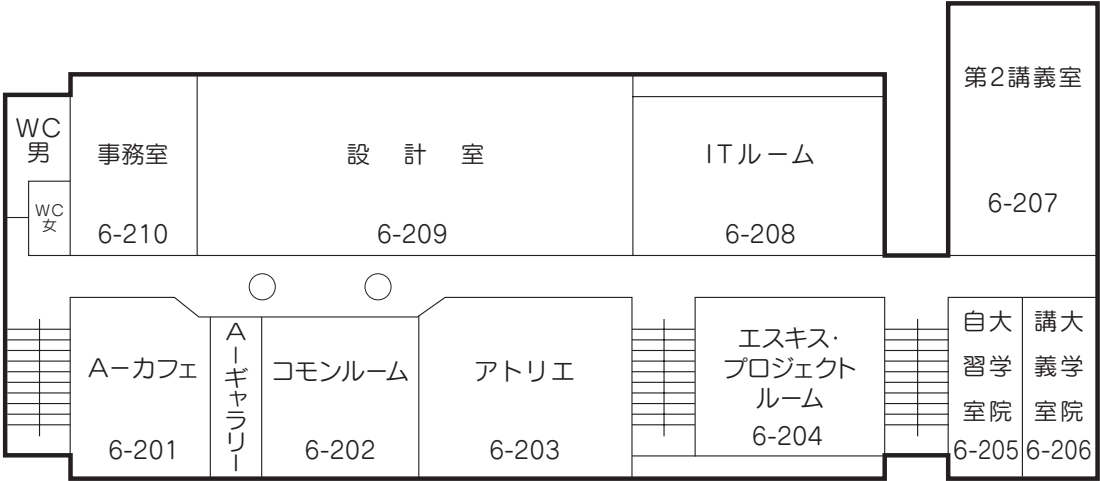
WC 男	応 接 室		研 究 室	研 究 室	ITルーム (A)	ITルーム (B)	ITルーム (C)	研 究 室	研 究 室	研 究 室	研 究 室	研 究 室	研 究 室
	5-216	事 務 室	5-214	5-213		5-212		5-211	5-210	5-209	5-208	5-207	5-206
	会 議 室		学 生 居 室		講 義 室			学 生 居 室		講 義 室			
	5-201		5-202		5-203			5-204		5-205			
2 F													

WC 女	自動車教材室 5-117	実 伝 験 熱 室 工 学 5-116	指 導 員 室 5-115	実 験 室 5-114	実 冷 験 凍 室 機 代 5-113	実 エ 験 ン シ ン 室 5-112	実 熱 験 工 室 学 2 5-111	実 熱 験 工 室 学 1 5-110	実 超 験 音 室 波 5-109	測 精 定 密 室 機 械 5-108
	エンジン 実 習 室 5-101	実 験 室 5-102	学 生 実 験 室	実 原 験 子 室 力 工 学 5-103	実 レ 験 ザ 室 ー 工 学 5-104		実 験 室 5-105	実 験 室 5-106	講 義 室 5-107	
1 F										

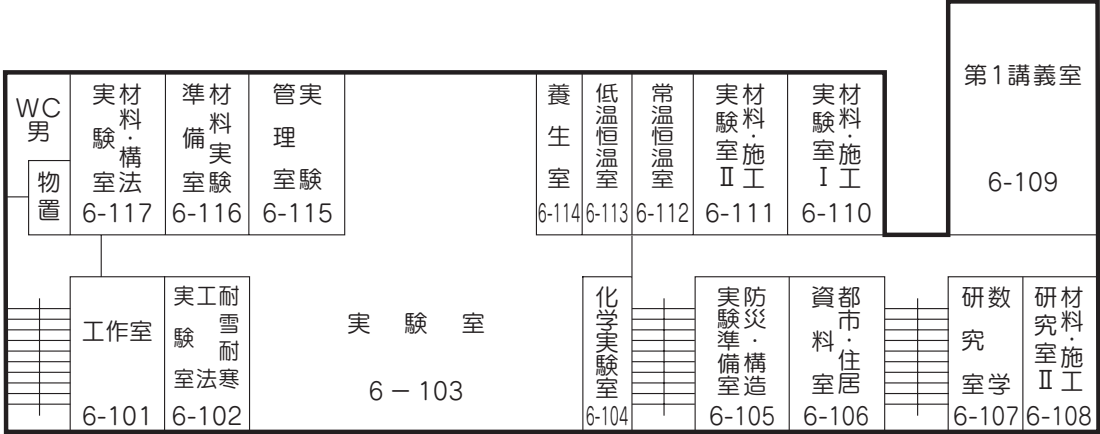
6 号 館



3 F



2 F



1 F

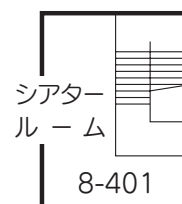
7 号 館

															ベ ラ ン ダ										ベランダ	
WC 男	複 写 室 7-328	事 務 室 7-327	研 究 室 7-326	研 究 室 7-325	研 究 室 7-324	研 究 室 7-323	研 究 室 7-322	研 究 室 7-321	研 究 室 7-320	研 究 室 7-319	研 究 室 7-318	研 究 室 7-317	研 究 室 7-316	研 究 室 7-315	研 究 室 7-314	工 学 研 究 室 Ⅱ 7-313	コン クリ ート 7-312							計 画 学 研 究 室 7-312	大 学 院 生 演 習 室 7-311	
WC 女																										
		大 学 院 講 義 室 7-301	大 学 院 講 義 室 7-302	研 究 室 7-303	研 究 室 7-304	研 究 室 Ⅱ 7-305	水 工 学 研 究 室 Ⅱ 7-306	環 境 工 学 研 究 室 Ⅱ 7-307	大 学 院 講 義 室 7-308							工 学 研 究 室 Ⅰ 7-309	コン クリ ート 7-310	研 究 室 Ⅱ 7-311	第3講義室 <							

WC男		構造工学 研究室Ⅰ 7-213	ITカフェ 学生自習室 7-212	ITルーム 7-211	地盤工学 研究室 7-210	水工学 研究室Ⅰ 7-209	コンクリート 工学実験室Ⅲ 7-208			第2講義室 7-207
WC女										
		環境工学 実験室Ⅰ 7-201	環境工学 研究室 7-202	環境工学実験室Ⅱ 7-203				研究室Ⅰ 7-204	学生自習室 7-205	第1講義室 7-206
2 F										

WC 男	実験準備室 7-112	地盤工学実験室Ⅱ 7-111	水工学実験室Ⅱ 7-110	実験準備室 7-110							地盤工学 実験室Ⅰ	測量 器材室
										7-109	7-108	
物置												
								</				

8 号 館



4 F

ウェブ システム 研究室 8-317		研究室 8-316	研究室 8-315	研究室 8-314	研究室 8-313	研究室 8-312	研究室 8-311	研究室 8-310		研究室 8-309	研究室 8-308	ミーティ ング ルーム 8-307
WC 女	WC 男	エンターテイン メント インフォマティクス 研 究 室 8-301	地 域 D X 研 究 室 8-302	コンピュータ シ ス テ ム 研 究 室 8-303	コンピュータ グラフィックス 研 究 室 8-304	電 子 ビジョン 研 究 室 8-305	数 理 情 報 工 学 研 究 室 8-306					

3 F

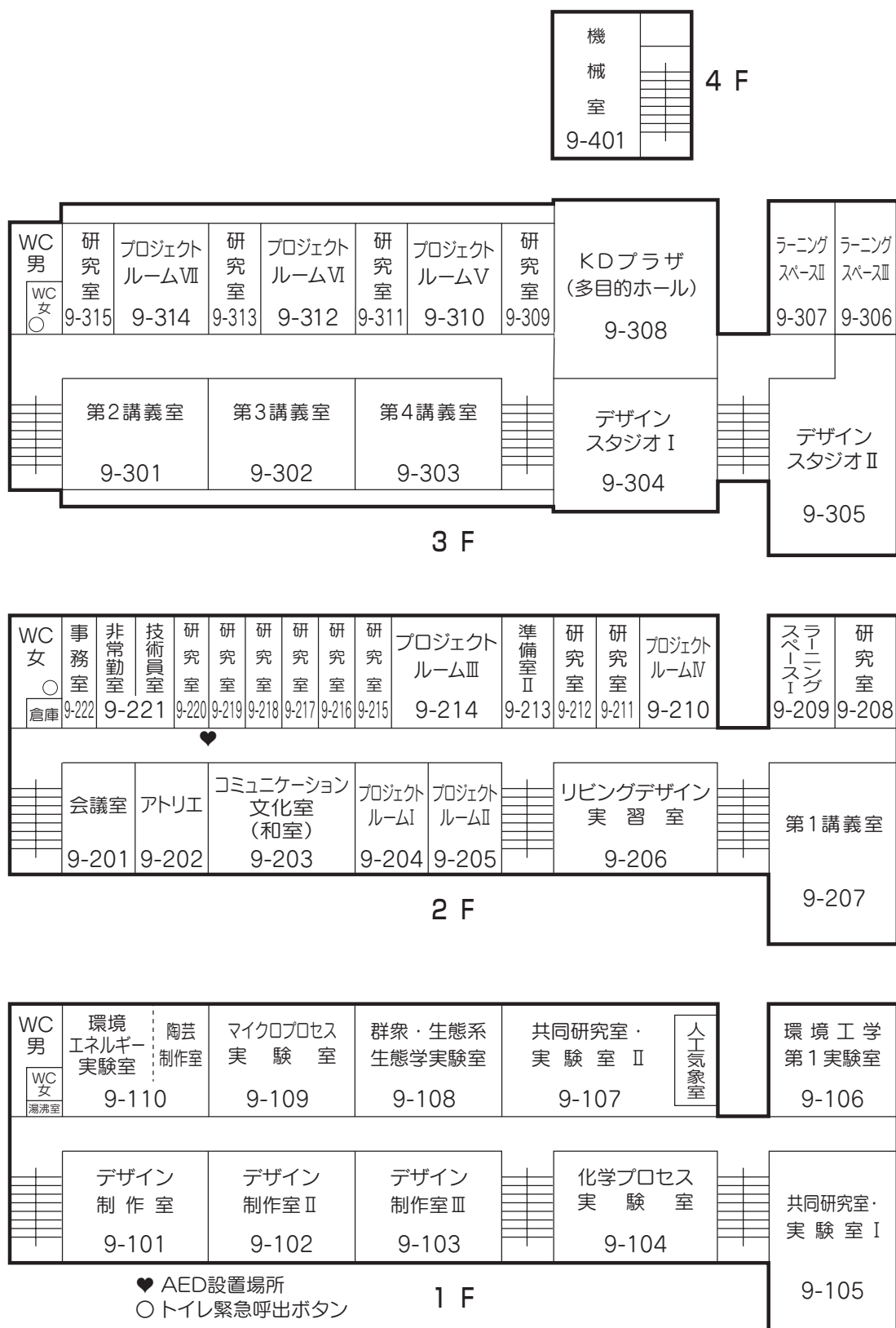
メディア ラボ 8-214		コ ピー 室 8-213	事務室 8-212	会議室 8-211	非常勤 講 師 室 8-210	研究室 8-209	大 学 院 大 講 義 室 8-208		自習室 8-207	LSI 開発室 8-206	研究室 8-205
WC 女	WC 男	準備 室 8-201	第1講義室 8-202	第2講義室 8-203			第3講義室 8-204				

2 F

機械室 8-112		資料室 8-111	開発室 8-110	研究室 8-109	サウンド スタジオ 8-108	モーションキャ プチャ スタジオ 8-107		ネットワー ク 研 究 室 8-106	工作室 8-105
WC 女	WC 男	資料室 8-101	デバッグ 室 8-101	計算機室 8-102	第4講義室 8-103			第5講義室 8-104	

1 F

9 号 館



10 号 館

ボイラー室	高置水槽室
遺伝子操作実験室 10-401	
第1 第2動物室	

4 F

第2実験室 10-317	環境工学 WC男	WC女	学生居室 10-316	セミナー室2 10-315	学生居室 10-314	研究室 10-313	研究室 10-312	研究室 10-311	環境プロセス実験室 10-310	学生居室 10-309	研究室 10-308	ドラフト室 10-307	学生居室 10-306
第1講義室 10-301		多目的実験・実習室 10-302				第2講義室 10-303			第1会議室(資料室) 10-304		水族繁殖学実験室 10-305		

3 F

複写室 10-220	WC女	事務室 10-219	会議室第2 10-218	第1 セミナー室 10-217	研究室 10-216	研究室 10-215	研究室 10-214	研究室 10-213	研究室 10-212	研究室 10-211	学生居室 10-210	暗室 10-209	殺菌室 10-208	無菌室 10-207	植物生態学 実験室 10-206
発酵食品学 実験室 細胞培養室 10-201				実験室 10-202				機器分析室 10-203		菌類生理生態学 実験室 10-204		生物資源利用化学 実験室 10-205			

2 F

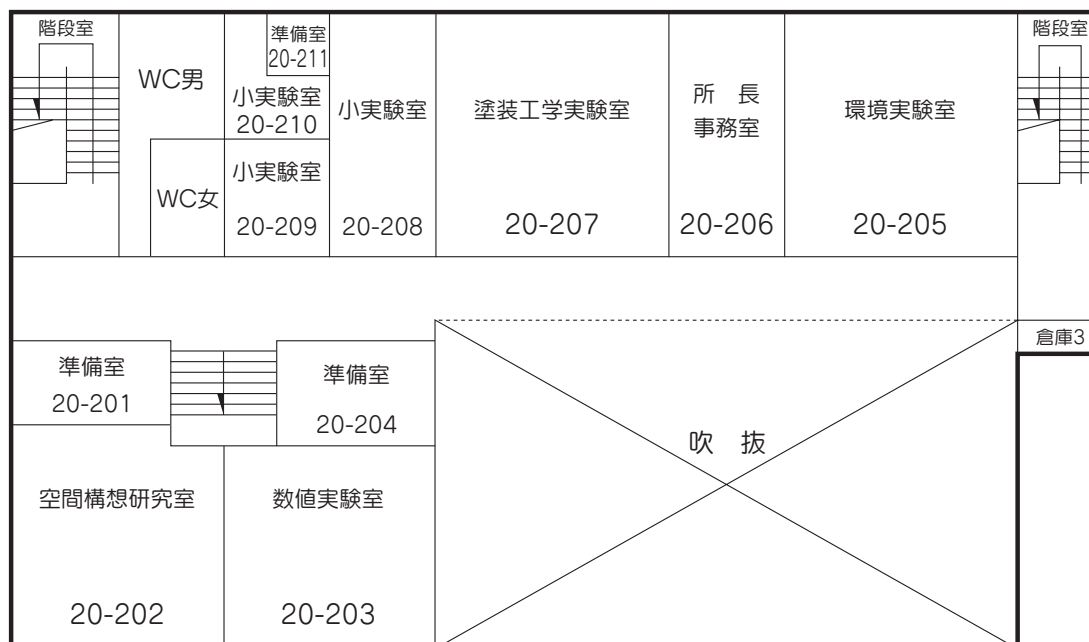
シミュレーションルーム 10-109	WC男	WC女	顕微鏡室 10-108	生命環境科学第3基礎実験室 10-107	就職情報室 10-106	技術職員室 10-105	生命環境科学第2基礎実験室 10-104	生命環境プロセス実習室 10-103
生命環境科学第1基礎実験室 10-101 生命環境科学ITルーム 10-102 女子更衣室								

危険物薬品庫

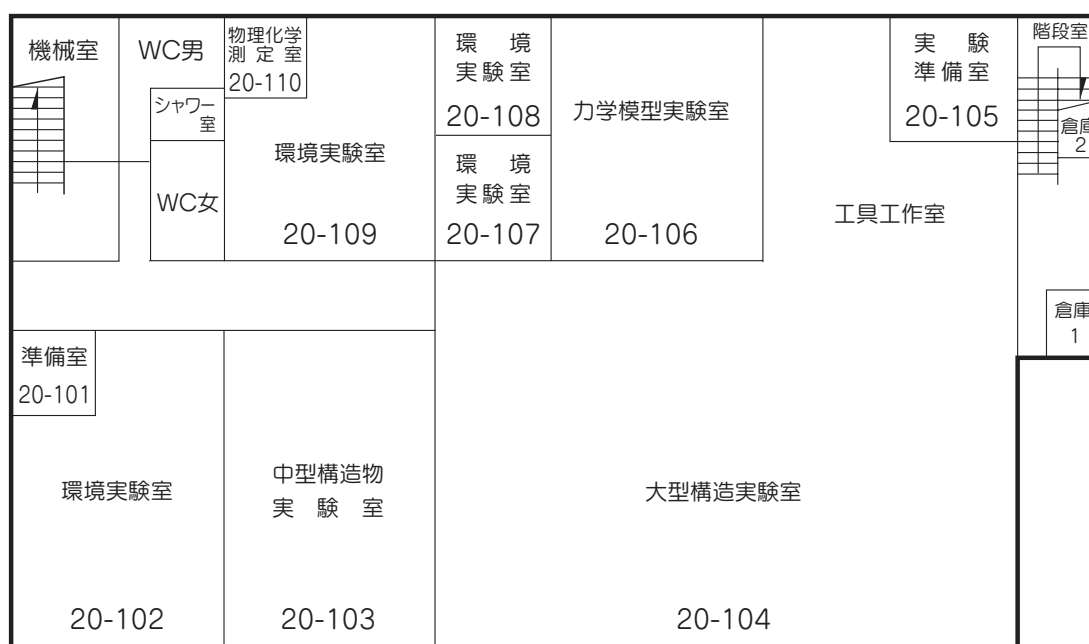
ポンベ置場

1 F

地域産業総合研究所・構造工学実験棟

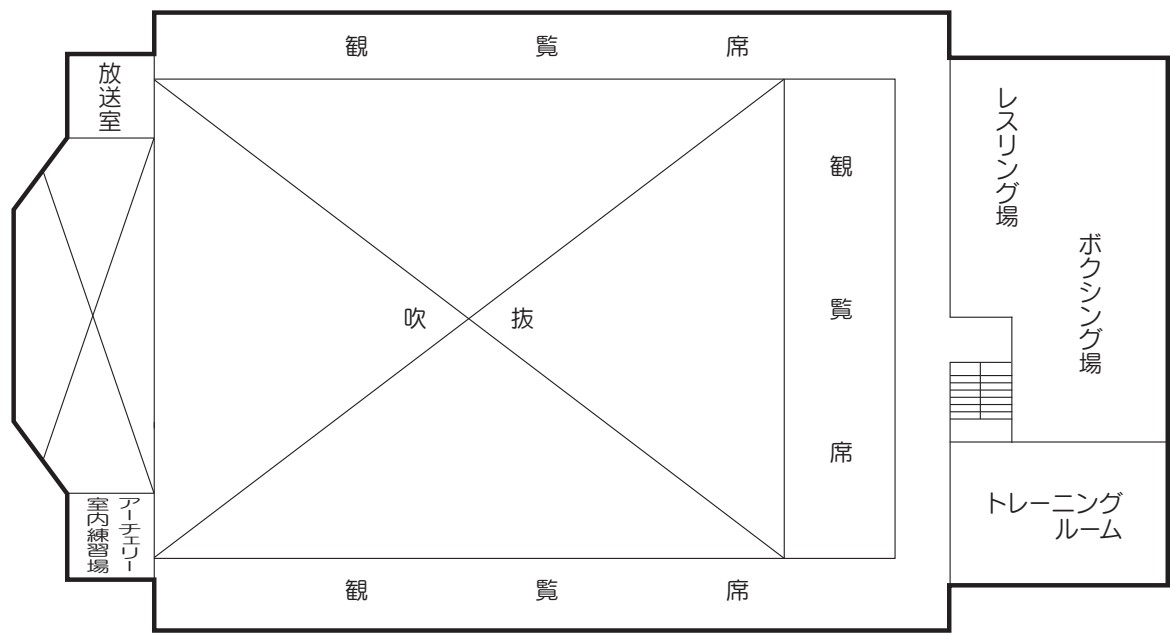


2 F

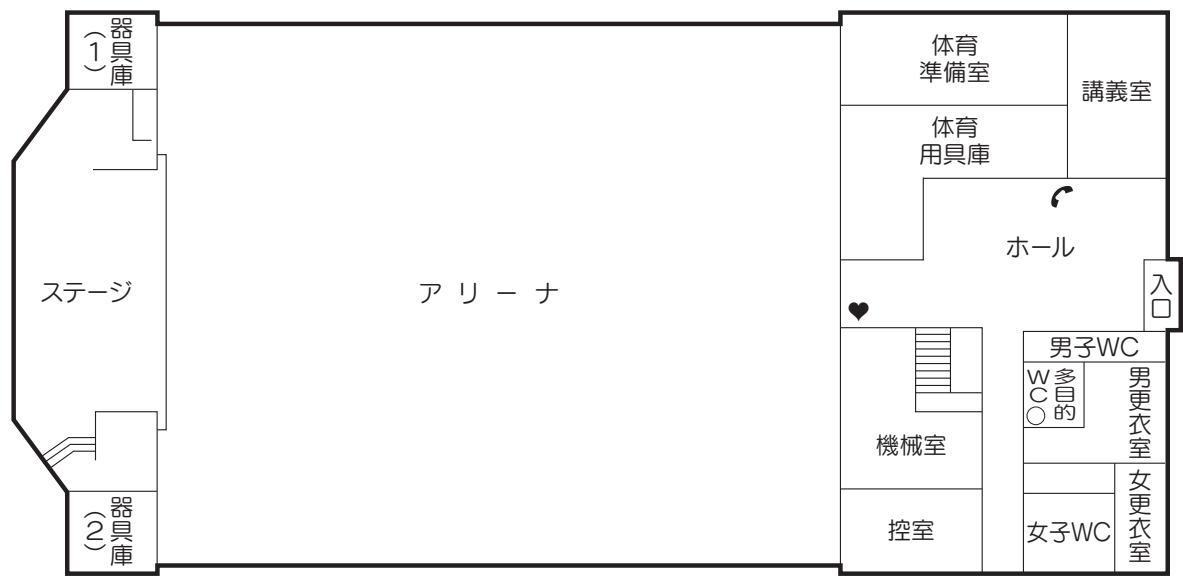


1 F

体 育 館



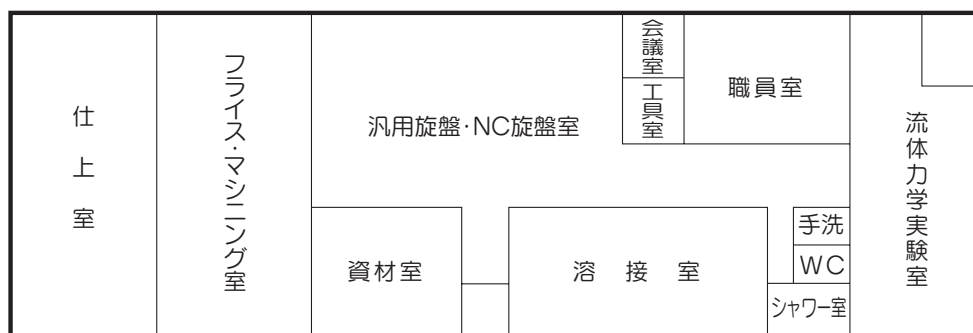
2 F



1 F

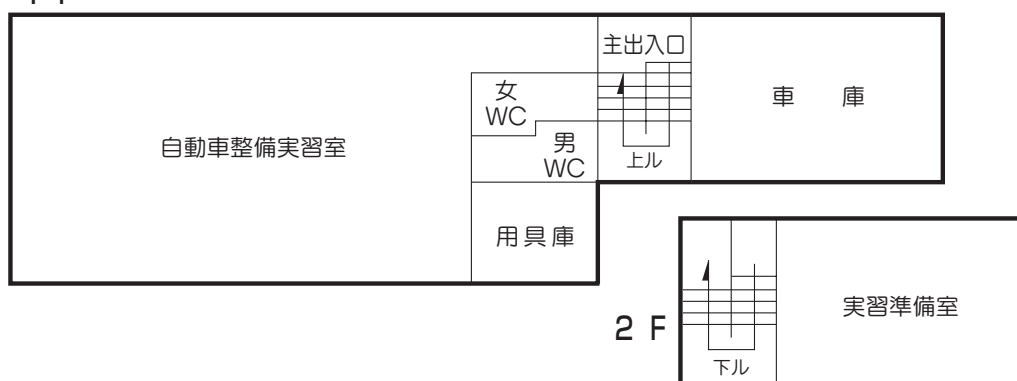
☎ 緊急用電話
♥ AED設置場所
○ トイレ緊急呼出ボタン

工作技術センター



1 F

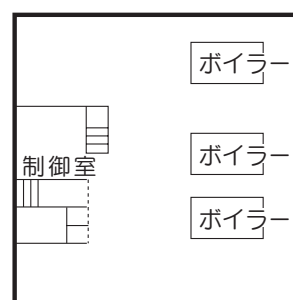
自動車工学センター



尚志館

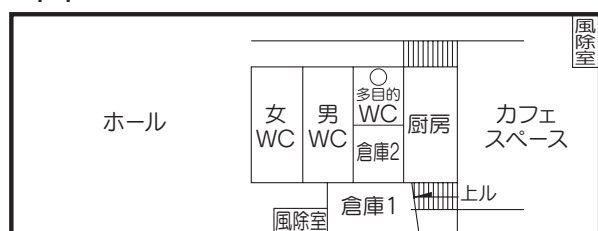


ボイラー棟



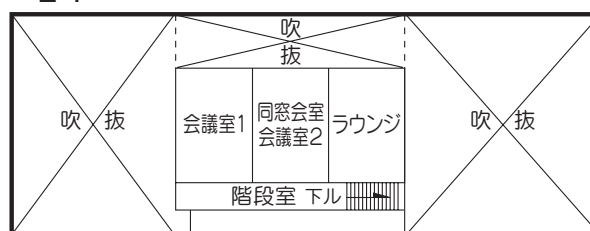
メディアセンター

1 F



○トイレ緊急呼出ボタン

2 F



学 友 会 館

学友会館 1号館(1F)

男子WC	男子 シャワー室	倉庫		学友会室	体育会室	文化会室
女子 シャワー室	女子WC	出入口		学友会倉庫	会 議 室 A-1	会 議 室 A-2

1号館(2F)

1-1	学 友 会 1-2		ICT研究部 1-3	1-4	美術研究部 1-5	DTM研究部 1-6	情報科学 研 究 部 1-7	漫画研究部 1-8
将 棋 部 1-17	軽音楽部 1-16	映 像 研 究 部 1-15	プラモデル 研 究 部 1-14	ゲ ー ム 研 究 部 1-13	ゲ ー ム 研 究 部 1-12	文芸愛好会 1-11	茶道愛好会 1-10	グラフィック 研 究 部 1-9

学友会館 2号館(1F)

男子WC	出入口	会議室 B-1	会議室 B-2	2-1	2-2	ビリヤード部 2-3	学 友 会 パネル置場 2-4
女子WC	倉庫	2-9	学 友 会 倉 庫 2-8	自転車部 2-7	吹奏楽部 2-6	吹奏楽部 2-5	

2号館(2F)

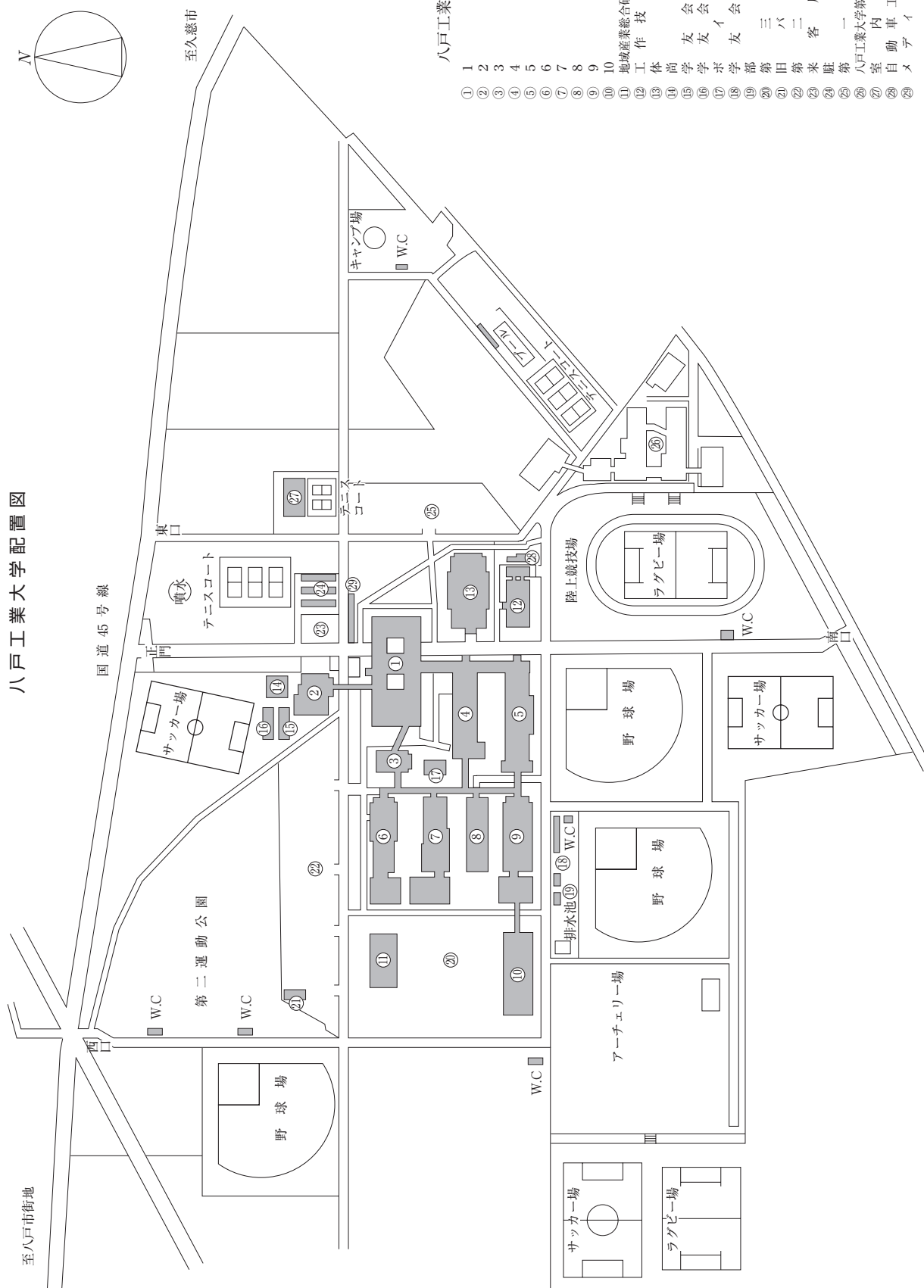
ソフトテニス部 2-10	軟式野球部 2-11	サイクリング 同 好 会 2-12	卓 球 部 2-13	柔 道 部 2-14	ボクシング部 2-15	男子 バスケットボール部 2-16	ストリートダンス 愛 好 会 2-17
弓 道 部 2-24		男女硬式 庭 球 部 2-23	空手道部 2-22	サバイバルゲーム 同 好 会 2-21	バ レ ー ボ ー ル 部 2-20	サッカー部 2-19	サッカー部 2-18

学友会館 3号館(グラウンド側)

3-16	動力研究部 3-15	山 岳 部 3-14	アーチェリー部 3-13	陸上競技部 3-12	物 置 3-11	物 置 3-10	軽音楽部	物 置
動力研究部 3-1	硬式野球部 3-2	アーチェリー部 3-3	学友会倉庫 3-4	自動車部 3-5	ソ フ ト ボ ー ル 部 3-6	ラグビー部 3-7	3-8	3-9

(10号館側)

3 校地・校舍配置図



八戸工業大学要覧 令和8年度（非売品）

令和8年6月30日 編集
令和8年6月30日 印刷
令和8年6月30日 発行

編集兼
発行者

八戸工業大学総務部

〒031-8501 八戸市大字妙字大開88番地1号

TEL 0178(25) 8 1 1 1 (ダイヤルイン)

<https://www.hi-tech.ac.jp/>

印刷所

株式会社 オダプリント

〒039-2245 八戸市北インター工業団地三丁目2-100